

令和3年度

和光の教育



北原小学校特別支援学級等教室を新設しました（令和2年9月）



和光市教育委員会

目 次

I 教育行財政	
1. 和光市の概況	5
2. 教育委員名簿	5
3. 令和2年度の主な施設等整備	5
4. 和光市教育大綱（平成30年度～令和3年度）	6
5. 和光市教育振興基本計画【概要】	7
6. 今年度の重点と令和3年度学校教育指導の重点	
今年度の重点	10
令和3年度 学校教育指導の重点	19
7. 教育費予算	
(1) 令和3年度和光市一般会計当初予算 (2) 教育費内訳	23
(3) 教育費当初予算前年比	24
8. 教育委員会事務局・教育機関の組織図	25
9. 教育委員会事務局事務分掌	26
II 学校教育	
1. 学校紹介	
和光市立白子小学校	29
和光市立新倉小学校	30
和光市立第三小学校	31
和光市立第四小学校	32
和光市立第五小学校	33
和光市立広沢小学校	34
和光市立北原小学校	35
和光市立本町小学校	36
和光市立下新倉小学校	37
和光市立大和中学校	38
和光市立第二中学校	39
和光市立第三中学校	40
和光市教育支援センター	41
和光市内県立高等学校・特別支援学校	42

2. 小中学校一覧	
(1) 面積 (2) 児童生徒数・学級数	43
(3) 児童・生徒の体位	44
(4) 令和2年度児童生徒の疾病状況	45
(5) 令和元年度新体力テスト(県・市平均値)	46
(6) 学校給食	48
III 生涯学習	
1. 社会教育施設	51
(1) 和光市中央公民館 (2) 和光市坂下公民館 (3) 和光市南公民館	
(4) 和光市図書館 (5) 和光市図書館下新倉分館	
2. 文化財	52
旧富岡家住宅(新倉ふるさと民家園)	
3. その他の施設	52
和光市文化財保存庫	
4. 令和2年度生涯学習事業報告	53
5. 令和3年度生涯学習事業計画	54
6. 文化財保護	
(1) 国指定文化財 (2) 埼玉県指定文化財 (3) 和光市指定文化財	55
(4) 市史編さん刊行物 (5) 文化財関係刊行物	59
7. 公民館	
(1) 令和2年度公民館事業報告	
中央・坂下・南公民館共催事業	61
中央公民館	61
坂下公民館	63
南公民館	65
(2) 令和3年度公民館事業計画	
中央・坂下・南公民館共催事業	68
中央公民館	68
坂下公民館	70
南公民館	72
(3) 令和元年度公民館利用状況 (4) 社会教育団体の主な活動拠点	74

8. 図書館	
(1) 図書館活動の概要	75
(2) 令和2年度利用状況	76
1 登録者延べ数	
2 資料貸出冊(点)数	
3 相互貸借数	
4 団体貸出	
5 開館日数	
6 入館者数	
7 リクエスト件数	
8 リクエスト件数の推移	
9 レファレンス件数	
10 レファレンス件数の推移	
11 インターネットからの利用状況	
12 コピー枚数	
13 所蔵資料数	
(3) 各種指標から見た令和2年度実績	77
(4) 集会行事	
1 令和2年度図書館集会事業報告(本館)	78
2 令和3年度図書館集会事業計画(本館)	80
3 令和2年度図書館集会事業報告(下新倉分館)	81
4 令和3年度図書館集会事業計画(下新倉分館)	83
(5) 本とのふれあい事業	
(6) 団体貸出について	84
(7) 沿革	86
IV 青少年事業・生涯スポーツ振興事業	
1. 青少年事業	
(1) 令和2年度事業報告	89
(2) 令和3年度事業計画	91
2. 生涯スポーツ振興事業	
(1) 令和2年度事業報告	92
(2) 令和3年度事業計画	94
(3) 令和2年度スポーツ振興施設利用状況	95
(4) 令和2年度総合体育館施設利用状況	96
(5) 体育協会加盟団体別人数一覧表	97
(6) スポーツ少年団加盟団体別人数一覧表(指導者含む)	97
(7) スポーツ振興施設一覧表	97

I 教育行財政

1. 和光市の概況

令和2年10月31日に市制施行50周年を迎えた和光市は、都心から20km圏内に位置し、面積は11,04km²で、東は板橋区、西は朝霞市、南は練馬区、北は戸田市に隣接しており、市の中央に位置する和光市駅からは、東武東上線のほか東京メトロ有楽町線や副都心線と東急東横線への相互直通運転などにより、交通の利便性もさらに向上し、住宅都市として発展を続け依然として人口が増加しています。

また、道路においては、川越街道（国道254号）とオリンピック通り（主要地方道練馬川口線）が縦横に走っているほか東京外環自動車道が市内を縦断しており、関越自動車道や首都高速道路のインターチェンジへのアクセスも容易であることから、新産業や物流など、産業の拠点としての今後更なる発展も期待されています。

和光市教育委員会では、「生涯にわたる自発的な学びと、豊かで健やかな人生の実現を支援する教育」を基本理念とした「和光市教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）」を策定しました。この基本理念の実現のために、4つの基本方針と10の基本施策を掲げ、子供から大人まで、誰もが学びを豊かにし、幸せな人生の実現を支援する教育の振興を図ってまいります。

令和3年5月1日現在

●市制施行	昭和45年10月31日（旧大和町）		
●総人口	84,148人	(男 43,208人)	(女 40,940人)
●総世帯数	42,699世帯		
●人口密度	7,622人/km ²		
●財政規模	282億2700万円（令和3年度一般会計予算）		
●学校数	小学校	9校	県立高等学校 2校
	中学校	3校	県立特別支援学校 2校
●児童・生徒数	小学校	4,487人	県立高等学校 1,401人
	中学校	1,769人	県立特別支援学校 421人
●市議会議員数	18人		
●市職員数	438人		

2. 教育委員名簿

職名	氏名
教育長	大久保 昭 男
教育長職務代理者	山 田 実
委員	山 下 玲 子
委員	村 中 秀 人
委員	牧 江 利 子

（令和3年5月1日現在）

3. 令和2年度の主な施設等整備

完成年月	教育委員会関連の主な施設整備
2年9月	北原小学校特別支援学級等教室新設工事
2年9月	第二中学校特別支援学級等環境整備工事
3年1月	広沢小学校放送設備更新工事
3年3月	小学校F F型石油ファンヒーター撤去工事
3年3月	大和中学校F F型石油ファンヒーター撤去工事
3年3月	超高速大容量ネットワーク整備事業

4. 和光市教育大綱（平成30年度～令和3年度）

和光市教育大綱とは、市長が、その地域の実情に応じ、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、新たに基本方針4「新型コロナウイルス感染症対応に伴う新たな教育の推進」を加えました。

<基本理念>

「生涯にわたる自発的な学びと、豊かで健やかな人生の実現を支援する教育」

<基本方針>

1 学びの基礎となる確かな学力の習得と、社会性を育む義務教育の推進

児童一人一人の発達段階にあわせ、明確な目標のもとに基礎学力の確かな定着と基礎的運動能力の習得ができる初等教育と、理数系と社会科学系のバランスのとれた学びを通して、生徒の論理性と変化への適応力を高め、地域でともに生きる市民として、豊かな人間性と社会性を育むことができる中等教育を目指します。

2 地域特性を生かし、生涯継続する学びを支援する社会教育の推進

和光市の歴史や自然環境などの地域性に関する学びの場を通して、地域への愛着を育むとともに、高度な研修・研究機関が立地する和光市ならではの知的資源の積極的な活用を図り、専門性が高く個性的で多彩な学習機会を提供することにより、生涯にわたる学びの継続を支援できる社会教育を目指します。

3 福祉、コミュニティ施策との密接な連携による地域・家庭教育の推進

教育委員会と市長部局が密接に連携し、地域社会における人間関係の醸成並びに家庭力の向上を図るため、地区社協やコミュニティ・スクールの活動支援を始めとする各種取組を展開することにより、人と人との絆を深め、地域・家庭がそれぞれの役割を適切に果たすことができる地域・家庭教育を目指します。

地区社協（地区社会福祉協議会）：あらゆる地域関係者を対象とした住みよいまちづくりのための住民組織

コミュニティ・スクール：広く地域関係者が学校運営協議会を通じて学校に係る課題等を検討する仕組み

4 新型コロナウイルス感染症対応に伴う新たな教育の推進

本教育大綱期間中に発生した新型コロナウイルス感染症に伴う新たな生活様式に対応し、子供たちの健康面での安全安心を確保していくとともに、こうした社会環境の変化をむしろ積極的に生かし、デジタル技術の更なる活用などを通じて和光市における新たな教育を目指します。

5. 和光市教育振興基本計画【概要】

1 計画の概要

和光市教育振興基本計画は、教育基本法に基づく本市の教育振興基本計画です。市の総合的な計画の「第五次和光市総合振興計画」や市長が定めた「和光市教育大綱」を踏まえた教育行政における中長期的な計画です。

【基本理念】

**生涯にわたる自発的な学びと、
豊かで健やかな人生の実現を支援する教育**

テクノロジーの進歩や予測困難な社会に対応するためには、生涯にわたって自発的に学び続けなければなりません。学びが人を成長させ、その人の人生を豊かにするだけでなく、新しい社会の形成に寄与することとなります。

そのためにも和光市では子供から大人まで、誰もが学びを豊かにし、幸せな人生の実現を支援する教育の振興を図ってまいります。

「基本理念」の実現のために、以下の4つの「基本方針」と10の「基本施策」を掲げています。

【基本目標】

- 1 学びの基礎となる確かな学力の習得と、社会性を育む義務教育の推進
- 2 地域特性を生かし、生涯継続する学びを支援する社会教育の推進
- 3 福祉、コミュニティ施策との密接な連携による地域・家庭教育の推進
- 4 新型コロナウイルス感染症対応に伴う新たな教育の推進

【基本施策】

- 基本施策1 確かな学力と自立する力の育成
- 基本施策2 豊かな心と健やかな体の育成
- 基本施策3 質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実
- 基本施策4 多様なニーズに対応した教育の推進
- 基本施策5 家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進
- 基本施策6 安全安心な学校施設の整備
- 基本施策7 児童や青少年の居場所づくり
- 基本施策8 生涯学習の振興
- 基本施策9 歴史的・文化的資源の保存・活用と創造的な文化の振興
- 基本施策10 スポーツ・レクリエーション活動の推進

2 施策の体系

- 基本理念 1
- 基本目標 4
- 基本施策 10
- 施策 41

が、次のように構成されています。

基本理念「生涯にわたる自発的な学びと、豊かで健やかな人生の実現を支援する教育」

基本目標

4 3 2 1

学
び
の
基
礎
と
な
る
確
か
な
学
力
の
習
得
と、
社
会
性
を
育
む
義
務
教
育
の
推
進

地
域
特
性
を
生
か
し、
生
涯
継
続

福
祉
、
コ
ミ
ュ
ニ
テ
ィ
施
策
と
の
密
接
な
連
携
に
よ
る
地
域
・
家
庭
教
育
の
推
進

新
型
コ
ロ
ナ
ウ
イ
ル
ス
感
染
症
対
応
に
伴
う
新
た
な
教
育
の
推
進

基本施策1 確かな学力と自立する力の育成

- 施策1 個の学力を伸ばす教育の推進
- 施策2 次世代に求められる資質・能力の育成
- 施策3 新しい時代に対応する教育の推進
- 施策4 社会の形成に参画する力の育成

基本施策2 豊かな心と健やかな体の育成

- 施策1 いじめや非行問題等に係る生徒指導及び教育相談体制の充実
- 施策2 人権を尊重した教育の推進
- 施策3 情感豊かな心を育む教育の推進
- 施策4 運動に親しみ、健やかな体を育む教育の推進
- 施策5 健康の保持増進と食育の推進

基本施策3 質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実

- 施策1 教職員の資質・能力の向上
- 施策2 働き方改革を踏まえた学校の組織運営の改善
- 施策3 学習環境等の整備・充実
- 施策4 児童生徒の安心・安全の確保

基本施策4 多様なニーズに対応した教育の推進

- 施策1 特別支援教育の充実
- 施策2 経済的な支援を必要とする子供への支援
- 施策3 不登校児童生徒への支援
- 施策4 外国人児童生徒など一人一人の状況に応じた支援

基本施策5 家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進

- 施策1 コミュニティ・スクールの推進
- 施策2 各学校におけるPTAや保護者の会、学校応援団等、学校を支える組織等との連携・協働
- 施策3 地域を支える組織や関係機関等との連携・協働

基本施策6 安全安心な学校施設の整備

- 施策1 学校施設及び設備の整備と適正な維持管理

基本施策7 児童や青少年の居場所づくり

- 施策1 学童クラブとわこっこクラブの一体型施設又は一体的な運営による放課後の児童の居場所づくりの推進
- 施策2 児童や青少年の居場所づくり
- 施策3 青少年健全育成活動の支援
- 施策4 児童・青少年に対する相談支援の強化

基本施策8 生涯学習の振興

- 施策1 市民の主体的・自主的な学習活動の支援
- 施策2 社会教育施設の充実
- 施策3 生涯学習に関するネットワークの構築と活用
- 施策4 多様な市民ニーズに対応した講座の企画・開催
- 施策5 図書館機能の充実

基本施策9 歴史的文化資源の保存・活用と創造的な文化の振興

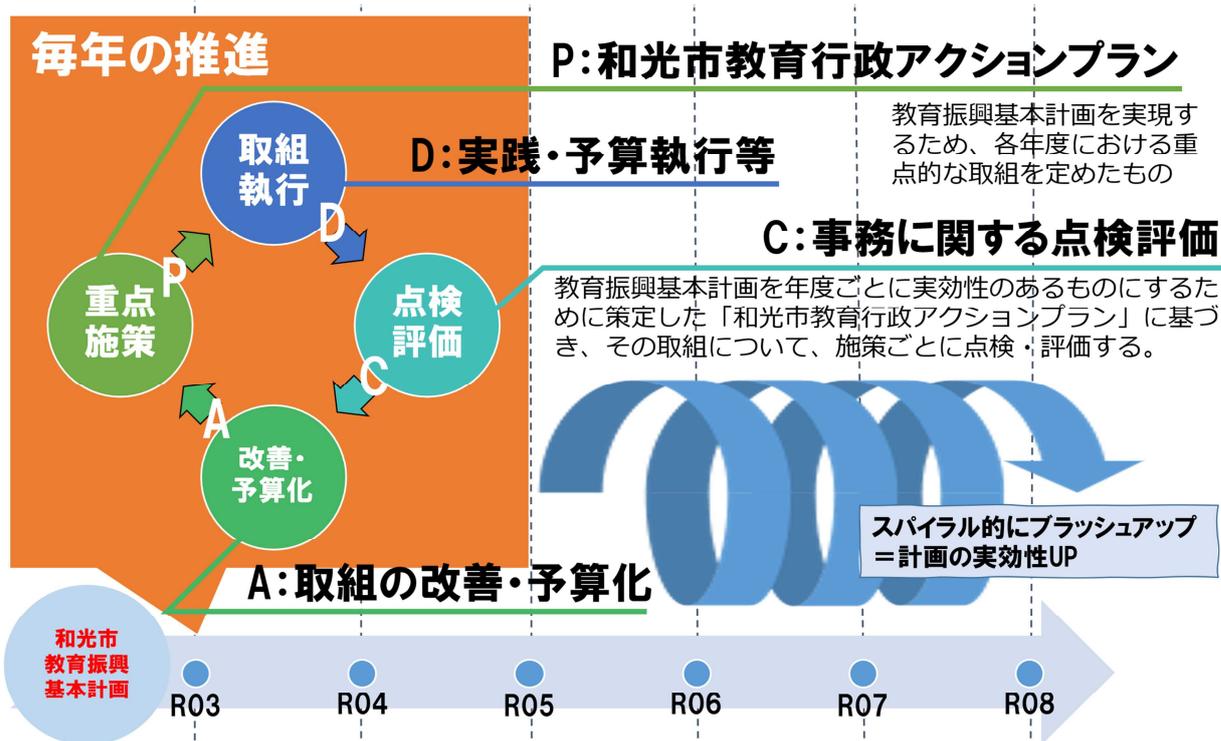
- 施策1 歴史的文化資源の保存・活用
- 施策2 歴史的文化資源の魅力発信と学ぶ機会の充実
- 施策3 地域における伝統文化の継承
- 施策4 文化に触れる機会の提供及び文化交流の推進
- 施策5 自主的で創造的な文化活動の支援

基本施策10 スポーツ・レクリエーション活動の推進

- 施策1 スポーツ施設の利用促進
- 施策2 スポーツ施設の維持管理
- 施策3 学校施設や国の施設の有効活用
- 施策4 参加しやすいイベントの企画・開催
- 施策5 スポーツ・レクリエーション活動に関する情報発信
- 施策6 体育団体の役員の後継者の養成

3 計画の進行管理

本計画の円滑かつ着実な推進を図るため、「教育委員会の事務に関する点検評価」を活用し、PDCAサイクル（経営マネジメントサイクル Plan：計画⇒Do：実行⇒Check：測定・評価⇒Action：対策・改善）による適切な進行管理を推進し、現状の施策活動実績を分析評価し、その中から課題や改善点を洗い出して次の施策に生かしていくことで基本理念の実現を目指します。



○ 和光市教育行政アクションプラン

和光市教育振興基本計画に掲げる10の基本施策に関わり、その年度における重点目標や具体的な取組等についてまとめたものです。教育振興基本計画が5年間の中・長期的な計画であるのに対して、教育行政アクションプランは、毎年度示してまいります。

○ 教育委員会の事務に関する点検評価

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、平成20年4月1日から、教育委員会でその教育行政事務の管理執行状況について自己点検及び評価を行うことになり、効果的な教育行政を推進するため、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価」を平成20年度から毎年実施し、報告書にまとめ公表しています。

6. 今年度の重点と令和3年度学校教育指導の重点

今年度の重点

基本施策1 確かな学力と自立する力の育成

「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を図り、新しい時代に生きる児童生徒一人一人の学力や学習意欲を伸ばす教育を推進します。また各学校段階に応じたキャリア教育や主権者教育などを、家庭や地域社会と連携して推進し、主体的に社会の形成に参画する力を育成します。

《令和3年度の指標の目標》

勉強する意味や勉強の仕方について(埼玉県学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙)

40.5%【68/168 項目】(←令和元年度 36.9%【62/168 項目】)

自分自身のことについて(埼玉県学力・学習状況調査 児童生徒質問紙)

44.4%【8/18 項目】(←令和元年度 33.3%【6/18 項目】)

主な取組

施策1 個の学力を伸ばす教育の推進

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を支援(学校訪問等)します。
- (2) 少人数学級推進教員や学力向上支援教員を効果的に活用し、学力の向上を図ります。
- (3) ICTを活用し、個に応じた指導法等の研究を進めます。

施策2 次世代に求められる資質・能力の育成

- (1) PDCAのマネジメントサイクルによるカリキュラム・マネジメントを実施します。
- (2) 学力・学習状況調査の分析を行い、その結果を活用してまいります。
- (3) 読書活動の充実(計画的な蔵書管理、図書館アドバイザーの活用等)を支援します。

施策3 新しい時代に対応する教育の推進

- (1) 英語4技能検定やALTを活用し、外国語活動等の授業を充実します。
- (2) 研修会の実施や先進事例の共有等により、ICT機器の効果的な活用を促進してまいります。

施策4 社会の形成に参画する力の育成

- (1) 福祉・ボランティア活動、交流活動の推進により、キャリア教育の充実(地域人材の活用、職場体験活動の推進、公的・民間施設の連携推進)を図ります。
- (2) 幼・保・小の連携強化(接続期プログラム及び接続期カリキュラムの作成・活用、小学校等での交流会、授業研究会)を進めます。

基本施策2 豊かな心と健やかな体の育成

子供たちに思いやりの心や規範意識、望ましい勤労観や職業観など豊かな人間性や社会性を育むとともに、他者と協働して何かを成し遂げる力を育み、自己肯定感・自己有用感を高めます。

また、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎となる体づくりや規則正しい生活習慣の確立など、児童生徒の体力の向上や学校保健の充実を図るとともに、食育の推進を図ります。

《令和3年度の指標の目標》

規律ある態度について (埼玉県学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙)
83.3%【80/96 項目】(←令和元年度 81.3%【78/96 項目】)
新体力テスト (全国体力・運動能力、運動習慣等調査)
58.3%【7/12 校】(←令和元年度 50.0%【6/12 校】)

主な取組

施策1 いじめや非行問題等に係る生徒指導及び教育相談体制の充実

- (1) いじめ、非行防止対策を推進してまいります。(いじめ対策連絡協議会の開催、いじめ防止等対策委員会との連携等)
- (2) 教育支援センターの機能拡充により、教育相談体制の充実を図ります。

施策2 人権を尊重した教育の推進

- (1) 各学校における教職員研修を実施します。
- (2) 人権作文や標語の取組による人権啓発の充実と主任会における情報の共有を進めます。

施策3 情感豊かな心を育む教育の推進

- (1) 道徳教育の充実を図ります。(授業公開等の実施、研修会の充実)
- (2) 豊かな体験活動を充実してまいります。(特別活動、総合的な学習の時間等の指導の充実)
- (3) 規律ある態度を育成していきます。

施策4 運動に親しみ、健やかな体を育む教育の推進

- (1) 体力づくりの啓発・普及及び学校体育指導の充実を図ります。(実技講習会の開催等)
- (2) 運動部活動の充実と持続可能な運営に向けた取組を進めてまいります。

施策5 健康の保持増進と食育の推進

- (1) 学校保健活動及び関連する教育活動を推進してまいります。(新型コロナウイルス感染症対策に基づいた教育活動や学校保健計画に基づく保健管理の徹底、薬物乱用防止教室の開催等)
- (2) 食育に関する指導の充実を図ります。(食育レシピ集の作成・配布、地産地消の推進)

基本施策3 質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実

複雑化・多様化した問題に対応し、次代を担う児童生徒をより良く育むことができるよう、優れた教職員の育成や確保に努めるとともに、教職員一人一人の力が発揮できるよう、「働き方改革」や「チーム学校」を踏まえた学校の組織運営の改善に努めます。

また、児童生徒一人一人の安心・安全を確保するため、安全教育の充実に努めるとともに、通学区域の見直しや子供を守る家の設置など、家庭や地域と連携した児童生徒の安全な環境の整備に努めます。

《令和3年度の指標の目標》

学級経営や生徒指導、指導法等について (埼玉県学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙)
37.2%【29/78 項目】(←令和元年度 33.3%【26/78 項目】)
一月当たりの時間外在校時間 (勤怠管理)
24.0%(←令和元年度 20.2%)
教員のICTスキル (文部科学省調査)
34.0%(←令和元年度 29.9%)

主な取組

施策1 教職員の資質・能力の向上

- (1) 国や県、市の研究委嘱を受けた学校課題研究をはじめとする各学校で実施される研修会を充実してまいります。(研修会等への講師派遣等)
- (2) 県の教職員評価システムを活用した学校職員の人事評価の適切かつ円滑に実施してまいります。

施策2 働き方改革を踏まえた学校の組織運営の改善

- (1) 「和光市立小・中学校における働き方改革基本方針」に基づいた業務改善・働き方改革を進めてまいります。

施策3 学習環境等の整備・充実

- (1) 和光市小・中学校 ICT 化推進ビジョンに基づき、計画的に ICT 環境を整備してまいります。
- (2) 小学校全学年35人学級の実現や、今後の児童数の増減を見据え、学校規模の適正化に向けた、通学区域の調査等を実施してまいります。
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止等、安全・安心な学習環境を確保します。

施策4 児童生徒の安心・安全の確保

- (1) 避難訓練等の実施と検証及び危機管理室等との連携による学校危機管理・防災マニュアルの見直しを図ります。
- (2) 関係機関や団体等と連携した通学路の安全点検を実施するとともに、子供を守る家 110 番の協力を依頼してまいります。

基本施策4 多様なニーズに対応した教育の推進

共生社会の実現に向け、特別な教育的支援を必要とする児童生徒等への指導等を充実させ、切れ目のない支援に努めます。

また、子供たちに係る様々な課題に具体的に対応していけるようにするため、教職員の専門性を高めるとともに、組織で対応できるよう、家庭や地域との連携も含めた学校体制整備にも努めます。

《令和3年度の指標の目標》

特別支援学校教諭免許状等の取得率
48.0% (←令和元年度 44.0%)

主な取組

施策1 特別支援教育の充実

- (1) 就学支援委員会の適切な実施や特別支援学校との連携などによる、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援体制を整備してまいります。
- (2) 特別支援教育推進専門員の派遣や巡回相談等、専門家による教員支援を実施してまいります。
- (3) インクルーシブ教育の実現に向けた教職員研修を実施してまいります。

施策2 経済的な支援を必要とする子供への支援

- (1) 就学支援制度を周知し、制度に基づく適切な実施してまいります。
- (2) 学力向上支援教員等により、各学校での補習を実施してまいります。
- (3) アスナル教室など福祉等関係機関との連携・情報共有を進めていきます。

施策3 不登校児童生徒への支援

- (1) 教育相談員・発達支援相談員の全校配置と、さわやか相談員の中学校配置を行います。
- (2) 適応指導教室による登校支援の充実を図り、各学校との連携強化を進めてまいります。
- (3) 不登校対策委員会の実施等、小・中学校の連携を進めてまいります。
- (4) 教育支援センターの機能拡充により、教育相談体制の充実を図ります。(再掲)

施策4 外国人児童生徒など一人一人の状況に応じた支援

- (1) 帰国児童生徒や外国人児童生徒のための日本語指導員を派遣してまいります。
- (2) アンケート調査等により児童生徒の心情や抱える困難等を把握するとともに、事案に対して必要に応じて関係機関等と連携し、具体的に対応してまいります。

基本施策5 家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進

各学校のPTAや保護者の会、学校応援団、コミュニティ・スクール等学校を支援する組織及び関係機関等との連携及び協働により、家庭や地域社会とともに歩む学校づくりを進めていくとともに、学校を核とし、地区社会福祉協議会など地域を支える組織と連携及び協働した地域学校協働活動の実現を目指します。

《令和3年度の指標の目標》

コミュニティ・スクールの理解度(和光市教育に関するアンケート ※保護者対象)
20.0%(←令和2年度 9.3%)
コミュニティ・スクールへの関心(和光市教育に関するアンケート ※教職員対象)
13.0%(←令和2年度 2.6%)

主な取組

施策1 コミュニティ・スクールの推進

- (1) 県の委嘱を受けた学校・家庭・地域連携の研究を推進してまいります。
- (2) コミュニティ・スクールディレクターの配置を進めます。(各学校)

施策2 各学校におけるPTAや保護者の会、学校応援団等、学校を支える組織等との連携・協働

- (1) 就学時健康診断や入学説明会等における専門家の活用を進めてまいります。(埼玉県家庭教育アドバイザー等)
- (2) 学校運営協議会委員をはじめ、学校に関わる地域の人たちを対象とした研修会を実施してまいります。

施策3 地域を支える組織や関係機関等との連携・協働

- (1) コミュニティ・スクールディレクターの配置による学校間連携を推進し、地域学校協働本部設置に向けた組織体制の整備を進めてまいります。
- (2) 地区社会福祉協議会や自治会等など地域の様々な団体や民間企業、関係機関との連携を充実してまいります。

基本施策6 安全安心な学校施設の整備

児童生徒が日常の大半を過ごす学校教育環境の安全性を確保し、安心して学校生活を送れるように学校施設を整備します。

《令和3年度の指標の目標》

小中学校特別教室の空調設備の整備
71.0%(←令和2年度 71.0%)

主な取組

施策1 学校施設及び設備の整備と適正な維持管理

- (1) 「和光市小中学校個別施設計画」を計画に沿って推進していくための組織体制を検討してまいります。(市長部局と連携)
- (2) 地震によるブロック塀の崩壊から児童を守るための改修工事を進めてまいります。(第五小学校)
- (3) 市役所内で管理している PCB(安定器)を廃棄処理していきます。
- (4) 広沢施設に完成するプールの活用を見越した、プールろ過器の交換を行います。(広沢小学校・第二中学校のプールろ過器を、それぞれ第四小学校・第三中学校へ)

基本施策7 児童や青少年の居場所づくり

児童が身近な地域で友だちと触れ合いながら安心して過ごすことができ、青少年が社会の責任ある一員として成長できるようにします。

《令和3年度の指標の目標》

放課後児童のための居場所づくりの満足度(和光市教育に関するアンケート)

43.0%(←令和2年度 40.9%)

青少年育成関連団体と人材数(令和元年度事業評価票からの目標値)

実施17団体 参加530人(←令和元年度 17団体 479人)

主な取組

施策1 学童クラブとわこうっこクラブの一体型施設又は一体的な運営による放課後の児童の居場所づくりの推進

- (1) 学童クラブとわこうっこクラブとの一体型施設又は一体的な運営による、放課後等における児童の居場所の充実を図ります。
- (2) 学校や地域との協力による学童クラブ・わこうっこクラブの運営を行います。

施策2 児童や青少年の居場所づくり

- (1) 公共施設等において、施設や地域の特性を活かした各種事業や催し物など、魅力ある居場所づくりを実施します。
- (2) よりよい居場所づくりとなる施設や地域の実情が伝えられるよう、地図・パンフなどの可視化できる仕組みづくりに取り組みます。

施策3 青少年健全育成活動の支援

- (1) 他自治体の事例などを情報収集し、課題解決に対応する事例抽出に取組、活動支援に生かします。
- (2) 青少年育成団体の活動と人材確保を図るため、広報誌やホームページなど各種広報媒体を活用した周知を行い、青少年育成関連に係る情報発信を行います。

施策4 児童・青少年に対する相談支援の強化

- (1) 子育てなどの相談機能の充実を図るため、教育部局等によるスキルアップの実務研修会や講話会への参加案内、集約した情報を関係所管に提供していきます。

基本施策8 生涯学習の振興

市民の多様なニーズに対応した学習機会を提供し、市民が自主的な学習活動を行い、学んだことを地域で生かせるようにします。

《令和3年度の指標の目標》

生涯学習の充実度(和光市教育に関するアンケート)
26.0%(←令和2年度 21.1%)
一人ひとりが個性と能力を発揮できる社会づくり(和光市教育に関するアンケート)
26.0%(←令和2年度 20.5%)

主な取組

施策1 市民の主体的・自主的な学習活動の支援

- (1) 市民の生涯学習・社会教育活動を支援していきます。
- (2) 学びの成果を還元する仕組みを充実するため、地域で活動する個人、団体、大学や企業などの様々な分野と連携し地域課題を担う人材の育成・活用を進めてまいります。
- (3) 社会教育と学校教育の連携を推進していきます。
- (4) 多世代間の交流を進めていきます。

施策2 社会教育施設の充実

- (1) 誰もが安全・安心で快適に利用できる施設整備の充実を図ります。
- (2) 施設の特性に配慮し、ユニバーサルデザインに基づく施設の更新を進めます。

施策3 生涯学習に関するネットワークの構築と活用

- (1) 学校や地域、社会教育団体、国の研究機関や提携大学等との連携を図ります。
- (2) 生涯学習に関する情報の収集や共有を進め、役割や活動状況についての情報を発信してまいります。

施策4 多様な市民ニーズに対応した講座の企画・開催

- (1) 多様な市民ニーズや現代的課題に対応した講座・教室を開催します。
- (2) 公民館における地域のつながり、交流となる地域特性を生かした事業を開催します。
- (3) 地域を生かした人材の活用と地域課題解決につながる講座を企画し、開催します。
- (4) 障害の有無にかかわらず共に学べる場を提供します。

施策5 図書館機能の充実

- (1) 適切な蔵書管理を行います。
- (2) 学校図書館と連携し読書活動、調べ学習等を支援していきます。
- (3) 中高生講座やアクティブシニア向けサービスの充実を図ります。
- (4) 図書館講座や読み聞かせなど、市民や他の公共機関等と連携した図書館事業を充実していきます。

基本施策9 歴史的文化資源の保存・活用と創造的な文化の振興

市民の貴重な財産である文化財や郷土の歴史を後世に伝えていくとともに、市民が郷土に愛着を持てるようにします。また、文化活動を行う市民の自主性が尊重され、創造的な文化活動を活性化します。

《令和3年度の指標の目標》

故郷としての愛着度(和光市教育に関するアンケート)
50.0%(←令和2年度 44.0%)
国・県・市指定文化財件数
17件(←令和2年度 16件)
文化活動への満足度(和光市教育に関するアンケート)
32.0%(←令和2年度 27.4%)

主な取組

施策1 歴史的文化資源の保存・活用 (1) 午王山遺跡の保存・活用を進めます。 (2) 文化財に対する意識の醸成を図ります。
施策2 歴史的文化資源の魅力発信と学ぶ機会の充実 (1) デジタルミュージアムを充実してまいります。 (2) 和光市史平成版の編さんと推進を図ります。
施策3 地域における伝統文化の継承 (1) 伝統文化の担い手を育成していきます。 (2) 新倉ふるさと民家園の保存・活用を進めていきます。
施策4 文化に触れる機会の提供及び文化交流の推進 (1) 市民文化センターの整備及び充実を図ります。 (2) アウトリーチ事業を推進していきます。
施策5 自主的で創造的な文化活動の支援 (1) あらゆる世代に対して文化に触れる機会を提供するとともに、文化団体間の交流を進めてまいります。 (2) 多種多様な文化活動、発表及び創作の場を充実してまいります。

基本施策 10 スポーツ・レクリエーション活動の推進

市民が身近な場所でスポーツ・レクリエーションに親しみ、自主的に取り組めるようにします。

《令和3年度の指標の目標》

スポーツ・レクリエーションの環境の整備(令和元年度事業評価)
スポーツ施設延べ利用473,000名(←令和元年度 467,265名) 登録団体3,750団体(←令和元年度 3,715団体)

主な取組

施策1 スポーツ施設の利用促進

- (1) 指定監理者によるアーバンアクア公園及び広沢複合施設市民プールの施設管理運営を行い、施設の有効活用を図ります。
- (2) 総合体育館の指定管理者更新手続きを進め、施設の有効活用を図ります。

施策2 スポーツ施設の維持管理

- (1) 公共施設マネジメント計画と現地施設の整合性を図り、維持管理・修繕の見直しを行います。
- (2) 総合体育館の照明交換及び特定天井改修工事に取り組みます。

施策3 学校施設や国の施設の有効活用

- (1) 市内小中学校の校庭及び体育館、運動施設に対する適切な利用を図ります。
- (2) 国施設の有効活用を図るため、市民利用とする施設開放の継続を協議します。

施策4 参加しやすいイベントの企画・開催

- (1) スポーツ推進計画に掲げる「スポーツをする・観る・支える」の実現に向け、施設特性や協力機関の特性を生かした事業に取り組みます。
- (2) 指定管理者を含むスポーツ関係者が連携し、既存・新スポーツ等に老若男女や身体の不自由な方も楽しめる「市民に親しまれるスポーツ事業」に取り組みます。

施策5 スポーツ・レクリエーション活動に関する情報発信

- (1) 市広報媒体と関係機関ホームページの情報共有化を図り、動画配信やQRコード等の幅広い情報発信に取り組みます。
- (2) 市内スポーツ団体の活動内容が把握できるホームページ作成を促します。

施策6 体育団体の役員の後継者の養成

- (1) 他団体の取組事案を情報提供し、団体の事業・運営に必要な改善や次世代を担う後継者育成を促します。
- (2) 団体内や関連機関との役割分担を明確にし、相互が連携した事業・活動及び情報交換ができる体制を促します。

令和3年度 学校教育指導の重点

(1)学校経営

◇ 創意工夫を生かし、特色ある教育活動の充実を目指す。

- ① 児童生徒が生き生きと学校生活を送ることができるために、学校教育の目標を具現化する。
- ② 児童生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、特色ある教育課程を編成・実施する。
- ③ 教職員全員を学校運営に参画させ、教職員一人一人の資質向上と育成を意識し組織的に教育活動の推進を図る。
- ④ 学校の教育課題を明確にした校内研修の実施及び教職員による不祥事防止に取り組む。
- ⑤ 家庭や地域社会、異校種との連携や交流を推進して、特色ある教育活動を展開する。

(2)学級経営

◇ 児童生徒一人一人が尊重され、様々な活動に自主的・実践的に取り組む。

- ① 一人一人の児童生徒理解を深め、児童生徒と教師、児童生徒相互の信頼関係を育む。
- ② ガイダンスとカウンセリングを充実させ、個々の学校生活への敵を打を図るとともに、よりよい人間関係の形成を実現する。
- ③ 学級の児童生徒一人一人が認められ、よさや可能性を発揮できる、また、他者の失敗や短所に寛容で共感的な学級の雰囲気醸成していく。
- ④ 各教科等の話し合い活動の充実を図る。
- ⑤ ノーマライゼーションの理念に基づき、個に応じた指導や支援の充実に努める。

(3)学習指導

◇ 生きる力を育む授業の創造を目指す。

- ① ICT機器を効果的に活用した授業の実施に努める。
- ② 新しい観点に基づいた児童生徒の資質・能力を育むため、児童生徒の発達段階や地域の実態を十分に踏まえたカリキュラム・マネジメントを展開する。
- ③ 児童生徒一人一人が内発的な学習意欲を高め、自ら気付き、自ら考える学習が展開できるように、学習過程や指導方法等の工夫・改善を図る。
- ④ 児童生徒一人一人の理解の程度や興味・関心に応じた学習が進められるよう、少人数学級編制や個に応じたよりきめ細かな指導を行い、学習形態や指導体制等の一層の工夫・改善を図る。
- ⑤ 児童生徒の適切な言語活動を促すように、言語環境の整備に努める。

(4)生徒指導・教育相談

◇ 児童生徒が抱える悩みや不安の解決を図り、心豊かな児童生徒の育成を目指す。

- ① 一人一人の児童生徒理解を深め、カウンセリングマインドを生かした共感的理解に基づく指導と援助に努めるとともに、児童生徒と教師、児童生徒相互の信頼関係を育む。
- ② 早期発見・早期対応の取組の充実を図り、児童生徒が安心でき、自己存在感を感じられる授業や集団づくりを行う。
- ③ 基本的な生活習慣を確立させ、児童生徒自らが規範意識に基づいた行動ができるよう指導の工夫を図る。
- ④ 全教職員の共通理解と教職員一人一人役割を明確にし、管理職のリーダーシップの下、生徒指導主任や教育相談主任等を中心に、担任や養護教諭等、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談員等と連携を図り、校内指導体制を確立する。
- ⑤ 地域や学校の実態に応じた全体計画・年間計画を作成し、計画に基づく積極的な生徒指導・教育相談を推進する。

- ⑥ 家庭や地域社会、関係機関等と密接に連携し、地域ぐるみの健全育成活動を推進するとともに、相互に連携しながら児童生徒を支援する。
- ⑦ 全教職員で各学校のいじめ防止基本方針の共通理解を図り、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、児童生徒間のトラブルを特定の教職員で抱え込むことなく組織として具体的に対応する。
- ⑧ 不登校児童生徒の学習状況や心身の状況等を継続的に把握するとともに、学校と家庭、関係機関等が相互に協力しながら児童生徒を支援する。

(5)進路指導・キャリア教育

◇ 自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、進路指導・キャリア教育の充実を図る。

- ① 全教職員による協力的な指導体制を整備し、児童生徒の実態に応じた指導計画の作成とその実施に努める。また、進路指導・キャリア教育の意義や推進方法などについて共通理解を深める。
- ② 児童生徒一人一人が進路に対する目的意識を高めるとともに、発達段階に応じて望ましい勤労観や職業観を身に付け、児童生徒理解を基盤とした指導・援助を計画的、組織的、継続的に行う。
- ③ 進路選択の指導に当たっては、単なる職業選択や学校選択に終わることなく、児童生徒自らの意思と責任で進路を選択決定できるよう、啓発的な経験を充実させ、キャリア教育の意義を踏まえた指導・援助に努める。
- ④ 児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図る。
- ⑤ 小・中・高等学校及び特別支援学校との連携を図るとともに、児童生徒が、自分自身の将来への変容や成長を自己評価できるよう、キャリア・パスポートの活用をする。

(6)道徳教育

◇ 人間としてのよりよい生き方を考え、実践できる児童生徒の育成を目指す。

- ① 道徳科を要として全教育活動を通じた道徳教育の指導の充実を努め、各教科等の特質に応じて、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度などの道徳性を養う。
- ② 児童生徒の道徳性の実態を的確に把握するとともに、道徳教育推進教師を中心に、全教職員の参加と協力によって全体計画、年間指導計画、学級における指導計画の見直しを図る。
- ③ 様々な教材を活用し、自己を見つめ物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習指導を充実する。
- ④ 児童生徒の成長を認め、励ます評価を行うとともに、自らの指導を評価し改善する。
- ⑤ 家庭や地域社会との相互の連携を密にし、児童生徒の豊かな体験の場や機会の充実を図り、内面に根ざした道徳性を育成するとともに、道徳的実践の充実を努める。また、「考え、議論する道徳」への質的転換に向け、多様な指導方法を取り入れた授業展開を図る。
- ⑥ 障害の有無などに関わらず、互いのよさを認め合って協働していく態度を育てるとともに、授業においては、役割演技や動作化など工夫した指導を取り入れるなどの配慮を行う。

(7)体 育

◇ 健やかな体と豊かな心を持った児童生徒を育成する。

- ① 心と体を一体としてとらえ、児童生徒一人一人に運動の楽しさや喜びを味わわせる授業を実践し、自ら運動する意欲を培い、生涯にわたり積極的に運動に親しむ資質や能力、基礎的な体力を育成する。
- ② たくましく生きるための健康や体力を育成するため、体育・健康に関する指導を学校の教育活動全体を通じ計画的・継続的に指導するとともに、運動しやすい環境の整備・充実に努める。
- ③ 体育・健康に関する指導の充実のため、安全教育と安全管理に学校全体で取り組み、児童生徒の健康・安全に関する態度を育成する。

- ④ 学習指導要領の趣旨を生かし、体育科・保健体育科の体育的活動に関する指導と評価を効果的に進めるため、研修の充実を図る。

(8)健康教育

◇ 生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を主体的に実践できる児童生徒を育成する。

- ① 健康の大切さを認識し、健康課題をよりよく解決するため、自らの健康を適切に管理して改善するための判断と行動ができる資質や能力を育てる。
- ② 自他の生命を尊重し、生涯にわたり自ら安全な生活を営むとともに、他の人々の安全にも配慮し、行動できる資質や能力を育てる。
- ③ 家庭・地域社会との連携を図り、学校保健・学校安全・感染症予防や具体的な対応策・学校における食育の充実に努める。
- ④ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣や、給食活動を通じた好ましい人間関係を育て、健やかに生きるための基礎を培う。

(9)人権教育

◇ 人権問題を正しく理解し、人権感覚を身に付け、様々な人権課題を解決しようとする児童生徒を育成する。

- ① 教育活動全体を通して人権教育を推進し、児童生徒の発達段階に応じて人権問題の正しい理解を図り、解決に向けて自ら主体的に行動できる児童生徒の育成に努める。
- ② 児童生徒や地域の実態を把握し、全体計画及び年間指導計画の改善を図り、全教職員の協力体制の下で、計画的・総合的な実践に努める。
- ③ 一人一人の児童生徒が発達の段階に応じ、人権の意義や内容や重要性について理解し、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようにするとともに、人権への配慮が様々な場面や状況に応じて、態度や行動に現れるようにするなど、人権感覚の育成に努める。
- ④ 家庭・地域社会と連携し、体験的活動や多くの人々との交流活動を通して自他の人権を尊重し、他者の痛みを共有できる豊かな人間性を醸成する。

(10)特別支援教育

◇ 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進する。

- ① 特別支援教育全体計画を活用し、学校全体の教育活動における特別支援教育の位置付けを明確にするとともに、特別支援教育コーディネーターを中心とした、校内委員会を計画的に開催し、組織的な校内支援体制の整備に努める。
- ② 児童生徒一人一人の教育的ニーズの把握を十分に行い、必要に応じて関係機関と連携を図り、個別の支援計画等の作成をして、適切な指導や支援に努める。
- ③ 特別支援学級及び通級による指導では、特別の教育課程を編成し、各教科等における配慮事項なども含めた個別の指導計画を作成する。
- ④ 就学支援については、早期からの情報提供や相談会の実施、継続的な相談等に努めるとともに、就学先決定については、児童生徒一人一人の障害の状態や保護者・本人の意向を十分聴取し、教育、福祉、医療等との連携に努め、専門家の意見を聞いた上で総合的かつ丁寧に行う。
- ④ 共生社会の形成を目指した教育の推進のため、一人一人の障害の状態に即した年間指導計画の下に、支援籍学習、交流及び共同学習の充実を図る。

(11)国際理解教育

◇ 国際社会に主体的に生きる児童生徒の育成と国際理解教育の充実を目指す。

- ① 教育課程や授業内容等を国際理解教育の視点に立って見直し、全体計画・年間指導計画に基づき、日本及び諸外国の文化・伝統等について理解を深め、国際社会の一員としての自覚をもった児童生徒の育成に努める。

- ② 児童生徒の発達の段階や実態に即し、各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等との連携を図り、効果的な指導の充実に努める。
- ③ 児童生徒が豊かな国際性を身に付けるため、外国語指導助手（ALT）や地域の人材等を積極的に活用し、言語能力や異文化理解を図るための授業や研修会の充実に努める。

(12)情報教育

◇ 情報化社会に主体的に対応できる情報活用能力を育む教育を推進する。

- ① 全ての教科等でICT機器を適切に児童生徒に活用させる。
- ② 情報及び情報手段を主体的に選択し、効果的に活用していくための情報活用能力や態度を培う全体計画・年間指導計画を作成し、授業の工夫・改善に努める。
- ③ 児童生徒が情報を主体的に収集・選択・活用・発信できる創造性と応用力の育成に努めるとともに、情報モラル教育の充実に努める。
- ④ 系統的に小・中学校を通じてプログラミング教育を充実させる。
- ⑤ 教育の情報化を推進し、教育機器等を活用した学習指導の充実に努める。また、校務の情報化を推進し、教職員の情報活用能力の向上を図る。

(13)環境教育

◇ 持続可能な社会の実現のため、環境問題に関心を持ち、環境を守ろうとする心と態度の育成に努める。

- ① 身近な環境への理解を深め、環境を守ろうとする心を育成する。また、持続可能な環境型社会の実現を目指して、主体的に行動できる実践的な態度や資質、能力の育成に努める。
- ② 環境教育等促進法を踏まえ、環境教育の重要性や生涯学習との関連について教職員の認識を深めるとともに、指導内容、指導方法についての共通理解を図る。
- ③ 地域や児童生徒の実態に応じた各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等相互の連携を図った全体計画を作成する。また、児童生徒の主体的な学習が行われるよう、指導方法の工夫・改善に努める。
- ④ 家庭・地域社会、NPO等との連携を深め、地域の自然や社会環境を生かした体験活動を通して感受性を豊かにし、問題解決能力や態度の育成に努める。

(14)ボランティア・福祉教育

◇ 児童生徒や地域の実態等を把握し、豊かな心や福祉の心を培い、発達の段階に応じたボランティア・福祉教育の実践を目指す。

- ① ボランティア・福祉教育の意義について教職員の共通理解を図り、全体計画・年間指導計画に基づき、組織的・計画的な教育活動の推進に努める。
- ② ボランティアに関わる体験的な活動を通して、望ましい勤労観、職業間の育成や社会奉仕の精神の涵養を図ったり、人権尊重の精神を基盤に、社会福祉への関心と理解を深めたりするため、発達の段階や学校・地域の実態に即して、指導方法・指導内容を創意工夫し、ボランティア活動や福祉体験の充実に努める。
- ③ 家庭や地域、社会福祉施設等の理解・協力を得ながら、ボランティア・福祉教育を推進する。

(15)学校図書館教育

◇ 学校図書館を活用した授業の充実に努めるとともに、児童生徒の読書に親しむ態度を育む。

- ① 各教科等においては、学校図書館を利活用した学習を通して、児童生徒の「思考力・判断力・表現力等」や「情報活用能力」等を育むとともに、児童生徒が利用方法の基礎的な知識やマナーを身に付ける。
- ② 司書教諭を中心とした全教職員の共通理解のもと、適切な蔵書管理に努めるとともに、授業での活用促進、子供の居場所づくりなど、学校図書館のよりよい運営に努める。
- ③ 発達段階に応じた読み聞かせや一斉読書等、各学校の工夫した取組を通して、児童生徒の継続的な読書習慣を確立する。

7. 教育費予算

(1) 令和3年度和光市一般会計当初予算

(単位:千円)

民生費	13,673,598	48.4%
総務費	4,584,177	16.2%
教育費	2,503,778	8.9%
土木費	2,114,852	7.5%
公債費	1,989,075	7.0%
衛生費	1,883,656	6.7%
消防費	977,991	3.5%
議会費	218,392	0.8%
商工費	74,535	0.3%
労働費	61,792	0.2%
諸支出金	56,648	0.2%
農林水産業費	48,506	0.2%
予備費	40,000	0.1%
歳出合計	28,227,000	100.0%

(2) 教育費内訳

(単位:千円)

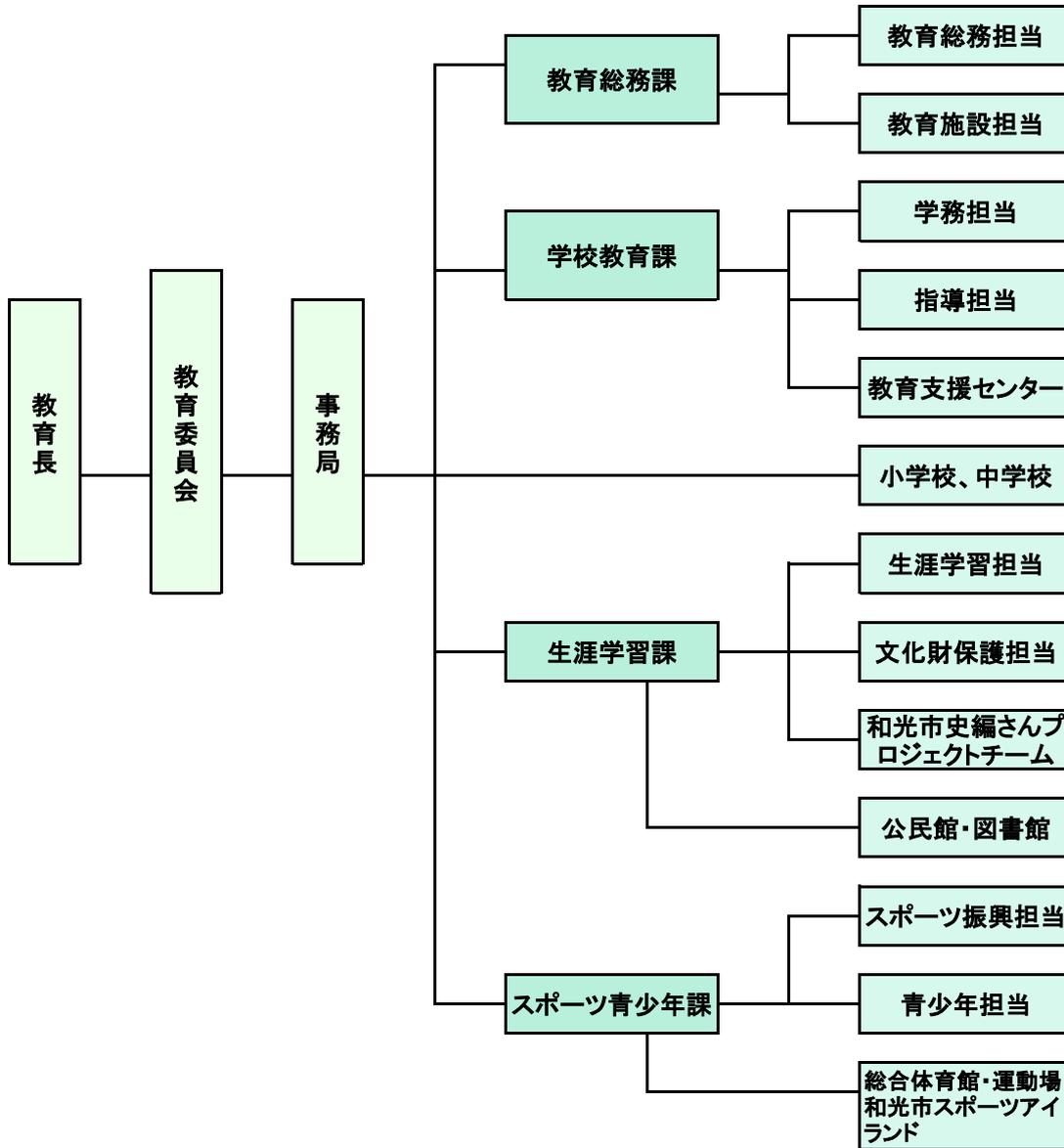
教育総務費	398,898	15.9%
小学校費	638,152	25.5%
中学校費	184,315	7.4%
社会教育費	601,463	24.0%
保健体育費	680,950	27.2%
教育費総額	2,503,778	100.0%

(3) 教育費当初予算前年比

単位:千円

10 教育費	令和3年度	令和2年度	比較	対前年比	全体割合
		2,503,778	2,350,202	153,576	6.5%
1 教育総務費	398,898	415,856	△16,958	-4.1%	15.9%
1 教育委員会費	2,406	2,399	7	0.3%	0.1%
2 事務局費	176,128	162,191	13,937	8.6%	7.0%
3 教育振興費	220,364	251,266	△30,902	-12.3%	8.8%
2 小学校費	638,152	521,509	116,643	22.4%	25.5%
1 学校管理費	269,652	313,549	△43,897	-14.0%	10.8%
2 教育振興費	368,500	207,960	160,540	77.2%	14.7%
3 中学校費	184,315	236,487	△52,172	-22.1%	7.4%
1 学校管理費	67,339	131,177	△63,838	-48.7%	2.7%
2 教育振興費	116,976	105,310	11,666	11.1%	4.7%
4 社会教育費	601,463	549,629	51,834	9.4%	24.0%
1 社会教育総務費	392,219	340,796	51,423	15.1%	15.7%
2 公民館費	53,034	51,525	1,509	2.9%	2.1%
3 図書館費	150,208	149,641	567	0.4%	6.0%
4 文化財調査費	2,557	3,803	△1,246	-32.8%	0.1%
5 青少年育成費	3,445	3,864	△419	-10.8%	0.1%
5 保健体育費	680,950	626,721	54,229	8.7%	27.2%
1 保健体育総務費	59,124	58,812	312	0.5%	2.4%
2 体育施設費	171,010	125,422	45,588	36.3%	6.8%
3 学校給食費	450,816	442,487	8,329	1.9%	18.0%

8. 教育委員会事務局・教育機関の組織図



9. 教育委員会事務局事務分掌

(令和3年4月1日現在)

【教育総務課】

教育総務担当

- (1) 教育委員会の会議に関する事。
- (2) 規則等の制定又は改廃の事務に関する事。
- (3) 予算の総括に関する事。
- (4) 職員(県費負担教職員並びに小学校及び中学校に置かれる職員を除く。)の人事に関する事。
- (5) 公印の管理に関する事。
- (6) 校用備品の整備及び管理に関する事。
- (7) 交通指導員に関する事。
- (8) 事業の共催又は後援の承認に関する事。

教育施設担当

- (1) 教育財産に関する事。
- (2) 学校の施設及び設備の整備並びに管理に関する事。

【学校教育課】

学務担当

- (1) 児童生徒の入学、転学及び退学に関する事。
- (2) 通学区域に関する事。
- (3) 学級編制に関する事。
- (4) 児童生徒の災害共済に関する事。
- (5) 就学援助に関する事。
- (6) 入学準備金に関する事。
- (7) 県費負担教職員並びに小学校及び中学校に置かれる職員の人事及び給与事務に関する事。

指導担当

- (1) 学校教育の指導助言に関する事。
- (2) 教職員の研修に関する事。
- (3) 学校の保健及び安全に関する事。
- (4) 学校給食に関する事。
- (5) 教科用図書その他教材(教材備品を含む。)に関する事。
- (6) 教育相談に関する事。
- (7) 学校における人権教育に関する事。
- (8) 教育研究団体に関する事。

【生涯学習課】

生涯学習担当

- (1) 生涯学習の推進に関する事。
- (2) 社会教育施設の管理及び運営に関する事。
- (3) 社会教育委員に関する事。
- (4) 社会教育における人権教育に関する事。
- (5) 社会教育関係団体に関する事。

文化財保護担当

- (1) 文化財の調査及び保護に関する事。
- (2) 市指定文化財に関する事。
- (3) 文化財関係団体に関する事。
- (4) 文化財保護委員会に関する事。
- (5) 史料の収集及び整理に関する事。

和光市史編さんプロジェクトチーム

- (1) 和光市史の編さんに関する事。

【公民館】

- (1) 公印の管理及び文書処理に関する事。
- (2) 公民館運営審議会に関する事。
- (3) 施設及び庁用備品の維持管理に関する事。
- (4) 公民館の施設の利用に関する事。
- (5) 各種事業との企画実施に関する事。
- (6) 関係団体との連絡調整に関する事。
- (7) その他公民館の庶務に関する事。

【図書館】

- (1) 図書館運営の調査、研究及び企画に関する事。
- (2) 図書館資料の収集、整理、保存及び除籍に関する事。
- (3) 図書館資料の利用に関する事。
- (4) 視聴覚資料に関する事。
- (5) 図書館統計に関する事。
- (6) 図書館予算の経理に関する事。
- (7) 図書館施設の維持管理に関する事。
- (8) 図書館協議会に関する事。
- (9) 他の機関との連絡、協力に関する事。
- (10) 読書相談に関する事。
- (11) 読書会、研究会等の開催に関する事。
- (12) 地域の読書活動の援助に関する事。
- (13) 庶務に関する事。
- (14) その他図書館奉仕に関する事。

【スポーツ青少年課】

スポーツ振興担当

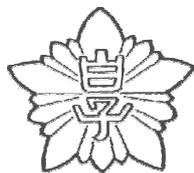
- (1) スポーツ及びレクリエーションの推進に関する事。
- (2) スポーツ及びレクリエーション団体に関する事。
- (3) スポーツ施設の管理及び運営に関する事。
- (4) 学校体育施設の開放に関する事。
- (5) スポーツ推進委員に関する事。

青少年担当

- (1) 青少年健全育成に関する事。
- (2) 青少年問題協議会に関する事。

Ⅱ 学 校 教 育

1 学 校 紹 介



和光市立白子小学校

校長名 佐野 一機 教頭名 新村 宏子

電 話 048 (461) 2073 FAX 048 (461) 2240

HP <http://www.wako-city.ed.jp/~shirako/> E-mail:shirako@wako-city.ed.jp

住 所 和光市白子3-2-10 開校記念日 10月17日

児童数 550名 教職員数 28名 学級数 18 特別支援学級 2

(1) 目指す学校像

「笑顔、力、夢を 地域とともにほぐくむ学校」

(2) 学校教育目標

- 考える子（知育） …主体的に学び、考える子
- 仲よくする子（徳育） …対話的・協働的に深い学び、仲良くする子
- 元気な子（体育） …心も体も健康で、生きる力にあふれる子

(3) 重点目標

- 常に「ほうれんそうのおひたし」の意識を持って職務を推進する
ホウ「報告」、レン「連絡」、ソウ「相談」、お「怒らない」、ひ「否定しない」
た「助ける」、し「指示する」
- 「新しい学」を推進する
 - ・ 「主体的・対話的で深い学び」を日々の授業で実践する
 - ・ 「新しい学び」の推進の観点から、校内研修（算数科）を実践する
 - ・ 和光市の教育を牽引する「一人一台のタブレットの活用」を推進する
 - ・ 新しい学力の概念による指導と評価

(4) 本校の特色

本校は開校147年目を迎える歴史と伝統ある学校である。今年度は児童数550名となり、校地面積と比較しても適正規模の学校である。穏やかで、勤労を厭わず、基本的な生活習慣を身につけている児童が多く、落ち着いた学校生活を過ごしている。

本校は、これまで、卒業生を中心とした地域の方々、学校応援団に登録していただいている方々に様々なご支援をいただいていた。環境整備や子どもたちの見守り、ゲストティーチャーなど授業支援への協力や地域行事開催など、子どもたちの成長を多方面から支えていただいている。今年度はコミュニティスクール5年目となり、より一層地域の方々とは目標や課題を共有し、地域ならではの創意や工夫を生かした「地域とともに歩む学校づくり」を進めていく。

(5) 本年度の研究

【研究主題】 「思考力を高める算数指導」

和光市立新倉小学校

○ 概要



- ・校長名 土井 純子
- ・教頭名 島崎 秀
- ・電話 (461) 2108
- ・FAX (461) 2144
- ・HP <http://web.wako-city.ed.jp/niikura/>
- ・E-mail niikura@wako-city.ed.jp
- ・住所 〒351-0115 和光市新倉2-2-39
- ・開校記念日 11月11日
- ・児童数 558名
- ・教職員 32名
- ・学級数 19
- 特別支援学級 2

○ 学校地域教育目標

- ・考える子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子
- ・地域と共に生きる子

○ 目指す学校像

「明るいあいさつ、笑顔いっぱい、一人ひとりの良さが生きる学校」
～ にこにこ いきいき クリーン ランラン 新倉小学校 ～

○ 本年度の指導の重点

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 体力の向上、健康・安全教育の充実
- (3) 読書活動の推進
- (4) 学年・学級経営の充実
- (5) 生徒指導・教育相談の充実
- (6) 特別支援教育の充実
- (7) 教育環境の整備
- (8) 家庭・地域・異校種間との連携

○ 本校の特色

開校147年の歴史と伝統を持つ本校は、コミュニティ・スクールとして和光市教育委員会の指定を受けている。本校は児童の「豊かな心の育成」を中心に捉え、「自然を大切にする教育」「芸術と文化を大切にする教育」に関わる事業を地域とともに推進している。

児童にとって、学ぶ喜びと楽しさがある学校、保護者にとって信頼できる学校、地域にとって誇れる学校、教職員にとってお互いに高め合える学校を目指している。

児童一人ひとりを大切に、心豊かで生きる力を育む教育を推進するため、教科指導充実加配教員による指導法の工夫改善や、総合的な学習の時間による体験学習、福祉教育、異年齢集団によるグループ活動を積極的に行っている。また、安全な環境づくりを目指して、保護者と連携した学習環境の整備に努めている。

○ 本年度の研究

- ・研究主題 「自分の考えをもち、伝え合うことのできる児童の育成」
～ 「わかる・できる・楽しい」授業の工夫・改善を目指して～
和光市教育委員会委嘱研究

和光市立第三小学校



校長名 渡邊 丈裕

教頭名 佐藤 秀雄

電話 (461) 2322

F A X (461) 2535

HP:<http://3sho.wako-city.ed.jp/>

E-mail:3sho@wako-city.ed.jp

住 所 和光市中央 1-1-4

開校記念日 5月 17日

児童数 423名 教職員数 44名

学級数 13 特別支援学級数 1

○学校教育目標

「学び合い、心育み合い、鍛え合い
人と共に「生きる力」が育つ学校」

＜第三小 3つの輝き＞

- ☆知をつくる→学んだことを生かせる子
- ☆心をつくる→やさしさと思いやりのある子
- ☆体をつくる→健康でじょうぶな子

○指導の重点

- (1) 学び合う学校 ～ 基礎基本を徹底し、積極的に学ぶ子どもを育てる
わかる授業づくり 体験活動等を通じた学習意欲の高揚 地域人材の活用 校内研修の充実
家庭学習の定着
- (2) 心育み合う学校 ～ やさしさと思いやりのある子どもを育てる
道徳教育の推進 子ども一人一人を大切に生徒指導・特別支援体制の確立 清掃活動の徹底
三小五心の育成 読書活動の推進
- (3) 鍛え合う学校 ～ 健康でじょうぶな子どもを育てる
体育的活動の充実 食育、健康教育推進のための家庭との連携強化 生活習慣の確立

○本校の特色

【 地域に開かれ、人と共に「生きる力」が育つ学校をつくる 】

本校は本年度開校62年目を迎える。東武東上線和光市駅から至近距離にあり、メトロ有楽町線、副都心線の利ともあいまって目ざましく発展変貌を続ける地域が学区となっている。平成20年3月に完成した北校舎は斬新なデザインで外観的にも市民、住民の関心を集めている。特別支援学級（おおぞら学級）の運営を通して特別支援教育の考え方を通常学級にも取り入れることや、異学年交流等の活動を通して思いやりの心を育てることに力を入れている。一方、保護者をはじめとする地域の方々の協力や、ボランティア活動に携わる方々の教育力は児童の多様な学習を支える力となっている。また、毎年夏に開催される「三小夏まつり」は、児童のみならず地域の年中行事として恒例となっており、手作りのあたたかみのある市民交流の場となっている。このような地域と人に支えられ、児童たちは明るくのびのびとした学校生活を送っている。その児童のよさを更に伸ばさせるため、児童が他者と豊かにかかわることのできるコミュニケーション能力をはぐくむことを目指し、あめんぼの会による読み聞かせやおやじの会によるイベント開催等を通して教育活動の充実を図っている。

また、コミュニティ・スクールにおいて、家庭・地域と共に歩み、特色ある学校づくりを推進していく。

○本年度の研究

「自分の思いや考えをもち、主体的に伝え合う児童の育成～国語科の授業の工夫・改善を通して～」

◎「確かな学力の育成」「相手を思いやる心の醸成」「体力の向上」のための体験的な学習活動

- 1 学力アップ・たけのこ教室 ・一斉読書
・夏季休業中の算数教室
- 2 異年齢活動・仲よしランチ・秋フェスティバル
- 3 体力アップ・なげっこ教室・マラソントime
・逆上がり教室・跳び箱教室
- 4 福祉教育 ・車いす体験・アイマスク体験
- 5 食育 ・トウモロコシ皮むき・枝まめさや取り
- 6 幼稚園 ・保育園交流・いっしょに遊ぼう

◎地域・保護者との連携による教育活動

- 1 P T A活動（夏まつり・防犯パトロール）
- 2 三小オヤジの会『オヤラボ』（環境整備）
- 3 学校応援団（図書ボランティア・クラブ指導）
- 4 地域人材の活用（読み聞かせ・米づくり）

＜児童向け目標＞

- ・えがおいっぱい
- ・まなびいっぱい
- ・やさしさいっぱい
- ・たくましさいっぱい

和光市立第四小学校

○学校の概要



- 【校長名】小寺 恵理子
- 【教頭名】土橋 賢典
- 【住 所】和光市諏訪3-20
- 【電 話】048(461)4855
- 【F A X】048(461)4895
- 【E mail】4sho@wako-city.ed.jp
- 【H P】http://4sho.wako-city.ed.jp
- 【学級数】16（特別支援学級：2）
- 【児童数】437名
- 【職員数】57名

○学校の特色

青々と生い茂った櫨に囲まれた市内随一の広い校庭。西側の一角に子どもたちの健やかな成長を見守りつづける蒸気機関車。この恵まれた教育環境の中で、明るく健康な子どもたちの育成を目指して、教職員の協働精神のもと教育活動を展開している。理化学研究所が隣接していることから、様々な国から来日する研究者の子弟が在籍しているため、日常的に外国の方と接する機会が多い環境にある。

○学校教育目標

- かがやく子 【知：判断力・実践力の育成】
- ゆたかな子 【徳：人間尊重・社会性の育成】
- げんきな子 【体：健全な心身の育成】



イメージキャラクター
「わこポップくん」

○指導の重点

(1) 目指す学校像

「子供たち一人一人が安心して豊かに学べる学校」
 ～ **け**：けんこう **や**：やさしさ **き**：きらきら **の**：のびのび **こ**：こつこつ ～
 (健康) (優しさ) (自己肯定感) (表現力) (努力)

「安心して、豊かに学べる学校」とは・・・

- 教育機器も活用しながら個に応じた学びを深められる学校 (授業重視)
- 規範意識を高め、思いやりの心が満ちあふれた学校 (道徳重視)
- 安全で美しく、豊かな教育環境に包まれた学校 (環境美化・整備)
- 教師が使命感に燃え、切磋琢磨して協働・補完できる学校 (研修重視)
- 地域に開かれた、地域から信頼される学校 (連携重視)



(2) めざす児童像 ■「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供」

＜健康（たくましく）＞
 ☆進んで運動する元気な子
 ☆最後までがんばる子
 ☆何でもおいしく食べる子

＜共生（なかよく）＞
 ☆友達と進んで関わる子
 ☆思いやりの心が持てる子
 ☆みんなのために働く子

＜自立（ひとりで）＞
 ☆自ら進んで学べる子
 ☆自ら進んで解決できる子
 ☆よく考えて行動できる子

(3) 目指す教師像 ■「チーム四小」として

- ①学び続ける教師 (向上心)
- ②学ぶ喜び、わかる喜びを味わわせ、指導できる教師 (指導力)
- ③人間性豊かな教師 (温かさと厳しさ)
- ④範を示す教師 (時を守り・場を清め・礼を正す)
- ⑤保護者や地域とのかかわりを大切にし、共に学ぶ教師 (協力・連携・絆)

○本年度の研究主題

『言葉による見方・考え方を働かせ、適切に表現する児童の育成』



和光市立第五小学校

校長名 來嶋 実樹子 教頭名 船越 一英
 住 所 和光市南1丁目5番10号
 児童数 689名 教職員数 31名
 学級数 21 通級指導教室 1 電 話 048(463)3100
 開校記念日 9月29日 FAX 048(463)3101
 H P : <http://5sho.wako-city.ed.jp/> E-mail : 5sho@wako-city.ed.jp



1 学校教育目標 心豊かな子ども 進んで学ぶ子ども たくましい子ども 地域を愛する子ども

2 目指す学校像 笑顔あふれ、歌声響き、学び合う学校

～ 一人一人の笑顔と歌声にあふれ、深く学び合い、生きる力をはぐくむ学校 ～

児童像 自立（ひとりで） 共生（なかよく） 健康（たくましく）

(1) 自立（ひとりで）

- ☆自ら進んで学ぶ子 ☆自ら考え判断し、正しい行動ができる子
- ☆自ら考え、課題が解決できる子

(2) 共生（なかよく）

- ☆誰にでも思いやりの心をもって接する子
- ☆みんなで学び合い、みんなのために働く子
- ☆いじめは絶対しない子

(3) 健康（たくましく）

- ☆進んで運動し、体力をつける子
- ☆最後まで粘り強く取り組む子
- ☆早寝・早起き・朝ご飯を守って、健康な子

教師像

- ☆研究と修養に励み、児童のよさや可能性を伸ばす教師
- ☆温かさと厳しさを持ち合わせ、児童への愛情を表現できる人間性豊かな教師
- ☆互いに切磋琢磨し、組織の一員として協働する教師
- ☆児童や保護者、地域の期待に応える教師

3 学校経営方針

- 確かな学力の育成を図る学習指導の充実
- 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実
- 教職員の資質能力の向上と教職員組織の活性化
- 教育環境の整備と充実
- 学校・家庭・地域と一体となった教育の推進

5 DAIGO(5)プラン（重点・努力点）

- プラン1：学力・体力の向上 → 居心地の良い学級づくりと基礎・基本の定着
- プラン2：読書活動の推進 → 読書好きな子を増やす
- プラン3：教育相談・生徒指導の推進 → モデリング・コーチング・フィードバック
- プラン4：道徳・芸術（音楽・図工）・特別活動の充実 → 思いやり・表現力・自主性の育成
- プラン5：安心・安全、開かれた学校づくりの推進 → 保護者・地域との連携

6 本校の特色

白子川沿いの緑の木々に囲まれた校庭、子供たちの夢を育むために、PTA・学校応援団（さつき応援団）を中心とした、地域・保護者の方々が今まで整備されてきた「ごぼう山」「さつき池」などがあり、児童の情操を培う教育環境となっている。本校の特色である異年齢集団活動や「さつきの子運動」をとおり、教育目標の具現化に努めている。高学年が手本となり、笑顔あふれ、歌声響く学校となってきている。子供たちも教職員も元気で、安心・安全な教育活動を進め、共に学び合い、共に高め合う学校を目指している。

7 本年度の研究

研究教科 特別の教科 道徳
 研究主題 「主体的に学び合う子どもを育てる道徳教育を目指して
 ～他者との関わりを深める授業実践を通した心の豊かな子の育成～」



4 生徒指導の重点《さつきの子運動》

- さわやかなあいさつ(笑顔であいさつができる子)
- つよい心とからだ(心身ともに健康で、体力がある子)
- きれいなこうしゃ(学校をきれいに掃除できる子)
- のぼそう学ぶ力(自ら学び、考え、発表できる子)
- こころをこめたことば(思いやる言葉が、かけられる子)



ホームページ・QRコード

和光市立広沢小学校



HP ▶ <http://web.wako-city.ed.jp/~hirosawa/>
MAIL ▶ hirosawa@wako-city.ed.jp
住所 ▶ 351-0106 和光市広沢1-5
電話 ▶ 048-464-1149 FAX ▶ 048-464-1235
校長 辻 英一 教頭 對馬 秀樹
開校記念日▶5月22日 児童数▶453名 教職員数▶54名
学級数▶18 (普通学級15 特別支援学級3)

1 本校の特色

昭和50年4月1日に開校、本年度47年目を迎えた。和光自衛隊官舎と西大和団地五街区等が学区。官舎から通学する児童が80%以上を占めており、毎年自衛隊の定期異動に伴い春季及び夏季の転出入が多い。校庭の端に広がる芝生、中庭等恵まれた環境を生かし、校内にある畑において、花や野菜を栽培する等体験活動を通じた環境教育の充実を児童、教職員そして保護者ととともに図っている。図書室や絵本ワールドには、児童が自由に本を読むことができるスペースを複数確保し、本校読書活動の一層の充実を図っている。また、タブレット端末等ICT機器を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びを実践する。

2 学校教育目標 「ひろい心で さわやかに」

輝かしい伝統と校風を受け継ぎ、これまで培われてきた「ひろい心でさわやかに」を引き続き継承・発展させていく。そのために、児童の実態を的確に把握するとともに、保護者や地域の願いを踏まえ、これからの多様な価値観のある社会を、自分のよさ・能力・可能性を生かして、主体的に生きていく児童、思いやりの心をもった児童の育成を目指す。

3 目指す学校像・児童像・教師像

(1) 目指す学校像

- ① 学校・地域・保護者が子供たちのために連携し、問題解決を推進する学校
- ② 教職員が「ほうれんそうのおひたし」の精神を持ち、連携して働く学校
- ③ 児童がソサエティー5.0時代を生きる力を学べる学校

(2) 目指す児童像

- ① 主体的に学ぶ児童
- ② 対話的・協働的に学ぶ児童
- ③ 深い学びを体験できる児童

(3) 目指す教師像

- ① 教師としての指導力、授業実践力を鍛える。
- ② 手本を示して強く元気な生き方の指針を示す。
- ③ 子供を原点に、子供が安心できる環境づくりをする。

【ほうれんそうのおひたし】

ほう：報告（ほうこく）
れん：連絡（れんらく）
そう：相談（そうだん）
（の）
お：怒（おこ）らない
ひ：否定（ひてい）しない
た：助（たす）ける
し：指示（しじ）する

4 本校の研究

- (1) 研究領域 国語
- (2) 研究主題 学んだことを活用できる児童の育成
～確かで豊かな読みを育む活動を通して～

5 指導の重点

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導
- (2) ICTを有効活用した指導
- (3) 豊かな体験活動
- (4) キャリア教育やSDGsの取組など、自立の基礎となる力の育成
- (5) いじめ根絶、非行防止に資する生徒指導及び教育相談
- (6) 一人一人の人権の尊重
- (7) 規律ある態度の育成
- (8) 体力向上や健康の保持増進、食に関する指導
- (9) 特別支援教育など一人一人の教育的ニーズに対応する指導
- (10) コロナ禍に配慮した指導及び安全指導



和光市立北原小学校

校長名 藤 律之 教頭名 岡田 智彦
住 所 和光市新倉 1 - 5 - 2 7
電 話 048 (461) 3374 F A X 048 (461) 3393
Hp:<http://kitahara.wako-city.ed.jp/>
E-mail:kitahara@wako-city.ed.jp
開校記念日 1 1 月 1 5 日
児童数 4 7 2 名 学級数 1 7 教職員数 3 4 名

○学校教育目標

- **知**・・・かしこさ よく考え行動する子
- **徳**・・・やさしさ 仲よく助け合う子
- **体**・・・たくましさ 健康でたくましい子
- **絆**・・・いとしさ 地域を大切にする子

○目指す学校像

『学ぶ楽しさ、できる喜び、互いに高め合う学校』

- | | |
|--|-----------------|
| ○基礎基本の定着による達成感や学習意欲が高まる | 「学ぶ喜びあふれる学校」 |
| ○人権尊重の精神に根ざし、児童の自己肯定感と自尊感情が高まり、自他を大切にする | 「心が響き合う学校」 |
| ○自主性を発揮し、互いに力を合わせ、児童と教職員による元気と健全な | 「活力ある学校」 |
| ○安全な施設・設備、教育環境の保持と地域や関係機関と連携した防犯・防災を徹底する | 「安心・安全な学校」 |
| ○児童と学校に関わる誰もが助け合い、高め合う | 「互いに絆で結ばれている学校」 |

○指導の重点

- ①確かな学力 ※ICT 機器を最大限に活用した授業の展開。1人1台タブレットを使用。
- ②学年・学級経営
- ③生徒指導・教育相談
- ④キャリア教育
- ⑤豊かな人間性・社会性
- ⑥体力の向上・健康教育
- ⑦特別支援教育
- ⑧教育環境
- ⑨学校・家庭・地域社会との連携・協力
- ⑩教職員の資質向上
- ⑪学校運営の円滑化・効率化・情報の共有化、報・連・相の徹底。

○本校の特色

本校は昭和51年に開校し、本年度46年目を迎えている。校歌に「さざんかの北原小学校」と歌われているように、さざんかをはじめ四季折々の花や樹木に囲まれた学校である。『保護者・地域と共に子どもの夢と自信を育む学校 ～感動いっぱい！北原小～』をキャッチフレーズとして、児童の健全な育成に地域と共に歩んでいる。

○本年度の研究

教科 「算数」
研究主題 算数科を通して社会を創る未来の創り手の育成
～学びを日常生活に生かすことができる児童を目指して～



和光市立本町小学校

校長名 北原文子
教頭名 宇田川隆行
電話 048 (466) 0855
FAX 048 (466) 0894

HP: <http://honcho.wako-city.ed.jp>
E-mail: honcho@wako-city.ed.jp
住所 和光市本町 31-17
開校記念日 11月22日
児童数 352名 教職員数 22名
学級数 13 通級指導教室 1

○学校教育目標

・よく考え学ぶ子（知育） ・仲よく助け合う子（徳育） ・明るく健康な子（体育）

○目指す学校像

「児童が元気で楽しく活動し、失敗を恐れず挑戦できる、地域とともにある学校」

学校像

- ・全ての児童が認められ、生き生きと楽しく活動する学校
- ・優しく思いやりの心が満ちあふれた学校
- ・きれいで明るく、季節に応じた潤いのある学校
- ・教師が使命感に燃え、切磋琢磨して協働・補完できる学校
- ・地域に開かれた、地域から信頼される学校

児童像

- ・自ら考え、進んで活動し、豊かな学びを深める子
- ・思いやりの心を持ち、互いの良さを認め合える子
- ・明るく健康で、何事にもあきらめずにこつこつと努力を続ける子
- ・地域の人々、伝統、文化を大切にする子

教師像

- ・授業改善に努め、児童の良さを引き出し、可能性を伸ばす教師
- ・温かさと厳しさを持ち合わせ、児童への愛情を表現できる人間性豊かな教師
- ・保護者や地域とのかかわりを大切にし、共に学ぶ教師

○指導の重点

- (1) 個に応じたきめ細かな指導により、授業の質の向上を図る。
- (2) 児童一人ひとりを大切にし、お互いの良さを認め合える学年・学級経営を行う。
- (3) 全教育活動を通して、豊かな心を育む教育の推進を図る。
- (4) 共通理解、共通実践に基づく、積極的な生徒指導を推進する。
- (5) 体力の向上と健康教育の充実に努める。
- (6) 特別支援教育の充実に努める。
- (7) よりよい教育環境の整備と活用に努める。
- (8) 保護者や地域との連携を深め、信頼される学校づくりを推進する。
- (9) 安心・安全な学校づくりに努める。

○本校の特色

昭和58年4月1日、第三小学校より分離し、市内8番目の小学校として開設された、創立39年目の学校である。校地は、高層住宅群の傍らにあり、静かな教育環境である。保護者の海外勤務の関係により、帰国子女が多いという実態から、文部省（当時）より昭和62年度より4回、帰国子女教育研究協力校の指定を受け、研究を推進してきた。

平成19年度には、校内に、和光市教育支援センターが開設され、通級指導教室も設置された。各小・中学校との連携を図り、教育相談や特別支援教育の充実に努めている。

これまで、保護者の会である「どんぐりの会」や「おやじの会」、地域の方々による「学校応援団」との連携を図ってきているが、平成30年度からコミュニティ・スクールの指定を受け、「本町小学校区地区社会福祉協議会」と連携を深めながら、開かれた学校づくりを推進してきている。

平成30年度には、難聴特別支援学級「つばさ学級」が新設され、聴覚障害の児童のための指導を行っている。

○本年度の研究

研究教科 「図画工作科」

研究主題 「互いに学び認め合い、創り出す喜びを感じられる児童の育成」

～自己有用感を高めるための図画工作科における指導方法の工夫改善を目指して～



和光市立下新倉小学校

校長名 藤原 啓

教頭名 高橋 郁美

住 所 和光市下新倉5丁目21番1号

電 話 048 (464) 0500

児童数 553名 教職員数 31名

F A X 048 (464) 1313

学級数 21 内特別支援学級数 4

開校記念日 4月26日

H P : <http://shimoniikura.wako-city.ed.jp/>

E-mail : shimoniikura@wako-city.ed.jp

1 学校教育目標 かしこく やさしく たくましく

2 目指す学校像 わくわく にこにこ きらきら ほかほか～地域と共に、未来をたくましく生きる力をはぐくむ学校～

児童像

- ・進んで学び、考えを深める子
- ・仲よく助け合い、認め合う子
- ・ねばり強く、最後までがんばる子

学校像

- ・教育環境が整い、安全安心できれいな学校
- ・児童が生き生きと活動し、笑顔と活気があふれる学校
- ・教師が誇りと使命感を持って働く学校
- ・保護者や地域から信頼され、ともに歩む学校
- ・学校全体からあたたかさが感じられる、気持ちの良い学校

教師像

- ・研究と修養に励み、児童のよさや可能性を伸ばす教師
- ・児童に愛情を注ぐ、人間性豊かな教師
- ・互いに切磋琢磨し、組織の一員として協働する教師
- ・児童や保護者、地域の期待に応える教師



3 学校経営方針

- (1) 確かな学力の育成を図る学習指導の充実
- (2) 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実
- (3) 教職員の資質能力の向上と教職員組織の活性化
- (4) 教育環境の整備と効果的な活用
- (5) 学校・家庭・地域と一体となった教育の推進

4 重点目標

- (1) 児童が主体的に学ぶ授業作りを進め、学習内容の確実な定着を図る。
- (2) 児童理解を深め、一人一人のよさや可能性の伸長を図る。
- (3) 道徳教育の充実を図り、豊かな人間性や規範意識をはぐくむ。
- (4) 体力の向上と健康教育の推進を図る。
- (5) 一人一人の教育的ニーズに適切に対応する特別支援教育の充実を図る。
- (6) 学年・学級経営や生徒指導の充実を図り、信頼関係や好ましい人間関係をはぐくむ。
- (7) 教職員の授業力や資質向上のための研修の充実を図る。
- (8) 安全教育と安全管理の徹底を図り、安全安心な教育環境を整える。
- (9) 情報化・国際化等、社会の変化に対応した教育の充実を図る。
- (10) 家庭や地域の教育力を効果的に生かし、教育活動の質の向上を図る。

5 本校の特色

図書館分館や児童館、保育クラブを併設した市内初の複合型公共施設として、平成28年4月1日、市内9番目の小学校として開校した。

日本の伝統的な切妻風の屋根、埼玉県産の木材をふんだんに使用した3階まで吹き抜けの森のホール、明るく木のぬくもりのあるオープンルーム、市民の利用にも配慮した最新の特別教室、ミニバスコート2面が使用できるアリーナ、天窓から光が差し込む室内プールなどを備え、楽しさや夢のある学校、安全で安心、やさしく快適な学校、地域の生涯学習やまちづくりの拠点にもなる学校をめざしている。

地域は学校教育にたいへん協力的で、PTAや学校応援団、地域の関係機関等と緊密な連携を図り、最新の施設を生かした教育活動を進め、子どもたちの夢と希望をはぐくむ学校づくりに取り組んでいる。

6 本年度の研究

研究教科 学習指導（国語）

研究主題 基礎基本を身に付け、豊かに表現できる児童の育成～読書や書く活動を通して、表現力を高める指導法の工夫～



和光市立大和中学校

校長名 金子 文春

教頭名 渡邊 肇

電話 048(461)2143 F A X 048(461)2237

HP: <http://web.wako-city.ed.jp/~yamato/>

E-mail : yamato@wako-city.ed.jp

住所 〒351-0112 和光市丸山台2-8-8 開校記念日 5月29日

生徒数 778名 教職員数 47名 通常学級数 22 特別支援学級数 2

1 学校教育目標

意志と努力で輝く大和中生

- (1) 元気なあいさつ きれいな学校
- (2) 見通しある学習 打ち込む活動
- (3) みんなで協力 思いやる心

2 学校教育目標の具現化に向けて

(1) 目指す学校像「こんな学校を共に目指しましょう！」

- ① 生徒一人ひとりを大切にした教育を実践する学校
- ② 生徒・教師が生き生きと活動し、活気のある学校
- ③ 保護者・地域から信頼され、共に歩む学校
- ④ 安全で落ち着きのあるきれいな学校

(2) 目指す生徒像「こんな生徒を共に育てましょう！」

- ① 礼儀正しく、あいさつができる生徒
- ② 自ら学ぶ意欲をもち、自己実現に向け努力する生徒
- ③ 自他の違いを認め、共に助け合い、高め合う生徒
- ④ 健康でたくましく、最後までやり抜く生徒

(3) 目指す教師像「こんな教師で共にあり続けましょう！」

- ① 生徒の学ぼうとする意欲を高める教師
- ② 生徒のよさを引き出し、自己実現を支援する教師
- ③ 自ら学び続け、常に自己研鑽に努める教師
- ④ 優しさや厳しさをもち、生徒、保護者から信頼される教師

3 学校経営の基本方針 7つの柱

(1) すべての生徒に基礎基本と活用力を身につけさせ、学ぶ意欲を持たせる。

「確かな学力の育成」

(2) 心身共に健康で、自己実現を図るため意志を持って努力する生徒を育成する。

「幅広く自己有用感をもった生徒の育成」

(3) 規律ある生活習慣を身に付け、相手を思いやる豊かな心を持った生徒を育成する。

「規範意識の確立と豊かな心の育成」

(4) 生徒が安全にそして安心して学べる学校づくり推進する。

「安心、安全な学校づくり」

(5) 効果的、積極的な教育相談により、生徒理解に基づいた教育活動を推進する。

「深い生徒理解に基づいた教育活動の充実」

(6) 教育のプロとしての自覚をもち、共に学び高め合う組織を構築する。

「教職員の指導力向上」

(7) 家庭・地域との積極的な連携により、保護者・地域と共に学校づくりを推進する。

「学校運営協議会を基盤とする共有活動の推進」

4 指導の重点

(1) 確かな学力の育成

(5) 深い生徒理解に基づいた教育活動の充実

(2) 幅広く自己有用感を持った生徒の育成

(6) 教職員の指導力向上

(3) 規範意識の確立と豊かな心の育成

(7) 学校運営協議会を基盤とする共有活動の推進

(4) 安心、安全な学校づくり

5 本校の特色

本校は75年の歴史を持つ学校である。和光市で活躍されている方の中には本校の卒業生が多く地域とともに歩んできた伝統のある学校である。生徒は明るく、よく挨拶ができる。また、学級活動・学校行事・生徒会活動・美化活動・部活動など積極的に取り組んでいる。教職員のまとまりもよく、学校運営協議会、PTA・おやじの会・学校応援団など、学校・保護者・地域との連携が図られ、大変協力的である。

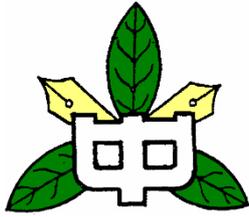
6 本年度の研究

研究主題 「自ら進んで課題解決を図る生徒の育成」

— 教師1人1人の指導スキルの向上を通して — (2年目)



和光市立第二中学校



校長 橋本 真 電話 048(462)1793
教頭 政所 宏真 FAX 048(462)1890
HP:2chu.wako-city.ed.jp/ E-mail:2chu@wako-city.ed.jp
住所 〒351-0106 和光市広沢1-4
開校記念日 9月28日

生徒数 490名 教職員数 33名 学級数 12 特別支援学級数 6

校訓 「正しく」 「強く」 「美しく」

学校教育目標

- 物事を正しく判断し、進んで学習する生徒
- 粘り強い気力を持ち、体力の向上に取り組む生徒
- 奉仕の心と感謝の気持ちを持ち、礼儀正しく思いやりのある生徒

目指す学校像 「生徒一人一人の夢や希望をはぐくみ、生徒・護者・地域・教職員の誇りとなる学校」

- 明るく元気なあいさつと歌声が響き、生徒が自主的・実践的に活動する学校
- 保護者や地域社会との連携を深め、地域とともにある信頼される開かれた学校
- 教職員が一枚岩となって生徒第一に教育活動を進める学校
- きれいで教育環境が整い、誰もが安心・安全に生活できる学校

目指す生徒像 ～当たり前前の方が当たり前前のできる生徒～

- 進んで学習する生徒
- 体力の向上に取り組む生徒
- 礼儀正しく思いやりのある生徒

目指す教師像 ～当たり前前の方が当たり前前のできる教師 教師が手本を示す～

- 教育に対する情熱と使命感のある教師
- 専門職としての誇りをもち、授業で勝負する教師
- 生徒理解を基盤とし、生徒に愛情を注ぎ、生徒に関わる教師
- 生徒や保護者、地域の期待に応える教師

学校経営の重点

- 学習指導の充実
- 進路指導・キャリアの充実
- 健康の増進と体育的活動の充実
- 環境の整備・美化・安全管理の徹底
- 生徒指導・教育相談の充実
- 道徳教育・人権教育の充実
- 特別支援教育の推進
- 開かれた学校づくりの推進

特色ある学校づくり

- 生徒が意欲を持ち、自主的・主体的に活動できる学校づくり
- 生き方や生命の大切さを学ぶ学校づくり
- 豊かな心をはぐくみ、ボランティア活動、福祉体験をととした学校づくり
- 環境教育の推進ときれいな学校づくり

本年度の研究

- 研究主題『 主体的に学びに向かう生徒の育成 』
～カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価～

和光市立第三中学校



校長名 石川 毅

教頭名 近藤 克代

電話 048(461) 3306

F A X 048(461) 3222

H P <http://3chu.wako-city.ed.jp/>

E-mail 3chu@wako-city.ed.jp

住所 和光市南2-2-1

開校記念日 5月27日

生徒数 501名

教職員数 37名

学級数 15

(1) 目指す学校像

目標を実現させる力を育てる学校・自他の生命を大切にできる学校・学ぶ喜びを実感できる学校

(2) 学校教育目標

自主 自律 未来をひらく三中生

～自ら考え、自らの意思で、未来をたくましく生き抜く生徒～

- 目標に向かって最後まで努力できる生徒
- 自他の生命を大切にできる生徒
- 夢と理想の実現に力を尽くせる生徒

(3) 重点目標

- ① 新教育課程完全実施を踏まえ、全教育活動を通じた計画的、継続的な学力の向上
- ② たくましく生きる健康や体力づくりの推進
- ③ 全教育活動を通じた道徳教育の充実
- ④ 人権感覚を醸成し学級力を高める学級会活動の推進
- ⑤ 生徒一人一人を大切にしたい生徒指導・教育相談活動の充実
- ⑥ 地域に根ざした特色ある開かれた学校づくりの推進

(4) 本校の特色

本校は、昭和51年に開校し、今年で46年目を迎えた。緑が豊かで、小鳥の飛び交う環境のよい学校である。落ち着いた環境の中で過ごす生徒は、明るく元気で、勉強やスポーツ、様々な行事に意欲的に取り組んでいる。コミュニティ・スクールの指定を受け、保護者・地域・教職員が一丸となって、地域に開かれた地域の核となる学校づくりに取り組んでいる。

(5) 本年度の研究

【研究主題】 確かな学力と自立する力の育成

～気付き、考え、創造する生徒を育成する指導と評価の在り方～

- 【目指す生徒像】
- わからない問題に対して粘り強く問題に取り組むことのできる生徒
 - 与えられた課題だけでなく、自ら課題を見つけ、取り組むことのできる生徒
 - 見通しをもって、生活・学習することのできる生徒

和光市教育支援センター

【所在地】 和光市本町31-17 和光市立本町小学校内 2階
 【電話】 スタッフルーム専用 048-466-8349 (ヤサシク) (FAXも同様)
 電話相談専用 048-466-8341 (ヤサシイ)

【スタッフ】 *センター長 隅田浩文 (校長経験)
 *教育相談専門員 (副センター長) 高木和広 (公認心理師) (臨床心理士)
 *教育相談専門員 近藤弘果 (公認心理師) (臨床心理士)
 *教育相談担当専門委員 (適応指導教室担当) 村山敦子 (校長経験)
 渡辺光 (教諭経験)
 内田友子 (教頭経験)
 *スクールソーシャルワーカー 内田友子 (教頭経験)
 *センター担当指導主事 深井祐樹 (学校教育課副主幹兼指導主事)
 *顧問 呂曉彤 (帝京科学大学教育人間科学部幼児保育学科教育
 学博士 (発達障害)、認定心理士)
 *非常勤嘱託医 海老島宏 (埼玉県立精神医療センター 医師)

平成19年4月より和光市立本町小学校内に、和光市教育支援センターが開設された。教育支援センターでは、専門のカウンセラーや教育心理、発達障害専門の相談員がさまざまな相談に応じている。

また、市内小・中学校に和光市さわやか相談員や小・中学校教育相談員等を派遣して、担任の先生方との連携・分担をしながら、児童生徒の相談支援をしている。

【教育支援センターの主な役割】

- * 教育・就学・発達に関する悩みや心配事の相談に応じる。
- * 不登校児童生徒の学校復帰を支援する。
- * 相談員を派遣し、小・中学校の相談活動を支援する。
- * 障害のある児童生徒一人ひとりに応じた支援をする。
- * 学校教職員の資質・能力の向上を図る研修を支援する。

【相談対象】 和光市内の児童生徒及び保護者と教員
 【相談日】 毎週月曜日～土曜日 (日曜日・祝日・年末年始を除く)
 【相談時間】 午前9時30分～午後4時30分 (※土曜日は正午まで)
 【申込方法】 電話または直接訪問
 【相談方法】 * 面接相談：内容によって専門のカウンセラーや教育心理、発達障害の専門の相談員が対応
 * 電話相談：教育支援センターに来所できない方のための電話による相談

【あすなる教室 (適応指導教室)】

学校へ行こうとする意思がありながら、何らかの理由により登校できない児童生徒に対して、よりよい自立を促し、学校への復帰を目指した適応指導教室を開設している。

適応指導教室では、自主的な学習や体験活動、軽スポーツ、栽培活動、表現活動等のグループ活動を行い、自立心を高め、集団生活への適応力を養っている。

【開室日】 月曜日～金曜日
 【時間】 午前9時30分～午後3時00分
 【内容】 個別学習、体験的な活動、個人面談
 【1日の生活 (例)】

《予約教育相談の実施》

毎学期1～2回、嘱託専門医による予約教育相談を実施している。相談は保護者・児童生徒・教職員・教育相談員等が対象である。

区分	時間帯	内容	
1	9:30～9:40	朝の会	
2	9:40～10:20	学習1	各自の教科学習支援
3	10:25～11:05	学習2	グループ学習
4	11:10～11:50	学習3	各自の教科学習支援
5	11:50～12:00	清掃	
6	12:00～13:00	昼食等	
7	13:00～14:30	学習4	グループ学習 (体験学習)
8	14:40～14:50	帰りの会	
9	15:00	下校	



和光市内県立高等学校・特別支援学校

学校名	和光高等学校	住 所	和光市新倉3-22-1
校 長	原 浩明	開校記念日	5月26日
教 頭	白石 佐利	生徒数	451名
電 話	(463)1207	学級数	16
F A X	(460)1015	職員数	53名

学校名	和光国際高等学校	住 所	和光市広沢4-1
校 長	鈴木 啓修	開校記念日	6月3日
教 頭	藤原 暢央・安食 邦明	生徒数	950名
電 話	(467)1311	学級数	24
F A X	(460)1018	職員数	66名

学校名	和光特別支援学校	住 所	和光市広沢4-3
校 長	伊藤 泰二	開校記念日	9月16日
教 頭	川合 章浩・吉岡 玲司	生徒数	143名
電 話	(465)9770	学級数	56
F A X	(460)1017	職員数	143名

学校名	和光南特別支援学校	住 所	和光市広沢4-5
校 長	砒 秀年	開校記念日	9月16日
教 頭	永山 千洋・関口 強	生徒数	278名
電 話	(465)9780	学級数	62
F A X	(460)1016	職員数	144名

2. 小中学校一覽

(1) 面積

令和3年5月1日現在
(単位㎡)

区分	学校名	所在地	校地面積	校舎	体育館	創立年月日
小学校	白子小学校	和光市白子3-2-10	11,880	5,994	922	明治7年8月15日
	新倉小学校	和光市新倉2-2-39	11,138	6,163	703	明治7年8月15日
	第三小学校	和光市中央1-1-4	14,072	4,418	752	昭和35年4月1日
	第四小学校	和光市諏訪3-20	19,331	3,996	940	昭和40年4月1日
	第五小学校	和光市南1-5-10	13,240	4,517	838	昭和45年4月1日
	広沢小学校	和光市広沢1-5	17,639	5,801	905	昭和50年4月1日
	北原小学校	和光市新倉1-5-27	16,449	4,907	922	昭和51年4月1日
	本町小学校	和光市本町31-17	12,489	5,125	784	昭和58年4月1日
	下新倉小学校	和光市下新倉5-21-1	13,155	6,377	928	平成28年4月1日
中学校	大和中学校	和光市丸山台2-8-8	20,176	8,674	1,224	昭和22年4月1日
	第二中学校	和光市広沢1-4	19,032	6,734	1,242	昭和42年4月1日
	第三中学校	和光市南2-2-1	23,963	5,945	1,171	昭和51年4月1日

(2) 児童生徒数・学級数

令和3年5月1日現在

学校名	児童生徒数 (人)							学級数 (学級)							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
白子小	91	89	96	95	83	96	550	3	3	3	3	3	3	2	20
新倉小	95	82	74	116	95	96	558	3	3	3	4	3	3	2	21
第三小	67	99	59	66	54	78	423	2	3	2	2	2	2	1	14
第四小	71	74	78	67	72	75	437	2	3	3	2	2	2	2	16
第五小	116	119	101	127	115	111	689	4	4	3	4	3	3		21
広沢小	78	76	85	67	76	71	453	3	3	3	2	2	2	3	18
北原小	83	83	85	82	72	67	472	3	3	3	3	2	2	1	17
本町小	69	63	61	57	51	51	352	2	2	2	2	2	2	1	13
下新倉小	86	104	85	91	105	82	553	3	3	3	3	3	2	4	21
小計	756	789	724	768	723	727	4487	25	27	25	25	22	21	16	161
大和中	242	290	246				778	7	8	7					24
第二中	163	159	168				490	4	4	4					18
第三中	163	176	162				501	5	5	5					15
小計	568	625	576				1769	16	17	16					57
合計							6256							8	218

(3) 児童・生徒の体位

区 分		身 長 (cm)			体 重 (kg)		
		市 平 均	県 平 均	全 国 平 均	市 平 均	県 平 均	全 国 平 均
小 1	男	118.1	116.9	116.8	21.9	21.6	21.8
	女	117.6	115.6	115.7	21.6	20.8	21.3
小 2	男	124.3	122.6	122.4	25.2	24.2	24.5
	女	123.1	121.4	121.9	24.3	23.5	24.0
小 3	男	129.5	128.4	128.7	27.9	27.2	28.2
	女	129.5	127.3	127.6	27.9	26.5	27.2
小 4	男	135.2	133.2	133.7	32.4	30.7	31.4
	女	135.7	133.7	133.4	31.3	30.4	30.7
小 5	男	140.6	139.5	139.1	36.0	34.8	35.1
	女	142.4	140.7	140.5	35.9	34.4	34.5
小 6	男	147.4	144.8	145.5	40.6	38.2	40.4
	女	148.3	146.7	147.2	40.4	39.0	40.3
中 1	男	155.2	152.5	153.6	46.3	43.7	45.6
	女	153.3	151.9	151.5	44.4	44.3	44.5
中 2	男	161.0	159.5	160.5	50.7	48.6	50.3
	女	156.3	154.9	154.8	49.4	47.0	49.0
中 3	男	166.5	165.2	164.8	55.8	53.8	53.7
	女	157.5	156.6	156.2	50.4	50.2	50.0

※座高は平成28年度より健康診断の項目から外れました。

(4) 令和2年度児童生徒の疾病状況

① 結核検診

区分	精密検査者数 (人)	精密検査結果 (人)		
		要医療	要化学療法	異常なし
小学校	8	0	0	8
中学校	5	0	0	5
合計	13	0	0	13

② 心臓検診 (小学校1年生、中学校1年生及び経過観察者)

区分	一次検査結果 (人)			
	実施者	異常なし	管腫・経膜炎・管硬	二次検査者
小学校	815	778	23	14
中学校	633	598	12	23
合計	1448	1376	35	37

③ 脊柱側弯症検診 (小学校6年生、中学校2年生及び経過観察者)

区分	一次検査結果 (人)		
	実施者	異常なし	側弯疑
小学校	634	615	19
中学校	561	551	10
合計	1195	1166	29

④ 尿検査 (全校児童・生徒)

区分	一次検査結果 (人)		二次検査結果 (人)		
	実施者	一次陽性者	糖	蛋白	潜血
小学校	4425	33	0	5	8
中学校	1727	58	0	10	1
合計	6152	91	0	15	9

(5) 令和元年度新体力テスト（県・市平均値）【※令和2年度は未実施】（男子）

項目		学校種別		小学校						中学校		
		学年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
握力 (kg)	市平均			8.54	10.46	12.49	14.06	15.73	18.63	22.76	29.23	35.32
	県平均			9.26	10.92	12.68	14.48	16.54	19.32	23.60	29.35	34.47
	比較			×	×	—	×	×	×	×	—	—
上体起こし (回)	市平均			13.02	15.29	17.92	19.67	21.70	23.86	26.16	30.10	32.16
	県平均			12.67	15.99	18.26	20.26	22.03	23.84	25.95	29.87	32.53
	比較			—	×	—	—	—	—	—	—	—
長座体前屈 (cm)	市平均			25.85	26.94	29.92	31.10	32.02	34.88	42.52	45.61	54.27
	県平均			27.18	29.08	31.29	33.06	35.37	37.84	42.41	47.82	51.71
	比較			×	×	×	×	×	×	—	×	○
反復横とび (点)	市平均			28.98	32.88	36.43	41.07	43.35	48.61	48.74	52.03	55.39
	県平均			28.68	32.77	36.70	41.00	44.64	47.66	49.33	53.32	56.03
	比較			—	—	—	—	×	○	—	×	—
持久走 (秒)	市平均									421.93	386.76	368.34
	県平均									415.06	380.98	366.11
	比較									×	—	—
20mシャトルラン (回)	市平均			19.23	32.05	40.84	48.06	54.18	66.39			
	県平均			22.69	32.86	41.59	49.50	56.06	63.76	72.75	86.35	90.64
	比較			×	—	—	—	—	○			
50m走 (秒)	市平均			11.57	10.69	10.05	9.64	9.20	8.77	8.45	7.86	7.37
	県平均			11.47	10.64	10.10	9.68	9.31	8.89	8.53	7.92	7.51
	比較			—	—	—	—	○	○	—	—	○
立ち幅とび (cm)	市平均			113.48	126.34	136.37	145.90	154.89	165.47	185.09	200.69	218.41
	県平均			116.67	128.37	138.70	147.96	156.57	167.16	181.94	200.67	214.90
	比較			×	×	×	×	—	—	○	—	○
ボール投げ (m)	市平均			7.68	10.98	15.27	18.17	21.22	25.56	17.97	20.57	24.37
	県平均			8.18	11.11	14.33	17.62	20.79	24.20	17.80	21.07	24.02
	比較			×	—	○	—	—	○	—	—	—

○：県平均値を上回っているもの ×：県平均値を下回っているもの —：県平均値と有意差がないもの（統計学的検定による）

(女子)

学校種別 項目		小学校						中学校		
		学年		1	2	3	4	5	6	1
握力 (kg)	市平均	8.16	10.43	11.88	13.54	15.84	19.07	22.49	25.12	26.89
	県平均	8.80	10.42	12.08	13.97	16.38	19.36	22.04	24.90	26.40
	比較	×	—	—	×	×	—	—	—	—
上体起こし (回)	市平均	12.58	14.76	17.21	18.58	20.41	22.51	22.63	27.39	29.06
	県平均	12.19	15.41	17.69	19.63	21.48	22.79	23.89	27.22	28.81
	比較	—	×	—	×	×	—	×	—	—
長座体前屈 (cm)	市平均	28.37	29.22	32.95	34.54	37.66	41.28	46.26	48.05	53.36
	県平均	29.62	32.11	34.76	37.20	40.13	43.58	46.60	50.61	53.14
	比較	×	×	×	×	×	×	—	×	—
反復横とび (点)	市平均	26.82	30.68	33.79	38.25	42.20	45.49	44.94	48.12	49.02
	県平均	27.35	31.23	34.94	39.26	43.01	45.70	46.50	48.97	49.47
	比較	×	—	×	×	×	—	×	×	—
持久走 (秒)	市平均							301.69	283.91	281.16
	県平均							289.55	277.18	277.63
	比較							×	×	—
20mシャトルラン (回)	市平均	15.95	23.59	30.50	37.06	44.59	52.28			
	県平均	19.39	26.18	32.88	40.25	47.64	53.43	58.58	65.45	64.09
	比較	×	×	×	×	×	—			
50m走 (秒)	市平均	11.98	11.06	10.41	9.97	9.47	9.01	8.93	8.57	8.46
	県平均	11.79	10.97	10.41	9.93	9.51	9.12	8.94	8.62	8.53
	比較	×	—	—	—	—	○	—	—	—
立ち幅とび (cm)	市平均	105.70	119.52	131.55	138.53	150.23	160.29	171.54	180.26	183.23
	県平均	109.52	121.28	131.75	142.19	151.90	161.07	169.25	177.45	179.85
	比較	×	×	—	×	—	—	—	—	○
ボール投げ (m)	市平均	5.33	6.93	9.27	11.06	13.18	15.78	11.98	13.68	16.09
	県平均	5.84	7.61	9.54	11.65	13.74	15.79	12.10	13.92	15.02
	比較	×	×	—	×	×	—	—	—	○

○: 県平均値を上回っているもの ×: 県平均値を下回っているもの —: 県平均値と有意差がないもの(統計学的検定による)

(6) 学校給食

年度	学校給食の変遷	給食費(月額)の変遷	
		小学校	中学校
昭和36	白子小、新倉小、第三小、12月から完全給食開始	400円	
37	給食費改定	500円	
38	大和中、9月からミルク給食開始	〃	ミルクのみ 100円
39	大和中、完全給食開始 給食費改定	600円	600円
40	第四小、9月から完全給食開始 給食費改定(中学校のみ)	〃	750円
41	4月 脱脂粉乳から牛乳に切り替わる 給食費改定	700円	850円
42	第二中、完全給食開始(大和中で共同調理をし配送) 給食費改定	850円	1,000円
45	第五小、完全給食開始 第二中自校完全給食開始 給食費改定	1,000円	1,200円
47	給食費改定	1,300円	1,500円
49	給食費改定	1,700円	2,000円
50	広沢小、完全給食開始 給食費改定	2,100円	2,500円
51	北原小、第三中、完全給食開始 α化米による米飯給食開始	〃	〃
52	給食費改定	2,600円	3,100円
55	第三小、北原小、6月から学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
57	給食費改定	3,000円	3,600円
58	本町小、完全給食開始 広沢小、本町小、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
62	第三中、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
平成2	市内全校に地場産野菜導入 ジャがいも、人参、玉ねぎ	〃	〃
4	給食費改定	3,400円	4,000円
5	9月から先割スプーンにかえてフォークスプーンを導入 はしは個人持ち	〃	〃
6	北原小、第三中3学期よりEM菌による残菜処理実施	〃	〃
8	新倉小、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
10	12月からはしを全校に導入 給食費改定	3,800円	4,400円
11	第五小、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
12	第三小給食室ドライシステム施設に改築 広沢小・第二中生ゴミ処理機による残菜処理開始	〃	〃
14	第四小、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
15	広沢小給食室ドライシステム施設に改修	〃	〃
16	第五小給食室ドライシステムに改修 白子小、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
18	大和中、学校給食協会による調理業務開始 新倉小給食室改築工事着工	〃	〃
19	第二中、学校給食協会による調理業務開始 9月から強化磁器食器導入(第四小・第三中)	〃	〃
20	新倉小学校、ドライシステム施設にて調理開始 白子小・大和中施設改築工事着工 9月から強化磁器食器導入(第三小)	〃	〃
21	白子小4月、大和中9月からドライシステム施設にて調理開始	〃	〃
23	食物アレルギー対応給食開始 給食開設50周年記念誌の発行 和光市学校給食のあゆみ展の開催	〃	〃
26	給食費改定	4,000円	4,600円
28	下新倉小開校、民間事業者による調理業務開始	〃	〃
29	第二中給食室ドライシステム施設にて調理開始	〃	〃
30	第五小4月、北原小8月からPEN食器(ポリエチレンナフタレート食器)導入	〃	〃
31	牛乳がビンから紙パックに変更、全校で紙パックリサイクル開始 広沢小8月からPEN食器(ポリエチレンナフタレート食器)導入 給食費改定(10月から施行)	4,300円	4,900円
2	本町小8月からPEN食器(ポリエチレンナフタレート食器)導入	〃	〃

(学校給食実施状況)

	給食実施形態	調理方式	児童生徒給食数 (令和3年5月1日現在)	年間給食 実施回数	給食費	
					月額	1食あたり
小学校	完全給食	単独調理	4,412人	180回	4,300円	262円
中学校	完全給食	単独調理	1,730人	180回	4,900円	299円

新しい生活様式での学校給食

新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、学校給食を提供しました。



簡易給食の実施(6月の5日間のみ)

4～5月の学校一斉休校を受けて、学校再開時にはご飯と味噌汁のみを提供し、おかず・飲み物は各自持参とする簡易給食を実施しました。



前向きでの給食喫食

給食の時間は、前を向いて黙食を徹底し、児童生徒全員で

III 生涯学習

1. 社会教育施設

(1) **和光市中央公民館** 和光市中央1-7-27 TEL (464) 1123 FAX (464) 0560

敷地面積 … 2,207.92㎡ 建物延べ面積 … 2,837.46㎡
 総工費 … 1,052,173,000 円 開設年月日 … 平成8年3月15日
 施設規模 ()内は定員数
 会議室1 (120) 講義室1 (30) 視聴覚室 (75)
 会議室2 (18) 講義室2 (30) 音楽室 (30)
 会議室3 (18) 美術工作室 (32) 和室 (30)
 調理実習室 (24) 体育室 (65) 子供室
 団体交流室 図書室 ロビー



和光市中央公民館

(2) **和光市坂下公民館** 和光市新倉3-4-18 TEL (464) 5230 FAX (461) 3429

敷地面積 … 518.37㎡ 建物延べ面積 … 813.40㎡
 総工費 … 51,000,000 円 (本館)
 84,158,000 円 (別館)
 開設年月日 … 昭和49年6月20日 (本館)
 平成13年4月1日 (別館)
 施設規模 ()内は定員数
 本館 会議室1 (20) 和室 (30)
 調理実習室 (20) 講堂 (80) 図書室
 別館 会議室2 (20) 会議室3 (24)
 視聴覚室 (48)



和光市坂下公民館

(3) **和光市南公民館** 和光市南2-3-1 TEL (463) 7621 FAX (461) 1257

敷地面積 … 4,000.04㎡ 建物延べ面積 … 1,501.16㎡
 総工費 … 315,000,000 円 開設年月日 … 昭和58年4月1日
 施設規模 ()内は定員数
 和室1 (20) 和室2 (30) 調理実習室 (30)
 視聴覚室 (36) 美術工作室 (24) 会議室 (42)
 体育室兼講堂 (250) 図書室 ロビー
 レクリエーション広場



和光市南公民館

(4) **和光市図書館** 和光市本町31-1 TEL (463) 8723 FAX (463) 8682

土地共有持分 … 941.51㎡ 建物延べ面積 … 1,694.87㎡
 購入価格 … 490,000,000円 開設年月日 … 昭和58年4月1日
 施設規模

室内	面積	室内	面積
一般書コーナー	243.00㎡	会議室	91.80㎡
ブラウジングコーナー	127.80㎡	受付カウンター	126.00㎡
参考図書コーナー	115.20㎡	書庫	71.50㎡
児童書コーナー	209.25㎡	事務室	81.00㎡
郷土行政・情報ビジネス	56.7㎡	その他	572.62㎡



和光市図書館

- (5) **和光市図書館下新倉分館** 和光市下新倉5-21-1 TEL (452) 6011 FAX (452) 6012
 (和光市立下新倉小学校・下新倉児童館・下新倉保育クラブと併設)
 図書館下新倉分館専用面 … 581.35㎡
 開設年月日 平成28年11月3日

名称	面積	名称	面積
一般開架 (雑誌ブラウジングコーナー等含む)	450.15㎡	児童開架 (キッズコーナー含む)	83.8㎡
書庫	17.4㎡	事務室	30㎡



和光市図書館下新倉分館

2. 文化財

旧富岡家住宅(新倉ふるさと民家園)
 和光市下新倉2-33-1 TEL (467) 7575 FAX (467) 7575
 <市指定文化財> 平成15年11月3日 指定
 施設面積 … 2,000㎡ 建物延べ面積 … 151.98㎡
 構造形式 … 茅葺寄棟造



旧富岡家住宅

3. その他の施設

和光市文化財保存庫
 和光市諏訪3-20 TEL (424) 9119 FAX (464) 7901
 敷地面積 … 600.7698㎡ 建物延べ面積 … 295.33㎡
 総工費 … 47,300,000 円 開設年月日 … 昭和59年11月

収納物	田舟	千歯こき	唐蓑	古文書
	行燈	板碑	等1,500点	
	他 市内遺跡出土品			



和光市文化財保存庫

4. 令和2年度生涯学習事業報告

事業対象・事業名	回数	延べ参加人数	開催時期	学 習 内 容
生涯学習メールマガジン「なびいネット」	12	120	4月～3月	市の様々な生涯学習情報をメールで配信し、講座・イベント等への参加を促進した。
わこう市政学習おとどけ講座	8	171	4月～3月	市民の生涯学習意欲にこたえ、市政への理解を深めてもらうために、市職員等が講師として出向き、講座を実施した。
生涯学習だより「なびい」の発行	2	—	4月・10月	地域の特色を生かした独自性のある講座等のさまざまな学習機会を提供するために、広報紙の特集として掲載した。
生涯学習指導者紹介事業	—	64	4月～3月	豊かな経験や知識技能を有する市民を生涯学習指導者として登録し、学習ニーズに応じた情報提供活動を行うことにより、生涯学習の更なる推進を図った。
生涯学習指導者プロデュース講座	—	—	3月10日	生涯学習指導者紹介事業の活性化を図るため、指導者が自ら講座を企画し、開催できるよう指導機会の提供。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
放課後子ども教室	79	1,167	10月～3月	放課後に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、子どもたちに勉強・スポーツ・文化芸術活動・工作教室・英語教室など地域住民との交流活動等の機会を提供した。
わこうっこクラブ	1,073	9,437	4月～3月	放課後に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を提供した。
学校開放講座	1	16	1月20日	学校が有する教育機能を地域に開放し、学校と地域の連携を深め、地域から信頼される学校づくりを推進するため小学生とその保護者を対象に天体観望会を実施した。
子ども大学わこう	2	22	10月17日 11月1日	市内にある病院・研究機関・大学等で、専門家が「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」の講義や体験を提供する予定であったが、国の機関の講座は中止とし、内容を縮小し「ふるさと学」「生き方学」の2分野で実施した。
和光市民大学	3	60	11月～12月	市内にある研究機関などから講師を招き、司法・税・保健・科学・医学などをテーマに講座を開講する予定であったが、国の機関の講座は中止とし、県・市の出前講座を活用し実施した。
和光市民まつり 舞台発表・美術作品展・将棋大会	—	—	11月7日～15日	文化の振興と日ごろの活動の成果として、市民まつり開催期間にサンアゼリアにて発表を行う。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
和光市菊花展	—	—	11月7日～15日	和光市菊花会の会員が育てあげた菊の展示を行い情操教育を促進する。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
理化学研究所子ども科学教室	—	—	12月20日	理化学研究所が保有する最先端の科学技術や施設に触れる機会を提供し、科学に対する興味や関心を深める。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
人権講演会	—	—	2月2日	人権教育の推進を図るため、広く人権問題に対する理解と認識を深めるため、講演会を開催。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
成人式	1	438	1月10日	新成人で構成する成人式実行委員会の企画・運営による式典を開催した。
旧富岡家住宅の公開・活用	—	5,790	4月～3月	和光市指定文化財「旧富岡家住宅」の公開・活用した。
文化財調査	—	—	4月～3月	市内埋蔵文化財の確認調査・発掘調査の実施。発掘調査報告書を発行した。
デジタルミュージアム	—	22,002	4月～3月	インターネット上での和光市の歴史文化財を公開した。
午王山遺跡史跡整備	—	—	4月～3月	午王山遺跡は令和2年3月に国史跡の指定を受け、令和3年3月26日に追加指定を受けている。国指定史跡として保存・活用を図ることを目的に、令和2年度から3年度にかけて午王山遺跡保存活用計画を策定するため、午王山遺跡保存活用計画策定委員会を設置して初年度の検討を開始した。
和光市史編さん事業	—	—	4月～3月	和光市史編さん委員会を3回開催し、和光市史平成版の基本的項目を決定した。

5. 令和3年度生涯学習事業計画

事業対象・事業名	開催時期	学 習 内 容
生涯学習メールマガジン「なびいネット」	4月～3月	市の様々な生涯学習情報をメールで配信し、講座・イベント等への参加を促進する。
わこう市政学習おとどけ講座	4月～3月	市民の生涯学習意欲にこたえ、市政への理解を深めてもらうために、市職員等が講師として出向き、講座を実施する。
生涯学習だより「なびい」の発行	4月・10月	地域の特色を生かした独自性のある講座等のさまざまな学習機会を提供するために、広報紙の特集として掲載する。
生涯学習指導者紹介事業	4月～3月	豊かな経験や知識技能を有する市民を生涯学習指導者として登録し、学習ニーズに応じた情報提供活動を行うことにより、生涯学習の更なる推進を図る。
生涯学習指導者プロデュース講座	未定	生涯学習指導者紹介事業の活性化を図るため、指導者が自ら講座を企画し、開催できるよう指導機会を提供する。
イベント型体験教室（旧子ども教室）	6月～3月	月に2回程度、子どもたちに勉強・スポーツ・文化芸術活動・地域住民との交流活動等の機会を提供する。わこうっこクラブの中で事業者が実施する。
わこうっこクラブ	4月～3月	放課後に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を提供する。わこうっこクラブの認知を高め、活動の充実を図る。
学校開放講座	4月～3月	学校が有する教育機能を地域に開放し、学校と地域の連携を深め、地域から信頼される学校づくりを推進するために、小学生から市民一般を対象に、工作やスポーツなど多岐にわたる講座を実施する。
子ども大学わこう	8月	市内にある病院・研究機関・大学等で、専門家が「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」の講義や体験を提供し、子どもの知的好奇心を刺激・充足する。
和光市民大学	7月～1月	市内にある研究機関などから講師を招き、司法・税・保健・科学・医学などをテーマに講座を開講する。また、地元への愛着をさらに深めてもらえるようなテーマを特別講座として開講する。
和光市民まつり 舞台発表・美術作品展・将棋大会	11月6日～14日	文化の振興と日ごろの活動の成果として、市民まつり開催期間にサンアゼリアにて発表を行う。
菊の育て方講習会	6月～10月	和光市菊花会による菊苗配布に伴う菊の育て方講習会を実施する。
和光市菊花展	11月6日～14日	和光市菊花会の会員が育てあげた菊の展示を行い情操教育を促進する。
理化学研究所子ども科学教室	12月	理化学研究所が保有する最先端の科学技術や施設に触れる機会を提供し、科学に対する興味や関心を深める。
人権講演会	未定	人権教育の推進を図るため、広く人権問題に対する理解と認識を深めるため、講演会を開催する。
成人式	1月9日	新成人で構成する成人式実行委員会の企画・運営による式典を開催する。
旧富岡家住宅の公開・活用	4月～3月	和光市指定文化財「旧富岡家住宅」の公開・活用する。
文化財調査	4月～3月	市内埋蔵文化財の確認調査・発掘調査の実施。発掘調査報告書を発行する。
デジタルミュージアム	4月～3月	インターネット上での和光市の歴史文化財を公開する。
午王山遺跡史跡整備	4月～3月	令和2年度から引き続き、午王山遺跡保存活用計画策定委員会による検討をもとに和光市午王山遺跡保存活用計画を策定する。
和光市史編さん事業	4月～3月	和光市史編さん委員会を開催し、和光市史平成版の令和4年度末の完成に向けて内容を検討する。

6. 文化財保護

文化財は我々の祖先が営々として築いてきた文化の遺産であり、一旦破壊されればもはや再現することは不可能なものである。そして、現在の文化は、祖先の築いてきた文化遺産を基礎として成立している。従って、将来の文化の創造のためにこれを保存し、更に引き継いでいくことは、現代に生きる我々の責務であるといえる。

文化財の保護に関する法律は、文化財保護法である。

同法によれば、文化財保護の基本理念として、次のように記されている。

- ① 政府及び地方公共団体に対しては、文化財がわが国の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、且つ、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、その保存が適切に行われるように、周到の注意をもってこの法律の趣旨の徹底に務めなければならない。（同法第3条）
- ② 一般国民は、政府及び地方公共団体がこの法律の目標を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない。（同法第4条第1項）
- ③ 文化財の所有者その他の関係者は、文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに、できるだけこれを公開する等その文化的活用に務めなければならない。（同法第4条第2項）

以下、指定文化財、市史編さん刊行物、文化財関係刊行物、埋蔵文化財について紹介する。

(1) 国指定文化財

令和3年5月現在

名称	種別	所有者	所在	指定年月日
午王山遺跡	史跡	和光市	新倉3丁目2831番1外	令和2年3月10日

(2) 埼玉県指定文化財

名称	種別	所有者	所在	指定年月日
午王山遺跡出土品	考古資料	和光市	諏訪3-20	平成30年2月27日

(3) 和光市指定文化財

名称	種別	所有者	所在	指定年月日
弥生式つぼ	考古資料	和光市	諏訪3-20	昭和33年11月27日
鱧口	工芸品	東明寺	白子3-14-13	昭和34年7月13日
具足（鎧兜）	工芸品	柳下氏		昭和34年7月13日
富澤家地方文書	古文書	富澤氏		昭和34年7月13日
地方文書	古文書	和光市	諏訪3-20	昭和34年7月13日
大いちょう	天然記念物	長照寺	新倉3-3-35	昭和34年7月13日
ささら獅子舞	民俗芸能	ささら獅子舞保存会		昭和39年4月13日
太鼓	有形民俗文化財	ささら獅子舞保存会		昭和39年4月13日
五輪塔	歴史資料	壱鑑寺	下新倉4-19-45	昭和44年10月4日
吹上観音百庚申	有形民俗文化財	東明寺	白子3-14-13	昭和44年10月4日
白子囃子	民俗芸能	白子囃子保存会		昭和56年10月1日
旧富岡家住宅	建造物	和光市	下新倉2-33-1	平成15年11月3日
午王山遺跡第一次調査出土板碑群	考古資料	和光市	諏訪3-20	平成19年7月1日
漆台遺跡第1号住居跡出土須恵器円面硯及び伴出遺物	考古資料	和光市	諏訪3-20	平成23年4月28日

(1) 国指定文化財



名 称 午王山遺跡
種 別 記念物（史跡）
所有者 和光市
指定年月日
令和2年3月10日

午王山遺跡は、旧石器時代から中世までの各時代における遺構・遺物が存在する複合遺跡であるが、主に弥生時代の遺構・遺物が多数出土している。荒川右岸の独立丘に立地し、中央平坦部の居住域と、東側縁辺部に位置する墓域からなる集落遺跡である。関東では例の少ない多重環濠を持ち、また遠隔地との交流が示される土器や銅鐸型土製品、銅釧などが出土したことから、関東有数の弥生時代後期の大規模環濠集落と評価された。

(2) 埼玉県指定文化財



名 称 午王山遺跡出土品
種 別 考古資料
所有者 和光市
指定年月日
平成30年2月27日

出土した遺物は、中部高地地域や東海地域からの影響を受けており、和光市にとって貴重な考古資料となっている。住居跡と環濠から出土した弥生時代遺物において、時期区分の要素、地域間交流を示す要素、その他祭祀遺物などで、文様・器形等の特徴を示す遺物、合計121点が、埼玉県指定有形文化財に指定された。

(3) 和光市指定文化財



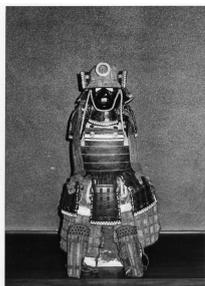
名 称 弥生式つぼ
種 別 考古資料
所有者 和光市
指定年月日
昭和33年11月27日

西暦1922年（大正11年）5月27日、現在の白子小学校より敷地整理のため畑地掘削中、地下1.2mの土中に2個並んでいるのが発見された。



名 称 鱧口
種 別 工芸品
所有者 東明寺
指定年月日
昭和34年7月13日

和光市に現存する金工芸品として最も古いもので、1571年（元龜2年）河村弥二郎より福田山東明寺へ寄進され、観音堂に長く用いられてきたもの。



名 称 具足（鎧兜）
種 別 工芸品
所有者 柳下氏
指定年月日
昭和34年7月13日

資材は、鉄、黒皮、綿布、小鉄板、鎖、座金等を使い、頬当、のど鎧、そで鎧、大腿鎧、腕当、腰当からなっている。8枚張りの鎧は、梵字が打刻され腕当に、鉄板と細目の鎖が継いだ精彩な工芸品である。室町時代末期の作といわれている。



名 称 富澤家地方文書
種 別 古文書
所有者 富澤 氏
指定年月日
昭和34年7月13日

江戸時代、白子村の名主の家に伝わる古文書。水帳、検地帳など、当時の石高の様子が分かる史料である。「永代地方目録覚」には、江戸時代の白子村が徳川家康に従って伊賀から移り住んだ伊賀衆の領地であったことが記されており、貴重な資料である。



名 称 地方文書
種 別 古文書
所有者 和光市
指定年月日
昭和34年7月13日

寛永・寛文年間の水帳・検地帳。検地帳は、村の総地籍・総石高が記されている、当時のもっとも基本的な土地台帳の一つだった。宗門人別帳は、江戸時代のキリスト教禁止と関連して、住民の宗旨を記したものである。



名 称 大いちょう
種 別 天然記念物
所有者 長照寺
指定年月日
昭和34年7月13日

長照寺の境内にある大いちょうで、幹廻り7.53m、樹高29m、樹齢推定700年という県下有数の大木である。秋の黄葉は一段と見ごえがある。令和3年3月3日付で、景観法第28条第1項の規定に基づき景観重要樹木に指定された。



名 称 ささら獅子舞
種 別 民俗芸能
所有者 ささら獅子舞保存会
指定年月日
昭和34年7月13日

江戸中期（享保年間）下新倉地区の農民の間で豊年祝い、厄除け、安全祈願など、当時の素朴な生活から生まれ、強い信仰心によって支えられて今日まで伝承されている郷土芸能である。（10月の第3日曜に下新倉氷川八幡神社にて奉納されています）



名 称 太鼓
種 別 有形民俗文化財
所有者 ささら獅子舞保存会
指定年月日
昭和39年4月13日

ささら獅子舞のおり、使用する太鼓である。太鼓の皮を張り替えたとき、1735年（享保20年）の年号を確認している。左から大獅子、中獅子、女獅子の太鼓。



名 称 五輪塔
種 別 歴史資料
所有者 壱鑑寺
指定年月日
昭和44年10月4日

江戸時代の下新倉村領主（旗本）酒井壱岐守忠重夫妻の墓で、川越仙波より移された。五輪塔の高さは3.85m、礎石1.70m下段より方形、宝珠形等の五形を積み重ね、地・水・火・風・空の五文字が、宇宙五大部を意味している。



名 称 吹上観音百庚申
種 別 有形民俗文化財
所有者 東明寺
指定年月日
昭和44年10月4日

江戸中期から、明治中期にかけての庚申塔で、地元や近郷信者より寄せられ、135基ある。立派な百庚申も同時に建立、当時の東明禅寺第16代貞州和尚の指導で集められた。当時の庚申信仰の隆盛がしのばれる。



名 称 白子囃子
種 別 民俗芸能
所有者 白子囃子保存会
指定年月日
昭和56年10月1日

天保時代の初期、健全な青年の育成のために、当時江戸一番の笛の名手三喜を師匠に迎え、弘化・安政・文久年間と隆盛し現在へと引き継がれている。

(7月26日の諏訪神社祭り、10月第1日曜日の熊野神社祭りで奉納されています)



名 称 旧富岡家住宅
種 別 建造物
所有者 和光市
指定年月日
平成15年11月3日

旧富岡家住宅は、江戸中期(17世紀後半)に建設されたと考えられ、規模も当時の民家のなかで大きい。東京外環道建設にともない解体され、新倉から下新倉2丁目へ移築復元。埼玉県下で最古の部類に入る民家といわれている。



名 称 午王山遺跡第一
調査出土板碑群
種 別 考古資料
所有者 和光市
指定年月日
平成19年7月1日

昭和54年に行われた午王山遺跡第一次調査の時に出土した板碑群。和光市において板碑が一括して出土した例は初めてであり、人為的な投棄・廃棄ではなく、出土状態から板碑の造立位置が推測できることから、中世の板碑研究における重要な考古資料である。



名 称
漆台遺跡第1号住居跡出土
須恵器円面硯及び伴出遺物
種 別 考古資料
所有者 和光市
指定年月日
平成23年4月28日

遺物は、須恵器円面硯をはじめ須恵器坏蓋・須恵器椀・須恵器壺・須恵器甕計14点(破片を含む)。平安時代の9世紀第2四半期末~9世紀第3四半期と考えられる住居跡から出土。付近の花ノ木遺跡から「花ノ木遺跡住居跡出土遺物」、須恵器を主体とする多量の土器や火熨斗、倉庫の鍵等の道具類が出土しており、それと関連して平安時代新羅郡の官人の居住を示す考古学的成果と捉えられる。

(4) 市史編さん刊行物

名 称	発行年度
和光市史 通史編上巻	昭和 61
通史編下巻	62
民俗編	57
史料編1(自然、原始、古代、中世、近世)	56
史料編2(近世)	57
史料編3(近代、現代)	59
史料編別集(地福寺日並記)	60
市史編さん資料1(文書目録1)	54
2(上新倉の民俗)	54
3(文書目録2)	55
4(下新倉の民俗)	55
5(白子の民俗)	56
6(榎堂遺跡発掘調査報告書)	57
7(白子川流域調査報告書)	62
図説 和光の歴史	55

(5) 文化財関係刊行物

名 称	発行年度
大和町のむかし	
1 城山遺跡	昭和33
2 吹上横穴墳	33
3 吹上貝塚	34
4 ささら獅子舞と囃子	37
5 石仏	43
6 白子宿上遺跡	46
和光市のむかし	
7 和光の仏像	53
8 新倉河岸地域総合調査報告書	54
9 白子ばやし調査報告書	55
10 和光の農作と農具	62
11 古民家復元考察	63
12 和光市建造物 長泉酒造・長屋門・代官屋敷調査報告書	平成15
13 和光市指定文化財 富岡家住宅復元工事報告書	19
にくらさかした 暮らしのあゆみ	昭和57
上之郷・半三池 暮らしのあゆみ	63
西本村・東本村 暮らしのあゆみ	平成5
新倉午王山遺跡発掘調査概要	昭和54
新倉午王山遺跡第2次発掘調査概要	56
文化財をたずねて	平成2
丸山台遺跡群(パンフレット・絵はがき)	4
花ごよみ(和光の植物ガイド再版)	5
和光市ふるさと・歴史散歩マップ	9
遺跡分布地図	9
和光市ふるさとガイドマップ	19
和光市埋蔵文化財調査報告書	
第1集 新倉午王山遺跡	昭和55
第2集 吹上原横穴墓群	60
第3集 市場上遺跡	平成元
第4集 吹上遺跡A地区	2
第5集 丸山台遺跡群Ⅰ	3
第6集 丸山台遺跡群Ⅱ	4
第7集 市場上遺跡(第2次)・市場峡横穴墓	4
第8集 四ツ木遺跡	4
第9集 午王山遺跡	4
第10集 柿ノ木坂遺跡	5
第11集 白子宿上遺跡	5
第12集 峯遺跡・峯前遺跡	5

第13集	午王山遺跡(第3、4次)	5
第14集	城山南遺跡(第1、2次)	6
第15集	越之上遺跡・水久保遺跡	6
第16集	市場峽・市場上遺跡(第3、4次)西越後山遺跡	7
第17集	白子宿上遺跡(第2、3次)	7
第18集	午王山遺跡(第5次)	7
第19集	四ツ木遺跡(第2次)・仏ノ木遺跡	8
第20集	市内遺跡発掘調査報告書1	9
第21集	花ノ木遺跡・城山遺跡発掘調査報告書	10
第22集	市内遺跡発掘調査報告書2	10
第23集	市内遺跡発掘調査報告書3	11
第24集	市内遺跡発掘調査報告書4	12
第25集	城山南遺跡(第3次)白子宿上遺跡(第4次)	13
第26集	四ツ木遺跡(第3次)妙典寺遺跡(第1次)	13
第27集	市内遺跡発掘調査報告書5	13
第28集	市場峽・市場上遺跡(第6、7、8次)	14
第29集	市内遺跡発掘調査報告書6	14
第30集	吹上遺跡(第3次)	15
第31集	峯遺跡(第2次)上之郷遺跡(第1次)峯前遺跡(第2次遺跡) 松山遺跡(第1次)花ノ木遺跡(第5次)午王山遺跡(第7次)	15
第32集	谷中地区遺跡群1 庚塚遺跡・妙蓮寺遺跡	15
第33集	市内遺跡発掘調査報告書7	15
第34集	四ツ木遺跡(第4次)	16
第35集	市内遺跡発掘調査報告書8	16
第36集	市内遺跡発掘調査報告書9	17
第37集	花ノ木遺跡(第7・8次)・越後山遺跡(第3次)	18
第38集	市内遺跡発掘調査報告書10	18
第39集	市内遺跡発掘調査報告書11	19
第40集	市内遺跡発掘調査報告書12	20
第41集	下里遺跡(第1次)・市場峽・市場上遺跡(第9次)	21
第42集	市内遺跡発掘調査報告書13	21
第43集	花ノ木遺跡(第10次)	22
第44集	市内遺跡発掘調査報告書14	22
第45集	谷中地区遺跡群2	23
第46集	市内遺跡発掘調査報告書15	23
第47集	市場峽・市場上遺跡(14、15、16次)	24
第48集	吹上原遺跡(2次 B区・C区)	24
第49集	市場峽・市場上遺跡(17次)	24
第50集	越後山遺跡(2次・6次)	25
第51集	市場峽・市場上遺跡(18、19次)	24
第52集	市内遺跡発掘調査報告書16	24
第53集	市場峽・市場上遺跡(第20、21、22次)	25
第54集	市場峽・市場上遺跡(第23次)	25
第55集	市内遺跡発掘調査報告書17	25
第56集	市場峽・市場上遺跡(第12次)仏ノ木遺跡(第5次) 半三池遺跡(第1次)	26
第57集	午王山遺跡(第10次)妙典寺遺跡(第5・6次)峯前遺跡(第6次)	26
第58集	市場峽・市場上遺跡(第24次)	26
第59集	吹上原遺跡(第2次A区～第6次調査)	26
第60集	白子宿上遺跡(第7・8次)城山南遺跡(第4次)越之上遺跡(第2次)	26
第61集	市内遺跡発掘調査報告書18	26
第62集	市内遺跡発掘調査報告書19	27
第63集	市内遺跡発掘調査報告書20	28
第64集	市内遺跡発掘調査報告書21	29
第65集	市内遺跡発掘調査報告書22	30
第66集	午王山遺跡総括報告書	令和元
第67集	市内遺跡発掘調査報告書23	元
第68集	市内遺跡発掘調査報告書24	2

7. 公民館

(1) 令和2年度 公民館事業報告

◎ 中央・坂下・南公民館共催事業

事業対象・事業名	回数	定員	申込人数	参加総数	実施日
1 少年・親子対象事業					
1 親子講座	1	20組40人	中止		1月～3月
2 三館共催事業	1	10組20人	中止		9月～12月
合計	2	30組60人			
2 一般対象事業					
1 人権講座					
「精神障がい」との接し方	1	15人	17	14	12月6日
3 公民館サークル体験フェスタ	1	500人	中止		1月～3月
総合計	4	30組575人	17	14	

◎ 中央公民館

事業対象・事業名	回数	定員	申込人数	参加総数	実施日
1 少年・親子対象事業					
1 自然科学体験教室					
子ども電気工作教室	1	10	7	6	3月29日
2 料理教室（食育）	3	15	中止		6月～3月
3 スポーツ教室	5	30	中止		7月～8月
4 書道・書初め教室					
冬休み書初め教室	2	20	42	38	12月28日
5 親子漢字教室	1	20	中止		7月～8月
6 子ども教養講座					
親子マジック教室	1	18	中止		3月6日
合計	13	113	49	44	
2 一般対象事業					
1 日本文化講座					
江戸学・落語	1	12	11	11	12月15日
2 漢字講座	4	20	中止		5月～11月
3 食育・食文化講座	3	15	中止		6月～3月

4 健康増進講座						
	ママのためのストレッチ&ウォーキング	2	15	中止		5月12日、21日
	ママのためのストレッチ&美ウォーク	4	10	44	25	11月6日、19日、12月2日(12月8日は中止)
	ラジオ体操教室	3	20	60	36	11月17日、25日(12月3日は中止)
5 芸術・文化講座						
	筆ペン・ペン習字講座	3	15	60	13	3月23日(3月2日、9日は中止)
6	利用団体講師講座	4	20	中止		9月～3月
7	いきいき教養講座	5	10	中止		4月～3月
8 手しごと講座						
	布花で作るコサージュ	1	10	6	5	12月17日
	水引細工	1	12	中止		1月21日
9	歴史講座	1	20	中止		6月～3月
10 地域課題講座						
	特殊詐欺から身を守る知恵と工夫	1	15	12	10	11月26日
	合計	33	194	193	100	
3 高齢者対象事業						
1 きらめき学級						
	落語で楽しいひとときを	2	25	中止		1月14日、28日
	水墨画で冬を描こう	1	12	中止		1月21日
	合計	3	37	中止		
4 国際理解事業						
1	外国文化講座	4	20	中止		6月～3月
2	国際理解講座	2	10	中止		6月～3月
	合計	6	30	中止		
5 教育と福祉の連携事業						
1	福祉と教育の連携講座	4	20	中止		6月～3月
6	公民館利用者研修会	1	20	中止		3月19日
7 学・社地域連携事業						
	スプリング・コンサート	1	200	中止		3月
8	公民館文化祭	1	2,700	中止		10月23日～10月25日
	総合計	62	3,314	242	144	

◎ 坂下公民館

事業対象・事業名		回数	定員	申込人数	参加総数	実施日
1 少年・親子対象事業						
1	子ども卓球教室 (注1)	12	15	40	35	4月19日～3月21日
2	ビームライフル体験会	1	50	中止		5月16日
3	じゃがいも掘り	1	40	中止		6月
4	坂下風手打ちうどん教室	1	30	中止		11月
5	書初め教室	2	6	13	12	12月26日
6	囲碁教室	3	10	中止		10月～3月
7	将棋教室	3	15	中止		10月～3月
8	子ども電気工作教室	1	10	8	7	11月7日
9	子ども科学工作教室	1	10	15	7	12月5日
10	親子手作り和菓子教室	2	6	中止		3月6日
11	和楽器講座	5	10	中止		7月～12月
合 計		32	202	76	61	
2 一般対象事業						
1	ケーキ作り教室	3	6	中止		2月
2	囲碁・将棋の集い (注1)	11	6	18	29	4月11日～3月13日
3 料理教室						
	クリスマス料理教室	1	6	7	6	12月13日
	バレンタイン料理教室	1	6	中止		2月7日
4	子育て学級	1	10	中止		2月24日
5	生活教養講座	3	10	9	21	10月27日、 11月11日、18日
6 手工芸教室						
	流木アート講座	1	10	8	8	10月14日
	ポーセラーツ講座	1	10	12	10	11月9日
	アーティフィシャルフラワー・アレンジメント講座	1	10	中止		2月3日
7	健康フラダンス教室	3	15	7	21	10月12日、19日、 26日
8	地域課題講座	1	10	中止		2月27日
9	地域文化教室	2	10	中止		3月12日、19日
合 計		29	109	61	95	

3 高齢者対象事業						
1	お花紙でつくる簡単ちぎり絵	1	30	25	25	6月9日
2	自宅で行うかんたん筋力トレーニング	1	30	25	25	7月14日
3	感染症に負けないからだづくり	1	30	22	21	9月8日
4	特殊詐欺に要注意	1	30	21	14	10月13日
5	心と体をほぐすゆる体操	1	30	21	19	11月10日
6	クリスマスコンサート	1	30	21	17	12月8日
7	大人の水彩画教室	1	30	中止		1月12日
8	折り紙でつくる節分の鬼たち	1	30	29	29	2月9日
合 計		8	240	164	150	
4 国際理解事業						
1	韓国料理教室	1	6	10	6	11月17日
2	ピニャータであそぼう	1	20	中止		3月13日
合 計		2	26	10	6	
5 教育と福祉の連携事業						
1	介護予防体力測定会	1	20	21	9	9月30日
2	すぐに出来る高齢者の運動と栄養	1	20	10	8	10月28日
3	すぐに出来る高齢者の口腔ケア	1	20	8	7	11月25日
4	いつまでも元気であるための運動と生活習慣	1	20	中止		1月27日
合 計		4	80	39	24	
6	公民館利用者研修会 (注2)	1	30	86	86	12月17日
7	公民館まつり	1	3,000 (見込)	中止		5月15日～17日
7'	みんなの発表会 ～withコロナの時代のなかで～ (注3)	1	-	8団体	8団体56	11月2日～ 12月4日
総 合 計		78	8組3,687	8団体436	8団体478	

(注1)4月～9月及び1月～3月は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。

(注2)新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参集形式ではなく書面による開催とした。

(注3)新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、7公民館まつりが中止となり、代りに7' みんなの発表会を開催した。

◎ 南公民館

事業対象・事業名	回数	定員	申込人数	参加 総数	実施日
1 少年・親子対象事業					
1 和文化教室					
昔遊び教室	3	20	中止		4月25日・5月23日・6月27日
将棋体験教室	4	8	中止		7月27日～7月30日
和太鼓体験教室	19	15	中止		11月7日～3月27日
子ども書初め教室	1	30	23	23	12月26日
2 健康づくり教室					
子どもバドミントン教室	8	24	中止		9月5日～12月19日
3 生活教養講座					
子ども硬筆教室	2	30	中止		4月2日・4月3日
夏休み子ども電気工作教室	1	20	中止		7月21日
そろばん体験くらぶ	1	20	中止		7月
子ども漢字クラブ	3	10	中止		7月27日～7月29日
食育講座	2	8	中止		3月
子ども皮革工芸教室	1	8	中止		3月
4 料理教室					
親子料理教室	1	8	中止		12月～3月
合計	46	201	23	23	
2 一般対象事業					
1 和文化教室					
越生手づくりうちわ体験教室	1	12	中止		7月11日
囲碁体験教室	1	0	中止		
餅つき体験	1	20	中止		1月9日
焼きいも	1	20	中止		11月
2 健康づくり教室					
ラジオ体操・ゲートボール体験教室	13	-	-	54	10月2日～10月30日
健康ストレッチ体操教室	3	12	8	23	11月21日、12月5日、12月19日

3	手工芸教室					
	手ぬいでチクチク来 年の干支の丑「う し」をつくりましょ う	1	8	8	8	12月9日
4	生活教養講座					
	手工芸教室	1	10	中止		12月～3月
	ガラス瓶の中に作 る、苔テラリウム 教室	1	12	中止		3月
	読み聞かせ教室	1	20	中止		8月2日
	初めての方のため のスマートフォン 教室 (Android)	1	12	24	12	9月17日
	「公開講座」 ミュージックベル 体験」	1	5	—	9	12月22日
	漢字教室	3	10	中止		
食品表示教室	1	12	中止			
5	料理教室					
	手打ちうどん教室	1	4組 16	4組 16	4組 15	10月17日
	手作りおせち料理 教室	1	6	6	6	12月10日
6	地域課題講座					
	防災、防犯、高齢 者の孤立など	3	0	中止		
7	交流事業					
	南公民館サークル フェア	1	—	中止		5月24日
	第7回交流会つな がる輪・WA・和～サ マーコンサート～	1	50	中止		8月23日
	クリスマスコン サート	1	50	中止		12月
	南公民館利用団体 合同コンサート	1	50	中止		
	音楽のつどい ～ハートウォームコ ラボ～	1	100	中止		3月
合 計		40	4組 425	4組 62	4組 127	

3 高齢者対象事業						
1	かがやき学級	7	152	38	21	9月17日～12月17日
4 国際理解事業						
1 国際理解講座						
	国際理解講座	2	8	中止		12月～3月
合 計		2	8	0	0	
5 教育と福祉の連携事業						
1 教育と福祉の連携講座						
	健康課題・介護的課題・生活習慣病予防講座など	4	12	中止		10月～3月
合 計		4	12	0	0	
6	公民館利用者研修会	1	12	中止		
7	南公民館まつり	1	2,200 (見込み)	中止		10月16日～10月18日
総 合 計		101	4組 (3,010)	4組 (123)	4組 (171)	

(2) 令和3年度 公民館事業計画

◎ 中央・坂下・南公民館共催事業

事業対象・事業名	回数	定員・見込人数	開催時期	学習内容
1 少年・親子対象事業				
1 親子講座	1	20組40人	10月～3月	親子間で抱える現代的課題について学ぶ。
2 三館共催事業	1	10組20人	10月～3月	三館共催事業として価値観を高める講座を開催する。
合計	2	30組60人		
2 一般対象事業				
1 人権講座	1	30人	12月	人権週間にあわせ、人権問題について学ぶ。
3 公民館サークル体験フェスタ	1	500人	1月～3月	公民館活動を周知するため、サークル活動を体験・公開する。
総合計	4	30組590人		

※ 講座名、回数、定員については予定です。

◎ 中央公民館

事業対象・事業名	回数	定員・見込人数	開催時期	学習内容
1 少年・親子対象事業				
1 自然科学体験教室	3	20	6月～3月	自然や科学を体感し学習する。
2 スポーツ教室	4	20	7月～8月	スポーツを楽しみ、体験する。
3 書道・書初め教室	2	20	12月	書道を通じ、日本の伝統文化を学ぶ。
4 読書感想文の書き方	3	20	7月～8月	自分の考え方を「表現できる力」を養い、「思考力」「判断力」「構成力」を学ぶ。
5 安全教室	1	20	3月	小学校入学前の新入学生（親子）を対象に、防犯意識の向上と身を守る方法を学ぶ。
6 教養教室	1	20	10月～3月	新倉ふるさと民家園と連携し、当時の生活習慣などを学ぶ。
合計	14	120		
2 一般対象事業				
1 日本文化講座	3	20	6月～3月	華道・茶道・将棋・囲碁・和工芸・書道などの日本文化や歴史を学ぶ。
2 漢字教室	3	20	6月～12月	漢字の歴史について学び、知識を深める。
3 食育・食文化講座	3	15	6月～3月	料理を通じ、食材の特性や調理技術、食文化を学ぶ。
4 健康増進講座 (ラジオ体操)	5	20	7月～2月	健康的な生活、健康寿命の延長を目指し、健康増進に関する講座を実施する。
5 ママのためのストレッチ & 美ウォーク	8	15	5月～12月	日頃の運動不足の解消やストレス軽減を目的とし、参加者同士の交流を図る。
6 芸術・文化講座	3	20	2月～3月	音楽や絵画などの芸術文化に親しみ、学習する。
7 利用団体講師講座	4	20	9月～3月	公民館利用者が講師となり、公民館活動で習得した技術等を地域へ還元する。
8 いきいき教養講座	5	10	9月～3月	日常生活をよりよく過ごすため、分野にとらわれず幅広く学習する。
9 手しごと講座	4	15	6月～3月	手作業をしながら、頭も使いつつ、教養を高める。

10	歴史講座	2	20	6月～3月	和光市の歴史について知識を深め、郷土への愛着意識の醸成と地域財産を知る機会を得る。
11	ビームライフル講座	2	20	6月	東京オリンピック・パラリンピックで開催される「射撃」を体験し、市民の機運醸成を図る。
12	地域課題講座	2	20	12月～3月	地域特有の課題に関連する講座を実施する。 「特殊詐欺防止講座」、「防災講座」
合 計		44	215		
3 高齢者対象事業					
1	きらめき学級	7	30	6月～3月	日常生活を文化的・健康的に過ごすため、分野にとらわれず年間を通して幅広く学習する。
4 教育と福祉との連携事業					
1	福祉と教育の連携講座	4	20	6月～3月	高齢者の孤立予防や不安解消などを図る。
5 国際理解事業					
1	外国文化講座	2	20	6月～3月	外国の文化や言語を学習し、国際理解を深める。
2	国際理解講座	2	20	6月～3月	外国の文化や言語を学習し、国際理解を深める。
合 計		4	40		
6	公民館利用者研修会	1	30	7月	公民館利用者を対象に、公民館の目的等を研修する。
7	学・社地域連携事業	1	200	3月	学校教育と社会教育が連携し、地域交流を図る。 「スプリング・コンサート」
8	中央公民館文化祭	1	2700(見込)	10月	公民館利用団体の1年間の活動成果を発表するとともに、公民館の活動を広く市民にPRする。

◎ 講座名、回数、定員については予定です。

◎ 坂下公民館

事業対象・事業名		回数	定員・ 見込人数	開催時期	学 習 内 容
1 少年・親子対象事業					
1	卓球教室	12	20	4月～3月	卓球を通じて体力・技術の向上を図り、他校・他学年の交流を深める。
2	スポーツ関連事業	1	20	4月～3月	スポーツに親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、子どもの主体性・対話性を養う。
3	じゃがいも掘り	1	40	6月	土に触れる楽しさ、収穫の喜びを体感する。 (20組定員)
4	坂下風手打ちうどん教室	1	30	11月	地域伝統のうどん作りをとおして地域・親子間の交流を図る。(15組定員)
5	書初め教室	2	20	12月	各学年の課題に沿って書初めを行う。
6	囲碁教室	3	10	7月～8月	囲碁を学び、技術の向上を図る。
7	将棋教室	3	15	7月～8月	将棋を学び、技術の向上を図る。
8	科学工作教室	1	20	4月～3月	多種多様な工作をとおして創造性を育てる。
9	ものづくり教室	1	12	4月～3月	ものづくりをとおして創造的な発想力と豊かな情操を培う。
10	料理教室	2	12	4月～3月	手作り料理の体験をとおして食育を学び、料理への理解を深め手作りの良さを知る。
11	和楽器教室	5	10	7月～12月	日本伝統芸能を継承するとともに住民同士の交流を図る。
合 計		32	209		
2 一般対象事業					
1	ケーキ作り教室	3	12	2月	本格的なケーキ作りを学習する。
2	囲碁・将棋の集い	11	20	4月～3月	囲碁・将棋の対局を通じて地域住民の交流を図る。
3	料理教室	2	12	4月～3月	季節の料理や地域の食材を生かした調理を学ぶ。
4	子育て学級	1	20	4月～3月	子どもを取り巻く環境について考え、実践法を学ぶ。
5	生活教養講座	3	20	4月～3月	生活する上で必要な知識や生活を楽しくする方法を学ぶ。
6	手工芸教室	3	15	4月～3月	物作りの楽しさを学習する。
7	健康づくり教室	3	20	4月～3月	体力の向上や健康的な生活を目指す。
8	地域課題講座	1	20	4月～3月	地域の課題を探り、課題解決につなげる。

	9	地域文化教室	1	12	9月～12月	地域の伝統を継承するとともに住民同士の交流を図る。
	合 計		28	151		
3 高齢者対象事業						
	1	若返り学級	8	30	6月～3月	生きがいのある生活と参加者相互の交流を図る。
4 国際理解事業						
	1	外国文化講座	2	20	6月～3月	外国の文化を学び、理解を深める。
5 教育と福祉の連携事業						
	1	教育と福祉の連携講座	4	20	4月～3月	個人の自立や地域参画など生涯学習の視点を持った講座で自助力の育成を図る。
6	公民館利用者研修会		1	50	4月～3月	公民館利用者を対象に、公民館の目的等を研修する。
7	【中止】公民館まつり		1	3,000 (見込)	6月4日 ～6日	公民館のサークル活動成果発表と、地域交流を図る。
7'	みんなの発表会		1	-	4月～3月	マルチメディアを活用して公民館サークルの成果発表を積極的に発信し、活動団体に対する支援及び充実を図る。

※ 講座名、回数、定員については予定です。

◎ 南公民館

事業対象・事業名		回数	定員・見込人数	学習内容
1 少年・親子対象事業				
1	和文化教室	5	45	将棋・書道などの日本の文化や歴史を学習する。 「将棋体験教室」(8月) 「書初め教室」(12月)
2	健康づくり教室	10	20	スポーツをとおして、基本的な体力づくりを行う。「親子でラージボール卓球」(5月～12月)
3	生活教養講座	6	75	漢字を学びながら正しい日本語を学習する。また、工作・手工芸・科学あそびなどを体験し、ものづくりの楽しさを学習する。「硬筆教室」(4月) 「漢字教室」(7月～8月) 「地域文化醸成事業」(7月～3月) 「子ども電気工作教室」(8月) 「子ども皮革工芸教室」(3月)など。
合 計		21	140	
2 一般対象事業				
1	和文化教室	1	10	華道・茶道・将棋・囲碁・和工芸・書道などの日本の文化や歴史を学習する。「越生手づくりうちわ体験教室」(7月) 親子や家族参加など。
2	健康づくり教室	23	50	健康づくりについて学習する。「ラジオ体操とゲートボール教室」(5月～7月) 「ストレッチ・ヨガ教室」(11月～12月)など。
3	生活教養講座	4	35	日常生活をよりよく過ごすため、学習内容にとらわれず幅広く機会を提供する。 「渋沢栄一の生涯と功績について」(4月) 「キャッシュレス決済」(6月) 「読み聞かせ教室」(7月～8月) 「スマートフォン講座」(9月) 「歴史講座」(10月～3月) 「手工芸(来年の干支寅づくり)教室」(12月)など。

4	料理教室	2	20	料理をとおして、食材の特性や調理技術、日本の食文化を学ぶ。 「だしの取り方」(4月) 「武蔵野風手打ちうどん教室」(11月)など。
5	地域課題講座	1	20	地域の課題を探り、課題解決につなげる。 (防災、防犯、高齢者の孤立など。)
6	交流事業	1	50	音楽をとおして登録団体や地域住民との交流を深める。(南公民館利用団体協議会と共催 「サマーコンサート」(8月)
		1	50	南公民館利用登録団体(音楽など)が日頃の成果を発表し、また、団体同士の親睦を深め、地域住民と交流を図る。 「クリスマスコンサート」(12月)
		1	50	東日本大震災の被災地の復興を願い、音楽演奏をとおして地域交流を図る。 「音楽のつどい～ハートウォームコラボ」(3月)
合 計		34	285	
3 高齢者対象事業				
1	かがやき学級	11	20	歴史(渋沢栄一の生涯と功績)、キャッシュレス決済、自転車等の交通ルールと事故、箸づくり、スマートフォン教室、食品表示教室、食事と健康について、特殊詐欺の防犯対策・防災や健康課題と介護予防など様々な問題について学習する。(原則8月を除く、第3水曜日。)
4 国際理解事業				
1	国際理解講座	1	10	国際理解を深めるため外国の文化に親しんだり、日本の文化への理解をお互いに深める。(ドイツ文化他)
5 教育と福祉の連携事業				
1	教育と福祉の連携講座	4	45	健康課題、介護的課題、生活習慣病予防、検診の大切さの講座などを開催する。
6	公民館利用者研修会	1	30	公民館利用者を対象に公民館の目的・あり方について研修する。
	南公民館まつり	1	2,200 (見込)	サークルの学習成果を発表するとともに、地域住民との交流を深める。 (10月15日・16日・17日)

(3) 令和2年度 公民館利用状況

公民館	公共・公共的団体	社会教育団体	公民館事業	一般	合計
	上段(件数)・下段(人数)				
中央	722	2,763	43	530	4,058
	8,336	26,600	393	4,622	39,951
坂下	196	1,369	39	38	1,642
	4,413	12,786	494	172	17,865
南	245	1,671	25	123	2,064
	3,578	20,431	171	1,549	25,729
合計	1,163	5,803	107	691	7,764
	16,327	59,817	1,058	6,343	83,545

公共・公共的団体・・・市役所関係・教育委員会関係・社会福祉協議会・自治会・社会教育活動推進団体等

社会教育団体・・・社会教育活動を計画的に行っている自主団体

公民館事業・・・公民館主催の講座・会議等

一般・・・一般登録団体

(4) 社会教育団体の主な活動拠点

団体数	
中央公民館	127
坂下公民館	48
南公民館	62
合計	237

8. 図書館

(1) 図書館活動の概要

○ 和光市図書館

所在 本町31-1 TEL 048-463-8723 FAX 048-463-8682

昭和58年8月2日開館

地域の課題解決を支援する情報拠点、市民の生涯学習拠点として図書館機能の充実を図る。
使いやすい図書館を目指し、レファレンスサービス(資料相談業務)の向上を図る。

利用時間

- 平日 午前9時30分～午後8時まで
- 土曜日・日曜日・祝日 午前9時30分～午後6時まで

休館日

- 毎月の第2・第4木曜日 (1月の第2木曜日及び12月の第4木曜日を除く)
※祝日の場合は開館し、その翌日を休館日とする。
- 1月1日～4日及び12月28日～31日
- 特別図書整理期間

○ 和光市図書館下新倉分館

所在 下新倉5-21-1 TEL 048-452-6011 FAX 048-452-6012

平成28年11月3日開館

利用時間

- 午前9時30分～午後6時まで

休館日

- 毎週月曜日・第4木曜日 (12月の第4木曜日を除く)
※祝日の場合は開館し、その翌日を休館日とする。
- 1月1日～4日及び12月28日～31日
- 特別図書整理期間

○ 移動図書館「やまびこ号」

平成15年3月31日 廃止

○ 図書館資料の館外配置

平日 9:00～17:00
土曜日 13:00～17:00
(ただし予約資料の受け取りは毎日9:00～21:00)

中央公民館図書室

所在 中央1-7-27
Tel 048-464-1123
開設 昭和46年6月2日(平成8年3月15日新築)
所蔵数 6,292冊(令和3年3月31日現在)

坂下公民館図書室

所在 新倉3-4-18
Tel 048-464-5230
開設 昭和49年9月17日
平成9年1月図書室改修
所蔵数 6,080冊(令和3年3月31日現在)

南公民館図書室

所在 南2-3-1
Tel 048-463-7621
開設 昭和58年5月1日
所蔵数 5,687冊(令和3年3月31日現在)

(2) 令和2年度利用状況

1 登録者延べ数(登録年月日は平成4年6月1日より令和3年3月31日)

年齢別	和光市	朝霞市	志木市	新座市	その他の埼玉県	板橋区	練馬区	東京都	その他	戸田市	合計
6歳以下	1,259	14	2	1	0	2	5	0	0	0	1,283
7-9歳	1,085	21	0	2	0	9	9	0	0	0	1,126
10-12歳	1,658	53	2	11	0	1	24	1	0	1	1,751
13-15歳	1,751	62	3	10	0	9	30	2	0	1	1,868
16-18歳	1,761	76	6	16	8	16	42	3	1	0	1,929
19-22歳	2,571	180	22	30	34	16	68	8	2	4	2,935
23-29歳	6,167	568	59	111	124	57	143	14	9	5	7,257
30-39歳	11,564	1,068	140	253	344	134	294	68	46	20	13,931
40-49歳	13,663	1,419	135	337	327	210	414	135	92	12	16,744
50-59歳	9,140	1,236	157	331	189	193	354	139	64	8	11,811
60-69歳	4,275	683	88	208	174	116	175	91	35	1	5,846
70歳以上	5,913	745	132	225	134	94	183	55	37	5	7,523
登録なし	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	13
合計	60,818	6,127	746	1,535	1,334	857	1,741	516	286	57	74,017

和光市の過去の登録者延べ数の推移

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
53,308	55,401	57,496	59,489	60,818

2 資料貸出冊(点)数(団体含む)

	本館	分館	中央公民館	坂下公民館	南公民館	合計
一般書	130,915	18,240	155	987	850	151,147
児童書	142,501	30,645	243	713	585	174,687
紙芝居	1,322	299	7	9	3	1,640
郷土資料	169	205	0	0	0	374
雑誌	15,784	3,026	2	224	379	19,415
視聴覚資料	C D	8,219	99	14	5	13
	カセット	1	0	0	0	0
	V T R	0	0	0	0	0
	D V D	4,745	79	0	1	10
デージー	0	1	0	0	0	1
洋書	1,631	189	0	3	1	1,824
付属品他	464	84	0	1	0	549
相互貸借 ^{注1}	2,953	50	42	54	84	3,183
合計	308,704	52,917	463	1,997	1,925	366,006

注1…館内利用を除く

3 相互貸借数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
貸出数	1,721冊	2,675冊	3,069冊	2,690冊	1,724冊
借受数	3,446冊	2,793冊	3,078冊	2,936冊	3,177冊

4 団体貸出

263団体 43,396冊

5 開館日数

本館	分館	中央公民館	坂下公民館	南公民館
280	198	38	61	61

6 入館者数(公民館図書室は含まない)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
本館	256,831人	249,359人	251,873人	241,400人	143,317人
分館	15,715人	42,362人	45,167人	45,029人	29,300人
合計	272,546人	291,721人	297,040人		172,617人

7 リクエスト件数(購入希望、来館による予約、インターネット・メールによる予約の合計)

	本館	分館	中央公民館	坂下公民館	南公民館	合計
本・雑誌	49,790	224	0	8	78	50,100
視聴覚資料	108	0	0	0	0	108
合計	49,898	224	0	8	78	50,208

8 リクエスト件数の推移(公民館図書室は含まない)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
本館	本・雑誌	37,880	46,585	53,974	51,943	49,790
	視聴覚資料	198	148	188	154	108
分館	本・雑誌	165	330	569	493	224
	視聴覚資料	22	43	23	30	0
合計		38,265	47,106	54,754	52,620	50,122

9 レファレンス件数

本館	分館	中央公民館	坂下公民館	南公民館	合計
7,636	1,571	13	68	44	9,332

10 レファレンス件数の推移(公民館図書室は含まない)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
本館	4,829	8,010	8,971	8,510	7,636
分館	628	1,988	2,231	2,352	1,571
合計	5,457	9,998	11,202	10,862	9,207

11 インターネットからの利用状況

	予約冊数		未所蔵資料のリクエスト		レファレンス	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
4月	3,560	727	163	13	0	0
5月	3,729	2,025	105	79	0	1
6月	3,706	4,213	101	219	0	3
7月	3,702	3,798	104	161	0	1
8月	3,427	3,702	99	212	0	0
9月	3,264	3,730	91	296	1	0
10月	3,129	3,260	109	213	0	0
11月	3,234	3,469	106	262	0	1
12月	2,645	3,410	110	255	0	2
1月	2,557	3,759	93	290	0	1
2月	3,659	3,827	135	245	0	0
3月	3,817	3,438	144	303	0	0
計	40,429	39,358	1,360	2,548	1	9

12 コピー枚数

本館	5,944 枚
分館	266 枚

13 所蔵資料数

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		本館	分館									
一般書	98,955	94,336	13,991	94,507	19,497	96,400	23,038	97,547	26,245	97,977	29,145	
児童書※紙芝居含む	74,232	73,020	6,314	72,505	9,380	73,169	11,016	72,606	13,292	70,361	15,213	
雑誌	3,417	3,445	914	3,443	1,769	3,330	1,790	3,309	1,734	3,036	1,753	
郷土行政資料	4,502	4,561	243	4,593	446	4,824	624	4,760	723	4,932	781	
視聴覚資料	9,301	9,350	0	9,493	0	9,514	0	9,227	0	9,199	0	
洋書	998	1,013	116	1,075	212	1,114	260	1,178	288	1,214	376	
付属品他	341	355	56	357	61	369	80	383	89	393	120	
録音図書	42	55	4	117	8	129	12	143	16	156	25	
館合計		186,135	21,638	186,090	31,373	188,849	36,820	189,153	42,387	187,268	47,413	
合計	191,788	207,773		217,463		225,669		231,540		234,681		

(3) 各種指標から見た令和2年度実績(人口は令和3年4月1日現在)

83,781 人

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1 人口一人あたりの市内個人貸出資料数(冊)	3.63	3.75	3.81	3.42
2 登録率(市内)(%)	67.71	69.38	70.97	72.59
3 登録者一人あたりの貸出資料数(冊) ※市外登録者含む	5.77	5.79	5.69	4.94
4 人口一人あたりの資料数(冊)	2.65	2.72	2.76	2.80
5 資料の回転率(貸出数÷蔵書数)(回)	1.79	1.80	1.78	1.56

(4) 集会行事

1 令和2年度図書館集会事業報告(本館)

集会行事名	対 象	参加人数	開催日	内 容
1 絵本とおはなしの会	2・3歳から 4・5歳から	子ども169名 大人117名	第1～第3土曜日 (8月を除く)	和光絵本とお話の会による絵本の読み聞かせ、パネルシアター等。キッズルームにて2回開催(11時～2.3歳くらいから。14時～4.5歳くらいから)。
七夕おはなし会	幼児から	23名	7月4日(土)	七夕にちなんだお話や笹飾りを楽しむ。
世界おはなしめぐり	子どもから 大人	7名 3名	5月16日(土) 10月3日(土)	世界の昔話や民話を素話で紹介。 ※5月16日(土)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
クリスマスおはなし会	幼児から	47名	12月19日(土)	クリスマス気分を盛り上げるお話や歌遊び等。
2 子どもの科学 第2回「おっと音の実験だ～おどるへびくんをつくろう～」	小学生	11名	12月6日(日)	市内在住の小学生を対象にした科学あそびの講座。おもしろい実験や工作を通じて、子どもたちが科学に興味を持つことを目的とする。また、本や図書館に親しみを持つよう、講座の最後には優れた科学読み物を紹介し、貸し出している。
第3回「羊のおくりもの～カラフルフェルトボールと原毛の標本をつくろう～」		12名	2月13日(土)	講師:坂口美佳子(科学読物研究会)
3 夏の子どものつどい	子どもから 大人	大人30名 子ども42名	8月1日(土)	和光絵本とお話の会、影絵サークルペンぎん、ひまわり倶楽部による大型絵本の読み聞かせやパネルシアター、影絵の上映などを催し、夏に楽しめる企画を用意した。
4 ぶっくわーど 第1回「暑い夏は、おばけカーニバル！」	小学生	子ども11名	7月11日(土)	本の紹介とお話 講師:加嶋智恵子
第4回	小学生		3月13日(土)	本の紹介とお話 講師:松永節子 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
5 図書館まつり	子どもから 大人		10月24日(土) 10月25日(日)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
6 読書月間	子どもから 大人		10月23日(金) 11月25日(水)	和光絵本とお話の会による大人が楽しむお話を10月24日(土)に実施した。 また、読書月間期間中にブックツリーや雑誌付録引換券付きのお楽しみバック、東京地下鉄株式会社によるキッズルームの展示と景品の引き渡しを行った。
7 市民図書館講座 第1回「よみうり回想サロン」	大人	10名	11月25日(水)	読売新聞製作DVD「よみうり回想サロン」を使い、昭和30年代の新聞記事や写真、ニュース動画などを題材にクイズや思い出話で過去を振り返る「回想法」を参加者に体験していただいた。また、昭和30年代に関連した資料を展示し、図書館の利用につなげた。 講師:山本淳一(読売新聞東京本社クロスメディア部記者)
第2回「色×ファッションで自己プロデュース」	中高生	4名	3月21日(日)	中高生を対象に、色の持つ効果とファッションへの取り入れ方について講演していただいた。色彩やファッションに関する本を紹介し、図書館利用につなげた。 講師:長澤陽子(AFT(色彩検定協会)認定色彩講師、専門学校色彩講師)
8 Wonder Club	子どもから 大人	大人6名 子ども5名 大人4名 子ども4名	12月20日(日) 3月28日(日)	ワンダークラブによる英語の歌や英語絵本の読み聞かせをとおして、国際理解や英語への親しみを深めた。*30年度の図書館まつりを機に再開。名称をWonderful TaleからWonder Clubに変更。
9 図書館カフェ	子どもから 大人		10月25日(日)	図書館まつりにおいて図書館職員及び和光市社会福祉協議会、大人の秘密基地アルコールによって図書館内で飲食物を販売。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
10 小学生風作り講座	親子	6組12名	12月13日(日)	郷土作家 新坂和男氏にちなんだ創作風作り
11 あかちゃんと楽しむ 絵本とわらべうた	6か月から 2歳児の 親子		4月17日(金) 5月15日(金) 6月19日(金) 7月17日(金) 8月7日(金) 9月18日(金) 10月16日(金) 12月18日(金) 2月19日(金)	図書館職員によるわらべうたや、絵本の読み聞かせ等。 ※4～7月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
		22名 24名 27名 23名 22名		

集会行事名	対 象	参加人数	開催日	内 容
12 図書館シネマ	大人 子ども 大人	15名 12名 9名	11月7日(土) 2月20日(土)	『父の詫び状』(向田邦子原作) 『わたしのワンピース』(にしまさかやこ//えとぶん)
13 大人のための朗読 劇場	高校生 以上		5月31日(日) 11月1日(日)	ボランティア2名(朗読の会あめんぼ所属)による朗 読劇。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中 止
14 ブックスタート	親子	25名 27名 25名 30名 36名 11名 28名 25名 25名 7名 20名 24名	4月20日(月) 5月11日(月) 6月1日(月) 6月18日(木) 7月6日(月) 9月7日(月) 9月28日(月) 10月5日(月) 11月2日(月) 11月9日(月) 11月30日(月) 12月7日(月) 2月8日(月) 2月22日(月) 3月8日(月) 3月22日(月)	絵本、語りかけの大切さを伝え、絵本のプレゼントを 実施。 ※4~6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のた め中止 <会場> 11月9日(月)北子育て世代包括支援センター 2月22日(月)北第二子育て世代包括支援センター (もくれんハウス)
15 夏休み宿題教室	小学生		7月30日(木) 7月31日(金)	※5年次経験者研修が実施されなかった為、中止
16 本・雑誌のリサイクル	子どもから 大人		随時実施	除籍する本や雑誌を無料で提供した。 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内配 付を行った。)
17 音訳者養成講座 (上級)	大人	4名 3名 4名	5月12日(火) 6月2日(火) 9月1日(火) 10月6日(火) 11月10日(火) 2月16日(火)	図書館内の資料の利用が困難な方に、対面朗読を 行うための音訳者を養成した。 講師:齊藤禮子(音訳講師・DAYSY編集者) ※5月12日、6月2日、2月16日は新型コロナウイルス 感染拡大防止のため中止
18 あかちゃんタイム	乳幼児親子	大人57名 子ども63名	毎月原則 第1木曜日	保護者の方が、乳幼児と一緒にゆったりと気兼ねな く図書館を利用できるようにし、絵本の読み聞かせや わらべ歌などを行い施設利用を促した。 ※4月~7月は、新型コロナウイルス感染拡大防止の ため中止
19 土曜えほんタイム	2・3歳から 4・5歳から	大人5名 子ども8名 大人6名 子ども9名 大人6名 子ども9名 大人9名 子ども16名 大人3名 子ども2名 大人5名 子ども8名 大人7名 子ども10名 大人7名 子ども7名	4月25日(土) 5月23日(土) 5月30日(土) 6月27日(土) 7月25日(土) 9月26日(土) 10月31日(土) 11月28日(土) 1月23日(土) 1月30日(土) 2月27日(土) 3月27日(土)	読書習慣を養うための絵本の読み聞かせ等を実施 した。 ※4~6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のた め中止
20 読み聞かせボランティア 交流会	大人	13名	2月23日(火)	市内で活動している読み聞かせボランティアを集め、 日ごろの活動の情報交換を兼ねた交流会を行った。
21 職員研修 「ビブリオバトルを体験しよ う!(ワークショップ)」	職員及び学 校図書館ア ドバイザー	35名	11月26日(木)	図書館職員及び学校図書館アドバイザーを対象に、 ビブリオバトルについての講義を聴きながら、実際に 自分が読んで面白かった本や人に薦めたい本を紹 介するワークショップを開催した。 講師:木下通子(埼玉県立浦和第一女子高等学校担 当部長兼主任司書)

2 令和3年度図書館集會事業計画(本館)

集會行事名	対象	募集人数	開催日	ねらい
1 絵本とおはなしの会	2・3歳から 4・5歳から	10名 10名	第1～第3土曜日	読書習慣を養うための絵本の読み聞かせ等。 本や物語への関心を高める。 子どもたちの想像力と感性を養う。
2 七夕おはなし会	幼児から小 小学生	15名	7月3日(土)	季節感のある日本の伝統行事を大切にするため。七夕にちなんだ絵本の読み聞かせや紙芝居を行う。
3 世界おはなしめぐり	子どもから 大人	各回10名	第1回 5月15日(土) 第2回 10月2日(土)	世界の昔話や民話を素話で紹介する。絵がないので、参加者は自分の経験や想像力で物語を楽しむことができる。
4 クリスマスおはなし会	幼児から小 小学生	15名	12月18日(土)	飾りつけをしたクリスマスツリーのそばで読み聞かせや歌遊びをする。季節感を演出することで、親しみやすく、安心できる図書館であることを伝える。
5 子どもの科学	小学生	各回12名	第1回 6月19日(土) 第3回 2月19日(土)	科学や科学読み物についての興味や関心を高める。実験や工作を通じて、本を読む楽しさを教える。
6 夏の子どもの集い	子どもから 大人	1日のうちで全6回を予定 各回12名	7月17日(土)	子どもたちと図書館の結びつきを深める。普段のおはなし会では行わない影絵やパネルシアター等の上演を通じ、あまり図書館に来ない子どもたちにもこの機会に図書館に来てもらって、図書館に親しんでもらう。
7 ぶっくわーど	小学生	各回12名	第2回 11月6日(土) 第4回 3月12日(土)	子どもたちの読書活動を支援する。講師がおすすめの本を紹介して、子どもたちに本を読む楽しさを教える。 学校との連携(講師は市内の小学校の教員と元教員の2名) ※旧名称は『子どものための読書会』。
8 市民図書館講座	子どもから 大人	各回30名	3回開催	市民のための図書館講座 生涯学習の拠点として、市民の多様なニーズに合わせた講師を選定し、市民の学習に役立てる。
9 大人のための朗読劇場	高校生以上	30名	12月5日(日)	実際に「朗読劇」を見てもらうことで朗読を楽しんでもらい、本の朗読に親しみと興味を持ってもらう。
10 Wonder Club	子どもから 大人	各回12名	5月30日(日) 12月19日(日) 3月27日(日)	英語絵本の読み聞かせや、英語の手遊び歌等のコミュニケーションを通じて英語の本の紹介や、英語の文化にふれる機会を提供する。
11 図書館シネマ	未定	各回30名	2回実施	DVD上映をとおして図書館との結びつきを深める。 図書館の利用者の拡大を図る。
12 あかちゃんと楽しむ 絵本とわらべうた	6か月から 2歳児の 親子	各回6組	毎月実施	絵本の読み聞かせやわらべうたで遊び、親子のふれあいや言葉かけの大切さを知ってもらう。(1日2回実施する)
13 図書館まつり	子どもから 大人		10月30日(土) 10月31日(日)	図書館と市民とのふれあいの場を提供する。 利用者の拡大を図る。
14 音訳者養成講座 (上級)	大人	4名	6回実施	音訳講師を招き、図書館内の資料の利用が困難な方に、対面朗読を行うための音訳者を養成する。
15 ブックスタート	親子	毎月出生数	13回実施 【本館会場】 4回実施 【支援センター】	絵本やわらべうた、語りかけの大切さを伝え絵本の読み聞かせ、絵本を1冊プレゼントする。図書館会場以外に、出張ブックスタートとして、南・北・北第二子育て世代包括支援センター(もくれんハウス)でも実施予定。
16 小学生凧作り講座	親子	6組	12月12日(日)	和光市ゆかりの郷土作家であり、凧研究家である新坂和男氏の凧作りを再現し、市内で行われる凧揚げ大会に参加を促す。
17 図書館カフェ	子どもから 大人		10月31日(日)	図書館まつりにおいて飲食物を販売する。
18 あかちゃんタイム	乳幼児親子	各回6組	毎月原則 第1木曜日	保護者の方が乳幼児と一緒にゆったりと気兼ねなく図書館を利用できるよう、「あかちゃんタイム」を設けて図書館の利用を促す。
19 夏休み宿題教室	小学生		8月2日(月) 8月3日(火)	夏休みの宿題のアドバイスを、図書館と学校の教員が支援する。
20 土曜えほんタイム	2・3歳から 4・5歳から	10名 10名	第4・第5土曜日	読書習慣を養うための絵本の読み聞かせ等。 本や物語への関心を高める。 子どもたちの想像力と感性を養う。
21 本・雑誌のリサイクル	子どもから 大人		随時実施	除籍する本や雑誌を無料で提供する。 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内配布を行う。)
22 読み聞かせボランティア 交流会	大人		1回	市内小中学校及び市内で読み聞かせボランティアをされている方を対象とした交流会を実施し、今後の活動に活かす。

3 令和2年度図書館集會事業報告(下新倉分館)

集會行事名	対 象	参加人数	開催日	内 容
1 絵本とおはなしの会	幼児から 小学校 低学年	子ども34名 大人21名	4月11日(土) 5月9日(土) 6月13日(土) 7月11日(土) 9月12日(土) 10月10日(土) 11月14日(土) 12月12日(土) 1月9日(土) 2月13日(土) 3月13日(土)	和光絵本とお話の会有志、ひまわり倶楽部有志、職員による絵本の読み聞かせ、パネルシアター等。 キッズコーナーにて開催。(11時15分～11時45分) ※4月11日、5月9日、6月13日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
2 子どもの科学 第1回「偏光板であそぼう ～色が変わるステンドグラスを作ろう～」	小学生	9名	10月17日(土)	科学読み物についての興味や関心を高める。 偏光板の仕組みを考え、色が変わるステンドグラスを作る。講師や図書館からのおすすめ本紹介。 講師:坂口美佳子(科学読物研究会)
3 ぶっくわーど 第2回「笑うってどんなこと？」	小学生		11月7日(土)	子どもたちの読書活動を支援する。 本の紹介と話 講師:松永節子 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
第3回「鬼さん集合」	小学生	9名	3月21日(日)	本の紹介と話 講師:加嶋智恵子
4 夏休み宿題教室	小学生		7月30日(木) 7月31日(金)	夏休みの宿題のアドバイスを、図書館と学校の教員が支援した。 ※7月30日、31日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
5 図書館クラブ 第1回「本の手書きPOPづくり」	中高生	7名	8月8日(土)	POP作成についてのミニ講座、おすすめ本のPOPを作成。希望者にボランティア証明書を発行。
おうちde図書館クラブ 「本の手書きPOPづくり」	中高生	9名	7月25日(土)～ 8月16日(日)	自宅でおすすめ本のPOPを作成し図書館に寄贈。希望者にボランティア証明書を発行。
第2回「正月飾り」作り	中高生	4名	12月26日(土)	正月飾りを作成し館内や公民館図書室内に飾った。おすすめ本の紹介。希望者にボランティア証明書を発行。 講師:伴敏子
6 ちぎり絵で絵手紙講座	子どもから 大人	大人5名	8月18日(土)	新聞紙などを使用しちぎり絵で絵手紙を作成した。 関連図書の展示。 講師:吉田八重子
7 読書月間イベント 「おすすめ本X(エックス)」	中高生 大人	10名 10名 10名	10月23日(金)～ 11月25日(水) 10月23日(金) 10月30日(金) 11月6日(金)	 1冊の本を中身が見えないように梱包し、内容のヒントのみ書かれた「おすすめ本X」を用意し、各日に10セットずつ貸出した。「雑誌付録引換券」を同封しておき、返却時に付録と交換した。新分野の本との出会いを提案し、更なる読書推進を図った。
「ブックツリー」	全利用者	27名		用意したポップ用紙で、利用者のおすすめ本を紹介してもらい、展示し、資料の利用推進を図った。
「ブックビンゴ(小学生向け)」	小学生	10名		2列揃ったらわこガチャを引くことができる、9つのジャンルを書いたビンゴ用紙を配布した。読んだ本の内の1冊は、ブックツリーのポップ作成を必須とした。小学生の読書推進と、わこガチャの認知度向上を目指した。
「ブックビンゴ(幼児向け)」	3～6歳の 子ども	26名		1列揃ったらわこガチャを引くことができる、3つのジャンルを書いたビンゴ用紙を配布した。自分で読むのではなく、読み聞かせを想定した。親子での読書、読み聞かせ活動の推進と、わこガチャの認知度向上を目指した。
8 クリスマス工作	5歳以上の親子	10名	12月5日(土)	松ぼっくりに装飾をして、ミニツリーを作成した。 関連図書の展示。 講師:伴 敏子
9 本の福袋	子どもから 大人		1月5日(火)～ 1月9日(土)	テーマで選んだ2～3冊の本を包装して中身がわからないようにし、「本の福袋」として貸し出した。 大人向け9袋、児童向け10袋、幼児向け9袋を準備。
10 めいぐるみと一緒に聞く おはなし会	幼児から 小学生	大人4名 子ども5名	3月28日(日)	図書館に親しみを持ってもらうために開催。自分の連れてきためいぐるみと一緒に話会を聞いた後、絵本の貸出を行い、後日参加している様子のアルバムをプレゼントした。
11 あかちゃんとお楽しみ 絵本とわらべうた	6か月から 2歳児の 親子	8名 13名 13名 10名	4月24日(金) 6月26日(金) 9月25日(金) 11月27日(金) 1月22日(金) 3月26日(金)	絵本の読み聞かせやわらべうたで遊び、親子のふれあいや言葉かけの大切さを伝えた。 ※4月24日、6月26日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

集会行事名	対 象	参加人数	開催日	内 容
12 ブックスタート	親子	名 3名 7名 8名 4名	5月26日(火) 7月28日(火) 10月27日(火) 12月22日(火) 2月24日(水)	絵本やわらべうた、語りかけの大切さを伝え、絵本の読み聞かせ、わらべうたの実演をし、絵本を1冊プレゼントした。 ※5月26日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
13 サマーフェスタ	子どもから大人		8月1日(土)	近隣自治会、下新倉小学校、下新倉児童館、下新倉保育クラブ合同夏祭りを開催予定。利用者の拡大を図るため、図書館は「図書館の紙芝居屋さん！」を予定していた。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
14 ひまわりおはなし会	小学生	大人3名、子ども4名 大人0名、子ども0名 大人1名、子ども3名 大人0名、子ども3名	毎月第2水曜日 4月15日(水) 5月20日(水) 6月17日(水) 7月15日(水) 9月16日(水) 10月21日(水) 11月20日(水) 12月18日(水) 1月20日(水) 2月17日(水) 3月17日(水)	読書習慣を養うための絵本の読み聞かせ等を行い、本や物語への関心を高め、子どもたちの想像力と感性を養った。 ※4月15日、5月20日、6月17日、7月15日、1月20日、2月17日、3月17日(各水曜日)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
15 ふれあいまつり	子どもから大人		4月29日(水・祝)	下新倉児童館、下新倉学童クラブと共催で開催予定。利用者の拡大を図るため、読み聞かせやパネルアート、雑誌付録のくじびき、工作などを予定。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
16 図書館でボードゲーム	子どもから大人		5月24日(日) 8月23日(日) 11月22日(日) 2月28日(日)	様々な年代の人々が図書館に集い、図書館に親しみを感じてもらうため、ボードゲームを利用したイベントを予定。 ※5月24日、8月23日、11月22日、2月28日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
17 市民図書館講座「絵本の世界を楽しもう」	親子	大人5名 子ども6名	10月4日(土)	絵本『はらぺこあおむし』をテーマに、読み聞かせ、折紙工作を行い、様々な角度から『はらぺこあおむし』の世界を楽しんだ。関連本の紹介、貸出しも行った。
「午王山遺跡ってどんなところ？」	大人	5名	3月20日(土・祝)	午王山遺跡が国指定文化財になったことを期に、午王山遺跡について学ぶ機会を市民に提供するとともに、図書館に所蔵する遺跡に関する資料を紹介した。 講師：鈴木一郎
18 本・雑誌のリサイクル	子どもから大人		6月6日(土) 2月20日(土)	除籍する本や雑誌を無料で提供する。 ※6月6日、2月20日は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止し、館内配布を行った。
19 あかちゃんタイム	乳幼児親子	大人16名 子ども18名	毎月原則第2金曜日	保護者の方が、乳幼児と一緒にゆったりと気兼ねなく図書館を利用できるようにし、絵本の読み聞かせやわらべ歌などを行い施設利用を促した。 ※4月10日・5月8日・6月12日・7月10日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
20 おりがみの日	子どもから大人	23名	毎週金曜日	おりがみを用意し、図書館の本を見ながら自由に創作してもらった。図書館を身近に感じてもらい、利用促進につながった。 ※6月5日(金)～6月26日(金)・令和3年度1月8日(金)～3月5日(金)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
21 おとなの朗読会	大人	4名 4名 9名	7月12日(日) 11月8日(日) 3月14日(日)	朗読サークル朗らか読み「ユニットYKK」による大人向け朗読会を開催した。
22 おとなの楽しい音読教室	大人		5月10日(日) 9月13日(日) 1月10日(日)	名作文学や古典、詩や絵本など、みんなで声を出して読む音読教室の開催を予定したが中止となったため、録音編集した音読教室の動画配信を1月に行った。 講師：神尾敬子 ※5月10日、9月13日、1月10日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4 令和3年度図書館集會事業計画(下新倉分館)

集會行事名	対象	募集人数	開催日	ねらい
1 絵本とおはなしの会	幼児から 小学校 低学年	6名	毎月第2土曜日	読書習慣を養うための絵本の読み聞かせ等を行い、本や物語への関心を高める。また、子どもたちの想像力と感性を養う。
2 あかちゃんと楽しむ 絵本とわらべうた	6か月から 2歳児の親 子	6組	4月16日(金) 6月25日(金) 9月17日(金) 11月26日(金) 1月28日(金) 3月25日(金)	絵本の読み聞かせやわらべうたで遊び、親子のふれあいや言葉かけの大切さを知ってもらう。
3 ブックスタート	親子	毎月出生数	5回実施	絵本やわらべうた、語りかけの大切さを伝え、絵本の読み聞かせ、わらべうたの実演をし、絵本を1冊プレゼントする。
4 ひまわりおはなし会	小学生	6名	毎月第3水曜日 4月21日(水) 【中止】5月19日(水) 6月16日(水) 7月21日(水) 9月15日(水) 10月20日(水) 11月17日(水) 12月15日(水) 1月19日(水) 2月16日(水) 3月16日(水)	読書習慣を養うための絵本の読み聞かせ等を行い、本や物語への関心を高める。また、子どもたちの想像力と感性を養う。
5 ふれあいまつり	子どもから 大人		【中止】4月29日(木・祝)	下新倉児童館、下新倉学童クラブと共催で図書館に親しんでもらうため催しを開催する。利用者の拡大を図る。
6 子どもの科学	小学生	9名	第2回 10月16日(土)	科学読み物についての興味や関心を高める。
7 サマーフェスタ	子どもから 大人		8月7日(土)	近隣自治会、下新倉小学校、下新倉児童館、下新倉学童クラブの合同夏祭りを開催する。利用者の拡大を図る。
8 ぶっくわーど	小学生	各回10名	第1回7月17日(土) 第3回2月26日(土)	子どもたちの読書活動を支援する。本を読む楽しさを教える。学校との連携(講師は市内の小学校の教員と元教員の2名) ※旧名称は『子どものための読書会』。
9 夏休み宿題教室	小学生		8月3日(火)	夏休みの宿題のアドバイスを、図書館と学校の教員が支援する。
10 本・雑誌のリサイクル	子どもから 大人		随時実施	除籍する本や雑誌を無料で提供する。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内配布を行う。
11 あかちゃんタイム	乳幼児親子		毎月原則 第2金曜日	保護者の方が乳幼児と一緒にゆったりと気兼ねなく図書館を利用できるようにし、図書館の利用を促す。また、読み聞かせやわらべうた等を行う。
12 図書館クラブ	中高生	9名	8月、12月	中高生の図書館利用を促進する。
13 ちぎり絵工作	子どもから 大人	6組	10月2日(土)	新聞紙などを使用し、ちぎり絵工作を行う。
14 クリスマス・お正月 工作	子どもから 大人	10名	12月4日(土)	クリスマスまたはお正月にちなんだ工作を行い、季節の行事を楽しむ。
15 本の福袋	子どもから 大人		1月5日(水)～	テーマで選んだ2～3冊の本を包装して中身がわからないようにし、「本の福袋」として貸し出す。
16 ぬいぐるみの おとまり会	幼児から 小学生	5名	3月27日(日)～ 29日(火)	図書館に親しみを持ってもらうために開催。自分の連れてきたぬいぐるみと一緒に話会を聞いた後、ぬいぐるみを預かる。図書館で過ごす様子を写真に撮り、お迎え時に絵本を作る。ぬいぐるみの選んだ本を借りて帰る。
17 市民図書館講座	子どもから 大人	各回9名	2回開催	市民のための図書館講座。生涯学習の拠点として、市民の多様なニーズに合わせた講師を選定し、市民の学習に役立てる。
18 おとなの朗読会	大人	10名	7月25日(日) 11月14日(日) 3月13日(日)	朗読サークル朗らか読み「ユニットYKK」による大人向け朗読会。本の朗読を聞く楽しみを体験してもらう。
19 おりがみの日	子どもから 大人		毎週金曜日	おりがみを用意し、図書館の本を見ながら自由に創作してもらう。図書館を身近に感じてもらう、利用促進につなげる。
20 おとなの楽しい音読教室	大人	6名	【中止】5月9日(日) 9月26日(日) 1月23日(日)	講師を招き、名作文学や古典、詩や絵本など、声を出して読む音読の楽しさを感じてもらう。開催が難しい場合は、録音編集した動画配信を検討。
21 図書館でボードゲーム	子どもから 大人		【中止】5月23日(日) 8月22日(日) 11月28日(日) 2月27日(日)	様々な年代の人々が図書館に集う機会を作るため、ボードゲームを利用したイベントを実施し、図書館に親しみを感じてもらう。

(5) 本とのふれあい事業

学校訪問

学校名	訪問対象	訪問した内容・団体名
第四小学校	児童対象	スライドによる館内案内と図書館利用の説明、大型紙芝居。 ※通常は、図書館見学を実施しているが、新型コロナウイルスの影響により今年度は図書館職員が学校を訪問。
下新倉小学校	児童対象	2年生の生活の授業内で、インタビューに答えた。
下新倉小学校	教職員対象	新任教職員向けに図書館の使い方や、これまでの連携実績などを紹介するガイダンスを行った。その後図書館へ移動し、教育関連資料コーナーをはじめ、教科書関連本コーナーや調べ学習コーナー等を案内した。
和光国際高等学校	生徒対象	保育授業における絵本の読み聞かせ講習・和光絵本とお話の会

保育園訪問

保育園名	訪問回数	訪問した団体名
ひろさわ保育園	5	和光絵本とお話の会
ほんちよう保育園	5	和光絵本とお話の会

(6) 団体貸出について

テーマ別

貸出団体名	申込数	貸出冊数
白子小学校	7	170
新倉小学校	0	0
第三小学校	1	24
第四小学校	2	72
第五小学校	3	74
広沢小学校	5	116
北原小学校	8	253
本町小学校	9	391
下新倉小学校	43	938
大和中学校	4	164
第二中学校	0	0
第三中学校	0	0
和光国際高等学校	1	32
合計	83	2,234

	主なテーマ
1	ゴミ、リサイクル
2	伝統工芸
3	自動車くらべ
3	昔のくらし
3	日本文化
3	むかしばなし
3	うみのかくれんぼ
4	詩、食事、福祉、世界遺産、大豆、麦、絵本、仕事、国語、道徳、お弁当の本、動物の赤ちゃん、紙芝居、農家の仕事、埼玉、環境問題、すがたを変える食べ物、大型絵本、電気、日本の歴史、鬼ごっこ、世界の歴史、科学読み物、防災、ノンフィクション、教科書に掲載された本、言葉遊び、主人公が同じ年齢、ファンタジー

貸出団体名	貸出冊数	回数
白子小学校	1,700	2
新倉小学校	1,850	2
第三小学校	1,250	2
第四小学校	1,450	2
第五小学校	1,950	2
広沢小学校	1,550	2
北原小学校	1,550	2
本町小学校	1,200	2
下新倉小学校	1,900	2
大和中学校	0	0
第二中学校	800	2
第三中学校	700	2
南学童クラブ	100	2
諏訪学童クラブ	100	2
中央学童クラブ	100	2
広沢学童クラブ	100	2
本町学童クラブ	100	2
白子第二学童クラブ	100	2
白子学童クラブ	100	2
北原学童クラブ	100	2
新倉学童クラブ	100	2
南地域センター学童クラブ	50	2
下新倉学童クラブ	100	2
さつきのこ学童クラブ	100	2
ひろさわ保育園	100	2
ほんちょう保育園	100	2
キッズエイド和光保育園	100	2
保育ルームフェリーチェⅡ	25	1
にいくら保育園	100	2
下新倉みどり保育園	100	2
ハレルヤ保育園	100	2
みなみ保育園	100	2
しらこ保育園	100	2
キッズエイド吹上保育園	100	2
南子育て世代包括支援センター	300	1
北子育て世代包括支援センター	300	1
本町子育て世代包括支援センター	50	2
北第二子育て世代包括支援センター	50	1
保健センター	50	2
新倉高齢者福祉センター	100	2
教育支援センター	100	2
総合福祉会館	50	2
福祉の里	100	1
和光市生活介護施設ゆめちか	100	2
第四小わこうっこクラブ	50	2
新倉小わこうっこクラブ	50	2
北原小わこうっこクラブ	50	1
第五小わこうっこクラブ	50	2
下新倉小わこうっこクラブ	50	2
第三小わこうっこクラブ	50	2
白子小わこうっこクラブ	50	2
本町小わこうっこクラブ	50	1
広沢小わこうっこクラブ	50	1

(7) 沿 革

昭和37年 8月	大和中央公民館図書室開室
昭和45年	県立移動図書館巡回開始
昭和45年10月	和光市市制施行
昭和46年 6月	和光市中央公民館図書室開室
昭和47年 1月	県立一日図書館巡回開始(西大和団地、諏訪原団地)
昭和48年12月	移動図書館「やまびこ号」巡回開始
昭和49年 9月	坂下公民館図書室開室
昭和51年 3月	県立一日移動図書館閉館
昭和56年10月	新「やまびこ号」巡回開始
昭和56年12月	図書館新築工事着工
昭和58年 3月	図書館新築工事竣工
昭和58年 4月	和光市図書館設置及び管理条例を制定 これに伴い、中央公民館図書室廃止
昭和58年 5月	南公民館開室
昭和58年 8月	和光市図書館開館
昭和59年	視聴覚資料貸出開始
平成 2年11月	図書館電算化準備事業着手
平成 3年 6月	移動図書館日曜巡回開始
平成 4年 9月	コンピュータ稼動
平成 5年11月	移動図書館「やまびこ号」更新、巡回開始
平成 6年 2月	外壁工事終了
平成 7年 3月	和光市図書館管理運営規則の一部改正
平成 7年 4月	「図書館だより」発行
平成 8年 1月	坂下公民館図書室館内での場所の移動と室内改修
平成10年 6月	和光市図書館管理運営規則の一部改正 コンピュータ更新稼動 中央公民館図書室開室 ブラインド設置工事
平成11年 6月	祝日開館及び開館時間延長(試行)
平成12年 3月	図書館事務室他空調機交換工事
平成12年 4月	祝日開館及び開館時間延長(試行延長)
平成12年11月	第1回図書館まつり(文化の日)
平成13年 9月	館内改修工事(カーペット張替えなど)
平成14年 4月	和光市図書館管理運営規則の改正(休館日、利用時間)
平成14年 9月	館内エアコン交換工事
平成15年 3月	移動図書館やまびこ号廃止
平成15年 5月	郵送貸出サービス開始
平成15年12月	図書館システムの切り替え
平成16年 3月	学校図書館とオンライン化し、学校との連携開始
平成16年 9月	館内改修工事(階段室塗り替え、排煙窓改修)
平成17年 4月	インターネット予約開始
平成17年 11月	館内中央掲示板設置 書架寄贈
平成18年 1月	子育て支援コーナー設置
平成18年 3月	和光市図書館ホームページ開設
平成18年 9月	利用者用インターネット端末2台設置 多目的トイレ改修工事(オストメイト設置)
平成19年 1月	ビジネス支援コーナー設置
平成19年 4月	新視聴覚ケース採用
平成19年 7月	会議室エアコン取替え工事
平成19年10月	情報掲示板設置
平成20年 3月	和光市子ども読書活動推進計画策定
平成20年 9月	屋上キュービクル取替工事
平成20年12月	図書館管理システム更新
平成21年10月	ブラインド修繕 新聞縮刷版書棚設置 坂下公民館図書室内修繕
平成21年11月	埼玉・教育ふれあい賞受賞
平成22年10月	月曜開館(試行)
平成23年 3月	ブックポスト増設(コミュニティセンター、駅北口土地区画整理事業事務所)
平成23年 4月	月曜開館実施
平成23年 5月	公民館職員による公民館図書室資料の貸出し(月・水～金曜日)
平成23年 7月	図書館開館時間中のブックポストの設置(図書館1階入口)
平成23年11月	電話及びインターネットによる貸出延長 拡大読書器の設置(小型)

図書館エレベーター撤去新設工事

平成23年11月	図書館エレベーター撤去新設工事関連工事 図書館エレベーター撤去新設工事関連工事(入口ホールインターホン 設置修繕工事・揚水ポンプ交換他工事・誘導灯交換工事・自動ドア 装置交換工事・入口ホール点字ブロック設置等工事)
平成24年 4月	貸出冊数の増加(7冊から15冊に) 放送大学再視聴施設和光校開校 文部科学大臣表彰受賞 館内閲覧席における持ち込みパソコンの全面利用開始
平成24年 5月	ブックポスト視聴覚資料返却スタート
平成24年 6月	公民館図書室の図書の入替え(中央・南)及びレイアウト変更
平成24年 7月	図書館資料延滞者に対する利用制限の開始
平成24年 9月	ブックポスト増設(総合福祉会館)
平成24年11月	シーアイハイツ第一商業棟防水工事
平成24年12月	トイレ手洗い器自動洗浄修繕
平成25年 3月	和光市図書館サービス計画策定 第2次和光市子ども読書活動推進計画策定
平成25年 4月	朝の開館時間の延長(10時から9時30分に)
平成25年 9月	ブックスタート開始
平成26年 2月	キッズルーム設置及び館内レイアウト変更(書架移動) 図書館管理システム更新 トイレ床改修 消防用設備(自動火災報知設備受信機)修繕
平成26年 3月	消火栓ポンプ分解整備
平成26年 4月	カウンター業務を委託から直営による運営に変更 マンガコーナー設置
平成26年 7月	出張ブックスタート開始
平成26年 8月	ブックポスト増設(和光市駅南口自転車駐車場)
平成26年10月	公民館図書室の貸出時間を拡大 公民館図書室における予約資料の受け取り時間を拡大
平成26年11月	セルフ貸出サービス開始 和光市図書館サポーター制度開始
平成26年12月	「図書館だより」リニューアル
平成27年 3月	シーアイハイツ第一商業棟外壁塗装工事 「YA通信」発行 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始
平成27年 4月	和光市図書館利用困難者支援事業実施要綱制定 和光市図書館資料の寄贈等に関する要綱制定 和光市図書館資料の賠償に関する要綱制定 対面朗読サービス、デジタイズ再生機利用サービス等開始
平成27年10月	赤ちゃんタイム開始
平成28年 3月	多目的トイレにベビーチェア設置
平成28年 4月	和光市図書館雑誌スポンサー事業実施要綱制定 読書通帳開始
平成28年10月	りんごの棚設置
平成28年11月	和光市図書館下新倉分館開館 ナクソス・ミュージックライブラリー、ジャパンレヅジサービス開始
平成29年 1月	わこガチャ開始
平成29年 4月	和光市図書館管理運営規則の一部改正 (休館日、図書利用券の有効期限、視聴覚資料の貸出点数) 読み聞かせ手帳開始
平成29年 5月	拡大読書器設置(大型)
平成29年10月	大人のための読書通帳開始
平成30年 1月	わこガチャ利用対象を拡大(3歳～6歳) 高架水槽撤去工事
平成30年 3月	第2次和光市図書館サービス計画策定 第3次和光市子ども読書活動推進計画策定
平成30年 4月	ブックポスト増設(新倉北地域センター)
平成30年 8月	図書館エレベーター補修工事
平成31年 2月	空調機更新工事
平成31年 3月	闘病記コーナーリニューアル 高圧ケーブル交換工事
平成31年 4月	和光市図書館管理運営規則の一部改正(団体利用)
令和 2年 1月	男女トイレ洋式化工事 科学道100冊コーナー設置 新書コーナー設置
令和 2年 2月	図書館管理システム更新
令和 2年 3月	下新倉分館「みんなのひとハコ図書館」事業開始
令和 2年 6月	図書除菌機設置(本館・下新倉分館) 公式YouTubeチャンネル開設
令和 2年 7月	無料公衆無線LANサービス提供開始[本館]
令和 2年12月	公式Twitter開始

IV 青少年事業・生涯スポーツ振興事業

1. 青少年事業

(1) 令和2年度事業報告

No.	事業名	会場	実施月日	時間	回数	対象	参加者数	内容	参加費
1	e-ネットキャラバン	市内小中学校 市役所	応募校がなかったため実施せず	—	0	小学生～ 保護者	—	児童・生徒・保護者にインターネットの危険性と携帯の安心・安全な使い方の講習会。	無料
2	青少年問題協議会 「青少年健全育成作文募集」	—	7月～10月	—	1	小学4年生～ 高校1年生 特別支援 学校生	3,895	テーマ「ぼく・わたしの誇り～今まで頑張ってきたこと～」とし作文を募集した。入選点数100点。	無料
3	青少年育成推進員会 「青少年をまもる店」 訪問調査	—	8月～11月 ※新型コロナウイルスの影響により中止	—	1	市内 協力店舗	—	青少年育成推進員が青少年をまもる店協力店を訪問し青少年の動向を調査、まもる店として協力依頼をする。	無料
4	青少年育成 和光市民会議 夏季スポーツ大会	総合体育館 メイン アリーナ サブアリーナ	8月22日(土) ※新型コロナウイルスの影響により中止	8:30～ 14:00	1	小学生	—	ドッジボール大会を実施する。	無料
5	和光市地域青少年を 育てる会連合会 広報誌「芽ばえ」の 発行	—	9月 3月 ※新型コロナウイルスの影響により事業が中止となったため未発行	—	2	—	—	育てる会及び連合会活動の報告と事業等の案内を掲載し広報誌を発行する	無料
6	和光市地域青少年を 育てる会連合会 和光市地域青少年を 育てる会交流会① 「消防体験」	和光消防署	9月 ※新型コロナウイルスの影響により中止	—	1	市民	—	水消火器による消火訓練、地震体験車、はしご車見学を実施する。	無料
7	和光市地域青少年を 育てる会連合会 地域青少年を育てる 会スマイルプロジェクト	—	11月15日(日) ※新型コロナウイルスの影響により中止	10:00 ～ 13:00	1	小学3年生～ 小学6年生	—	和光市民まつりで模擬店運営のサポートを通じて、職業体験を実施する。	無料
8	和光市地域青少年を 育てる会連合会 親子ベタンク大会	—	11月15日(日) ※新型コロナウイルスの影響により中止	10:00 ～ 13:00	1	市民	—	三人一組のチーム対抗戦ベタンク大会で親子・地域の交流を図る。	無料
9	青少年育成推進員会 講習会① 「コロナ禍での家庭 教育の在り方～ネット 社会が子どもたちに 与える影響～」	和光市役所	11月18日(水)	9:30～ 11:00	1	市民	13	埼玉県家庭教育アドバイザーを招き、ネット社会が子どもたちに与える影響について講習会を実施した。	無料
10	青少年健全育成作文 発表会	サンアゼリア 小ホール	12月12日(土)	9:30～ 11:45	1	小学6年生 中学3年生 高校1年生	100	小学4年生～高校1年生及び、特別支援学校生を対象に募集。入選した作文、標語、の表彰式及び発表会を実施した。	無料

No.	事業名	会場	実施月日	時間	回数	対象	参加者数	内容	参加費
11	和光市地域青少年を育てる会連合会 和光市地域青少年を育てる会交流会② 「たこづくり教室」	総合体育館 研修会議室	12月20日(日)	10:00 ～ 12:00	1	市民	4	親子で参加できるたこづくり教室を実施した。	無料
12	青少年育成推進委員会 講習会② 「図書館交流会」	和光市役所	12月16日(水)	9:30～ 11:00	1	市民	15	図書館職員から、優良図書を紹介等、読書の大切さを学んだ。	無料
13	青少年育成推進委員会 「あひる」(広報わこうに掲載)発行	—	1月	—	1	—	—	青少年育成推進員の活動やお知らせを掲載した。	無料
14	青少年育成 和光市民会議 新春風あげ大会	荒川河川敷 運動公園野球場B・C面	1月16日(土) ※新型コロナウイルスの影響により中止	10:00 ～ 12:00	1	市民	—	手作り凧による大会を実施し、親子・地域での交流を図る。	無料
15	青少年育成推進委員会 講習会③ 「防犯講座～市内の犯罪発生状況と対策～」	和光市役所	1月13日(水)	9:30～ 11:00	1	市民	8	わこう市政学習おとどけ講座を利用し、危機管理室職員、埼玉県警生活安全課職員より和光市の犯罪発生状況と対策について講習会を実施した。	無料
16	青少年育成推進委員会 講習会④ 市長との懇談会	和光市役所	2月3日(水)	9:30～ 11:00	1	市民	15	和光市役所会議室にて、市長と学校や地域の様子について、情報交換を実施した。	無料
17	青少年育成 和光市民会議 わこうっちかるた大会	総合体育館 サブアリーナ	2月13日(土) ※新型コロナウイルスの影響により中止	9:30～ 12:30	1	小学生	—	かるた大会を実施し、かるたを通じて、地域の魅力をこれからの和光を担う子どもたちに伝え、郷土愛や地域への関心を高める。	無料

(2) 令和3年度 事業計画

No.	事業名	会場	予定月日	時間	回数	対象	定員	内容	参加費
1	e-ネットキャラバン	市内小中学校 市役所	4月～3月	—	—	小学生～ 保護者	—	児童・生徒・保護者にインターネットの危険性と携帯の安心・安全な使い方の講習会の実施する。	無料
2	青少年問題協議会 「青少年健全育成作文 募集」	—	7月～10月	—	—	小学4年生～ 高校1年生 特別支援 学校生	—	作文のテーマを決め募集する。	無料
3	青少年育成推進員会 「青少年をまもる店」 訪問調査	市内	8月～11月	—	—	—	—	青少年育成推進員が青少年をまもる店協力店を訪問し、調査を依頼する。	無料
4	青少年育成 和光市民会議 夏季スポーツ大会	総合体育館 メイン アリーナ サブアリーナ	8月21日(土)	—	1	小学生	—	ドッジボール大会を実施する。	無料
5	和光市地域青少年を 育てる会連合会 広報誌「芽ばえ」の 発行	—	9月 3日	—	2	—	—	育てる会及び連合会活動の報告と事業等の案内を掲載し広報誌を発行する。	無料
6	和光市地域青少年を 育てる会連合会 地域青少年を育てる 会スマイルプロジェ クト	—	11月14日(日)	—	1	小学生	有	和光市民まつりで模擬店運営のサポートを通じて、職業体験を実施する。	無料
7	和光市地域青少年を 育てる会連合会 親子ベタンク大会	—	11月14日(日)	—	1	市民	—	三人一組のチーム対抗戦ベタンク大会で親子・地域の交流を図る。	無料
8	青少年育成推進員会 講習会	和光市役所	12月～3月	—	4	市民	—	家庭・地域での青少年健全育成に関する講習会を実施する。	無料
9	青少年健全育成作文 表彰式発表会	サンアゼリア 小ホール	12月11日(土)	—	1	小学4年生～ 高校1年生 特別支援 学校生	—	小学4年生～高校1年生及び特別支援学校生を対象に募集。入選した作文の表彰式及び発表会を実施する。	無料
10	和光市地域青少年を 育てる会連合会 和光市地域青少年を 育てる会交流会 「たこづくり教室」	総合体育館 研修室・会議 室	未定	—	1	市民	—	親子で参加できるたこづくり教室を実施する。	無料
11	青少年育成推進員会 「あひる」の発行 (広報わこうに掲載)	—	1月	—	1	—	—	青少年育成推進員の活動やお知らせを掲載する。	無料
12	青少年育成 和光市民会議 新春風あげ大会	荒川河川敷 運動公園野球 場	1月15日(土)	—	1	市民	—	手作り凧による大会を実施し、親子・地域での交流を図る。	無料
13	青少年育成 和光市民会議 わこうっかるた 大会	総合体育館 サブアリーナ	2月5日(土)	—	1	小学生	有	かるた大会を実施し、かるたを通じて、地域の魅力をこれからの和光を担う子どもたちに伝え、郷土愛や地域への関心を高める。	無料

2. 生涯スポーツ振興事業

(1) 令和2年度 事業報告

No.	事業名	会場	実施月日	時間	回数	対象	参加者数	内容	参加費
1	和光市・佐久市 スポーツ交流会	和光市 体育施設	6月6日(土) ※新型コロナウイルスの影響により中止	6:30～ 17:00	1	市民	—	災害時相互応援協定を結んでいる佐久市のスポーツ少年団と少年野球、ミニバス、少年サッカーの交流を行う。	無料
2	佐久市とのスポーツ 交流会 (マレットゴルフ)	長野県佐久市 総合運動公園	6月13日(土) ※新型コロナウイルスの影響により中止	6:30～ 18:30	1	市民	40	災害時相互応援協定を結んでいる佐久市の施設で佐久市の指導員のもとマレットゴルフを実施する。	1,500円
3	ラジオ体操	①市内小学校 校庭 (予定) ②和光樹林公園 芝生広場	7月～8月の夏休 み期間で実施 ※新型コロナウイルスの影響により中止	未定	6	市民	—	2回に分けてラジオ体操第1・第2を実施する。	無料
4	十日町市・和光市 スポーツ交流会	新潟県 十日町市 カブチビッチ他	8月29日(土) 8月30日(日) ※新型コロナウイルスの影響により中止	6:30～ 17:00	1	市民	—	災害時相互応援協定を結んでいる十日町市のスポーツ少年団と少年サッカー交流をする。	無料
5	グラウンドゴルフ 教室及び大会 (協働事業)	運動場	※新型コロナウイルスの影響により中止	9:30～ 11:30	3	市民	50	グラウンドゴルフ教室・大会を行い、地域の仲間づくりと運動場利用者のすそ野拡大を図る。	300円
6	市民体育祭	運動場	10月11日(日) ※新型コロナウイルスの影響により中止	8:30～ 15:30	1	市民	—	80m競走・障害物競走・各種対抗リレー等を実施する。	無料
7	秋の市民ハイキング	近郊ハイキング コース	10月18日(日) ※新型コロナウイルスの影響により中止	7:00～ 18:00	1	市民	40	自然の中を歩くことの楽しさを体験する。	2,000円
8	スポーツ吹き矢教室 (協働事業)	運動場	※新型コロナウイルスの影響により中止	9:30～ 11:30	3	市民	30	スポーツ吹き矢教室を行い、競技を知るきっかけを作り、競技普及を図る。	300円
9	バズロック教室	和光樹林公園	11月1日(日)	9:00～ 11:00	1	市民	15	地図をもとに制限時間内にチェックポイントとして設けられた場所を周ると同時に、得点を集めるスポーツを行った。	無料
10	那須烏山市・和光市 スポーツ交流会	那須烏山市 体育施設	11月3日(火・祝) ※新型コロナウイルスの影響により中止	6:00～ 17:00	1	市民	—	災害時相互応援協定を結んでいる那須烏山市とスポーツ交流をする。	無料

No.	事業名	会場	実施月日	時間	回数	対象	参加者数	内容	参加費
11	市民まつり (新体力測定等)	広沢小	11月15日(日) ※新型コロナウイルスの影響により中止	10:00 ～ 15:00	1	どなたでも	—	体力測定(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび等)を実施する。	無料
12	ニュースポーツ教室	総合体育館	12月13日(日)	午前	1	市民	9	気軽にできるレクリエーション・スポーツ(ポッチャ、ティスコン)を実施した。	無料
13	冬のレクリエーション教室	総合体育館	1月10日(日)	午前	1	市民	20	気軽にできるレクリエーション・スポーツ(ソフトバレーボール、キンボール)を実施した。	無料
14	普通救命講習 (協働事業)	運動場	※新型コロナウイルスの影響により中止	9:00～ 11:00	1	市民	20	突然の心停止に遭遇した際、迅速に処置するための正確な技能の修得を図るため、普通救命講習を行い、防災啓発を図る。	無料
15	和光市・十日町市 スポーツ交流会	アーバンアクア公園 (和光スポーツアイランド)	2月27日(土) 2月28日(日) ※新型コロナウイルスの影響により中止	9:00～ 17:00	1	市民	—	災害時相互応援協定を結んでいる十日町市のスポーツ少年団とサッカー交流をする。	無料
16	「からだ緩める呼吸法」教室	南公民館	3月14日(日)	10:00 ～ 11:30	1	市民	5	身体の歪みを自分で整えていく呼吸法を学び、身体の痛みや違和感等の軽減に有効活用してもらうことで、市民の健康づくりを図った。	無料
17	和光市民ロードレースフェスティバル	和光樹林公園 及び その周辺道路	3月14日(日) ※新型コロナウイルスの影響により中止	8:30～ 13:30	1	どなたでも	—	和光市内を距離等に区分して走る。	有料 (年齢 距離別)
18	ウォーキング教室	和光市内近郊	3月21日(日) ※雨天中止	午前	1	市民	30 程度	和光市近郊でウォーキングを実施する。	無料
19	スポーツ推進委員 周知活動	市内 せせらぎ公園	3月27日(土)	10:00 ～ 12:00	1	市民	63	スポーツ推進委員の活動を気軽に知ってもらう活動を実施した。 ・どんじゃんけん ・進化じゃんけん ・マーカー裏返し	無料
20		和光樹林公園	3月28日(日) ※天候不良により1時間程度で中止	10:00 ～ 12:00	1	市民	0	スポーツ推進委員の活動を気軽に知ってもらう活動を実施した。 ・ティーボール ・パターゴルフ	無料

(2) 令和3年度事業計画

No.	事業名	会場	予定月日	時間	回数	対象	定員	内容	参加費
1	和光市・佐久市 スポーツ交流会	和光市 体育施設	6月5日(土) ※新型コロナウイルスの影響により中止	6:30～ 17:00	1	市民	—	災害時相互応援協定を結んでいる佐久市のスポーツ少年団と少年野球、ミニバス、少年サッカーの交流を行う。	無料
2	佐久市とのスポーツ 交流会 (マレットゴルフ)	長野県佐久市 総合運動公園	6月12日(土) ※新型コロナウイルスの影響により中止	6:30～ 18:30	1	市民	40 程度	災害時相互応援協定を結んでいる佐久市の施設で佐久市の指導員のもとマレットゴルフを実施する。	1,500円
3	十日町市・和光市 スポーツ交流会	新潟県 十日町市 カブチビッチ他	8月28日(土) 8月29日(日)	6:30～ 17:00	1	市民	—	災害時相互応援協定を結んでいる十日町市のスポーツ少年団と少年サッカー交流をする。	無料
4	秋の市民ハイキング	近郊ハイキング コース	9～11月	7:00～ 18:00	1	市民	—	自然の中を歩くことの楽しさを体験する。	2,000円
5	レクリエーション 教室	未定	9～11月	午前	1	市民	—	気軽にできるレクリエーション・スポーツを実施する。	無料
6	市民体育祭	運動場	10月10日(日)	8:30～ 15:30	1	市民	—	80m競走・障害物競走・各種対抗リレー等を実施する。	無料
7	那須烏山市・和光市 スポーツ交流会	那須烏山市 体育施設	11月3日(水・祝)	6:00～ 17:00	1	市民	—	災害時相互応援協定を結んでいる那須烏山市とスポーツ交流をする。	無料
8	市民まつり (新体力測定等)	未定	11月14日(日)	10:00 ～ 15:00	1	どなたでも	—	体力測定(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび等)を実施する。	無料
9	軽スポーツ体験教室	未定	1～2月	午前	1	市民	—	気軽にできるレクリエーション・スポーツを複数種目実施する。	無料
10	和光市・十日町市 スポーツ交流会	アーバンアク ア公園 (和光スポ ーツアイラ ンド)	1～3月	9:00～ 17:00	1	市民	—	災害時相互応援協定を結んでいる十日町市のスポーツ少年団とサッカー交流をする。	無料
11	和光市民 ロードレース フェスティバル	和光樹林公園 及び その周辺道路	3月13日(日)	8:30～ 13:30	1	どなたでも	—	和光市内を距離等に区分して走る。	有料 (年齢 距離別)
12	ウォーキング教室	和光市内近郊	3月	午前	1	市民	30 程度	和光市近郊でウォーキングを実施する。	無料

(3) 令和2年度 スポーツ振興施設利用状況

施設名		使用回数 (延べ)	前年度比 増減	利用人数 (延べ)	前年度比 増減	
1	運動場	野球場	226	105	5,286	-2,172
2		庭球場	3,943	-326	18,960	-2,006
3		会議室	108	9	854	-821
4	司法研修所	庭球場	0	-442	0	-2,299
5	司法研修所	グラウンド	0	-19	0	-590
6	税務大学	庭球場	0	-209	0	-1,320
7	税務大学	グラウンド	0	-60	0	-1,535
8	裁判所職員総合研修所	庭球場	0	-179	0	-934
9	裁判所職員総合研修所	グラウンド	0	-3	0	-77
10	荒川河川敷	野球場	650	-117	16,019	-3,432
11		ソフトボール場	0	-213	0	-5,828
12		サッカー場(一般・少年)	0	-404	0	-13,054
13	アーバンアクア公園 (和光スポーツアイランド)	野球場	211	58	2,746	-492
14		庭球場	1,581	248	7,336	1,722
15		人工芝サッカー場	351	135	5,785	-1,891
16		会議室	35	5	76	-297
17		フットサル場	308	-	4,468	-
18		ソフトボール場	106	-	1,190	-
19	学校開放	広沢小学校校庭(夜間)	33	-90	592	-1,710
20		小学校体育館(夜間)	738	-603	15,077	-13,690
21		小学校体育館(土・日・祝日)	807	-548	18,959	-13,094
22		小学校校庭(土・日・祝日)	1,137	-113	48,565	-18,033
23		下新倉小学校プール	0	-5	0	-332
24		中学校体育館(夜間)	456	-360	4,189	-4,308
25		中学校体育館卓球場(夜間)	155	-113	2,481	-2,394
26		中学校体育館格技場(夜間)	118	-67	3,343	-1,276
27	花の木	ゲートボール場	37	-65	280	-427
28	レクリエーション	広場	213	-50	4,890	-993
合計			11,213	-3,426	161,096	-91,283

(4) 令和2年度総合体育館施設利用状況

		利用人数(延べ)	前年度比 増減
メインアリーナ	個人利用(人)	4,049	-4,471
	専用利用(枠)	863	-610
	専用利用(人)	15,293	-30,619
	人数合計	19,342	-35,090
サブアリーナ	個人利用(人)	2,059	-3,133
	専用利用(枠)	755	-498
	専用利用(人)	6,984	-18,108
	人数合計	9,043	-21,241
柔剣道場	個人利用(人)	759	-510
	専用利用(枠)	889	-630
	専用利用(人)	5,992	-7,507
	人数合計	6,751	-8,017
		利用人数(延べ)	前年度比 増減
軽スポーツ室	個人利用(人)	7,588	-878
	専用利用(枠)	1,083	-416
	専用利用(人)	290	-185
	人数合計	7,878	-1,063
研修会議室	専用利用(枠)	446	-493
	専用利用(人)	1,486	-4,991
	人数合計	1,486	-4,991
弓道場	個人利用(人)	984	-1,518
	専用利用(枠)	54	-231
	専用利用(人)	534	-1,443
	人数合計	1,518	-2,961
トレーニング室	個人利用(人)	9,677	-32,796
	回数券(人)	2,125	-5,646
	人数合計	11,802	-38,442
ランニングコース		140	-509
自主事業(コース型教室)		18,783	-7,074
サービスプログラム		13,624	-25,754
個人利用計(人)		27,381	-49,461
専用利用計(枠)		4,090	-2,878
専用利用計(人)		30,579	-62,853
総利用人数(人)		90,367	-145,142

(5) 体育協会加盟団体別人数一覧表

No.	団体名	団体数	男	女	合計
1	軟式野球連盟	11	238	2	240
2	ソフトテニス連盟	-	44	19	63
3	バレーボール連盟	6	13	64	77
4	ソフトボール協会	6	89	20	109
5	バドミントン連盟	6	63	26	89
6	硬式テニス協会	11	124	39	163
7	剣道連盟	-	99	27	126
8	少林寺拳法連盟	-	25	11	36
9	合気道	-	24	16	40
10	武術太極拳連盟	14	43	128	171
11	弓道連盟	-	17	11	28
12	空手道連盟	6	50	32	82
	合計	60	829	395	1,224

(6) スポーツ少年団加盟団体別人数一覧表（指導者含む）

No.	団体名	団体数	団員数		指導者数	合計
			男	女		
1	少年野球連盟	7	173	12	151	336
2	ミニバスケットボール連盟	6	70	67	35	172
3	少年サッカー連盟	6	173	5	69	247
4	小学生バレーボール連盟	2	3	24	8	35
5	少女サッカークラブ	1	0	10	3	13
	合計	22	419	118	266	803

(7) スポーツ振興施設一覧表

施設名	位置	規模	連絡先	設立年月日
レクリエーション広場	南2-1516-1	少年野球場1面 5,600㎡	スポーツ青少年課 (464)1111	昭和 52.11.10
荒川河川敷 公園野球場	大字新倉及び 大字下新倉地内	野球場3面 58,528㎡	スポーツ青少年課 (464)1111	昭和 56.4.1
多目的競技場		サッカー場2面・ソフトボール場1面 28,517㎡		昭和 58.4.1
運動場	南2-2-2	野球場1面・庭球場4面 21,975㎡	(467)1335	昭和 62.4.1
外環花の木 ゲートボール場	新倉2-3450	ゲートボール場1面 1,257㎡	スポーツ青少年課 (464)1111	平成 9.4.25
総合体育館	広沢3-1 (県営和光樹林公園内)	アリーナ、弓道場・柔剣道場 軽スポーツ室・トレーニング室 13,050.90㎡	(462)0107	平成 19.5.13
アーバンアクア公園 (愛称：和光スポーツアイ ランド)	新倉6-1-10	野球場1面 13,752㎡ サッカー場1面 8,732㎡ 庭球場5面 3,529㎡ フットサル場2面 (テニスコート3面 兼用) 2,155㎡ 多目的広場A 18,162㎡	(465)7511	平成 30.10.20

和光の教育

令和3年6月

発行 和光市教育委員会
埼玉県和光市広沢1-5
電話 048 (464) 1111 (代)

URL <http://www.city.wako.lg.jp/>
Email h0100@city.wako.lg.jp